



PCT

特許協力条約に基づいて公開された国際出願

<p>(51) 国際特許分類7 G06F 17/30, 17/24, 13/00, 3/00, H04L 12/58, 29/12</p>	<p>A1</p>	<p>(11) 国際公開番号 WO00/48095</p> <p>(43) 国際公開日 2000年8月17日(17.08.00)</p>		
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(21) 国際出願番号 PCT/JP00/00782</p> <p>(22) 国際出願日 2000年2月14日(14.02.00)</p> <p>(30) 優先権データ 特願平11/36089 1999年2月15日(15.02.99) JP 特願平11/127643 1999年5月7日(07.05.99) JP</p> <p>(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 松下電器産業株式会社 (MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.) [JP/JP] 〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006番地 Osaka, (JP)</p> <p>(72) 発明者 ; および</p> <p>(75) 発明者 / 出願人 (米国についてのみ) 九津見洋(KUTSUMI, Hiroshi)[JP/JP] 〒570-0042 大阪府守口市寺方錦通1-4-31 Osaka, (JP) 三浦康史(MIURA, Kouji)[JP/JP] 〒124-0021 東京都葛飾区細田4-42-2-206 Tokyo, (JP) 今中 武(IMANAKA, Takeshi)[JP/JP] 〒631-0076 奈良県奈良市富雄北3-15-21-305 Nara, (JP) 荒木昭一(ARAKI, Shouichi)[JP/JP] 〒536-0002 大阪府大阪市城東区今福東3-15-22-503 Osaka, (JP)</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>阿野 正(ANO, Tadashi)[JP/JP] 〒665-0847 兵庫県宝塚市すみれが丘1-7-1-1003 Hyogo, (JP) 多田知香子(TADA, Chikako)[JP/JP] 〒531-0063 大阪府大阪市北区長柄東2-8-36-705 Osaka, (JP)</p> <p>(74) 代理人 弁理士 松田正道(MATSUDA, Masamichi) 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原5丁目1番3号 新大阪生島ビル Osaka, (JP)</p> <p>(81) 指定国 CN, KR, US, 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE)</p> <p>添付公開書類 国際調査報告書</p> </td> </tr> </table>			<p>(21) 国際出願番号 PCT/JP00/00782</p> <p>(22) 国際出願日 2000年2月14日(14.02.00)</p> <p>(30) 優先権データ 特願平11/36089 1999年2月15日(15.02.99) JP 特願平11/127643 1999年5月7日(07.05.99) JP</p> <p>(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 松下電器産業株式会社 (MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.) [JP/JP] 〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006番地 Osaka, (JP)</p> <p>(72) 発明者 ; および</p> <p>(75) 発明者 / 出願人 (米国についてのみ) 九津見洋(KUTSUMI, Hiroshi)[JP/JP] 〒570-0042 大阪府守口市寺方錦通1-4-31 Osaka, (JP) 三浦康史(MIURA, Kouji)[JP/JP] 〒124-0021 東京都葛飾区細田4-42-2-206 Tokyo, (JP) 今中 武(IMANAKA, Takeshi)[JP/JP] 〒631-0076 奈良県奈良市富雄北3-15-21-305 Nara, (JP) 荒木昭一(ARAKI, Shouichi)[JP/JP] 〒536-0002 大阪府大阪市城東区今福東3-15-22-503 Osaka, (JP)</p>	<p>阿野 正(ANO, Tadashi)[JP/JP] 〒665-0847 兵庫県宝塚市すみれが丘1-7-1-1003 Hyogo, (JP) 多田知香子(TADA, Chikako)[JP/JP] 〒531-0063 大阪府大阪市北区長柄東2-8-36-705 Osaka, (JP)</p> <p>(74) 代理人 弁理士 松田正道(MATSUDA, Masamichi) 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原5丁目1番3号 新大阪生島ビル Osaka, (JP)</p> <p>(81) 指定国 CN, KR, US, 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE)</p> <p>添付公開書類 国際調査報告書</p>
<p>(21) 国際出願番号 PCT/JP00/00782</p> <p>(22) 国際出願日 2000年2月14日(14.02.00)</p> <p>(30) 優先権データ 特願平11/36089 1999年2月15日(15.02.99) JP 特願平11/127643 1999年5月7日(07.05.99) JP</p> <p>(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 松下電器産業株式会社 (MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.) [JP/JP] 〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006番地 Osaka, (JP)</p> <p>(72) 発明者 ; および</p> <p>(75) 発明者 / 出願人 (米国についてのみ) 九津見洋(KUTSUMI, Hiroshi)[JP/JP] 〒570-0042 大阪府守口市寺方錦通1-4-31 Osaka, (JP) 三浦康史(MIURA, Kouji)[JP/JP] 〒124-0021 東京都葛飾区細田4-42-2-206 Tokyo, (JP) 今中 武(IMANAKA, Takeshi)[JP/JP] 〒631-0076 奈良県奈良市富雄北3-15-21-305 Nara, (JP) 荒木昭一(ARAKI, Shouichi)[JP/JP] 〒536-0002 大阪府大阪市城東区今福東3-15-22-503 Osaka, (JP)</p>	<p>阿野 正(ANO, Tadashi)[JP/JP] 〒665-0847 兵庫県宝塚市すみれが丘1-7-1-1003 Hyogo, (JP) 多田知香子(TADA, Chikako)[JP/JP] 〒531-0063 大阪府大阪市北区長柄東2-8-36-705 Osaka, (JP)</p> <p>(74) 代理人 弁理士 松田正道(MATSUDA, Masamichi) 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原5丁目1番3号 新大阪生島ビル Osaka, (JP)</p> <p>(81) 指定国 CN, KR, US, 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE)</p> <p>添付公開書類 国際調査報告書</p>			
<p>(54) Title: INFORMATION TRANSFER SYSTEM AND APPARATUS FOR PREPARING ELECTRONIC MAIL</p> <p>(54) 発明の名称 情報転送システム及び電子メール作成装置</p>				
<pre> graph LR 1[情報入力手段] --> 4[検索エンジン] 4 --> 3[(データベース)] 4 --> 2[情報表示手段] 4 --> 5[情報記憶手段] 5 --> 50[情報出力端子] 50 --> 6[情報出力手段] </pre> <p>1...INFORMATION INPUT MEANS 2...INFORMATION DISPLAY MEANS 3...DATABASE 4...SEARCH ENGINE 5...INFORMATION STORAGE MEANS 6...INFORMATION OUTPUT MEANS 50...INFORMATION OUTPUT TERMINAL</p>				
<p>(57) Abstract</p> <p>An information transfer system comprising: information input means for search conditions; database; search means for searching the database for contents based on the search conditions; display means for displaying the retrieved contents; selection means for selecting one or more from the retrieved contents; and output means for sending a supply device a specified content selected by the selection means and for specifying the operation of the supply device.</p>				

(57)要約

検索条件を入力する情報入力手段と、
データベースと、
前記検索条件に基づき前記データベースを検索し、検索結果を得る検索手段と、
前記検索結果を表示する情報表示手段と、
前記検索結果の中から一つ以上の検索結果を選択する選択手段と、
前記選択手段で選択された指定内容を、供給装置に送り、供給装置の動作を指定する出力手段とを備えたことを特徴とする情報転送システム。

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に掲載されたPCT加盟国を同定するために使用されるコード(参考情報)

AE	アラブ首長国連邦	DM	ドミニカ	KZ	カザフスタン	RU	ロシア
AG	アンティグア・バーブーダ	DZ	アルジェリア	LC	セントルシア	SD	スーダン
AL	アルバニア	EE	エストニア	LI	リヒテンシュタイン	SE	スウェーデン
AM	アルメニア	ES	スペイン	LK	スリ・ランカ	SG	シンガポール
AT	オーストリア	FI	フィンランド	LR	リベリア	SI	スロヴェニア
AU	オーストラリア	FR	フランス	LS	レソト	SK	スロヴァキア
AZ	アゼルバイジャン	GA	ガボン	LT	リトアニア	SL	シエラ・レオネ
BA	ボスニア・ヘルツェゴビナ	GB	英国	LU	ルクセンブルグ	SN	セネガル
BB	バルバドス	GD	グレナダ	LV	ラトヴィア	SZ	スワジランド
BE	ベルギー	GE	グルジア	MA	モロッコ	TD	チャード
BF	ブルキナ・ファソ	GH	ガーナ	MC	モナコ	TG	トーゴ
BG	ブルガリア	GM	ガンビア	MD	モルドヴァ	TJ	タジキスタン
BJ	ベナン	GN	ギニア	MG	マダガスカル	TM	トルクメニスタン
BR	ブラジル	GR	ギリシャ	MK	マケドニア旧ユーゴスラヴィア	TR	トルコ
BY	ベラルーシ	GW	ギニア・ビサオ		共和国	TT	トリニダード・トバゴ
CA	カナダ	HR	クロアチア	ML	マリ	TZ	タンザニア
CF	中央アフリカ	HU	ハンガリー	MN	モンゴル	UA	ウクライナ
CG	コンゴ	ID	インドネシア	MR	モーリタニア	UG	ウガンダ
CH	スイス	IE	アイルランド	MW	マラウイ	US	米国
CI	コートジボアール	IL	イスラエル	MX	メキシコ	UZ	ウズベキスタン
CM	カメルーン	IN	インド	MZ	モザンビーク	VN	ヴェトナム
CN	中国	IS	アイスランド	NE	ニジェール	YU	ユーゴスラヴィア
CR	コスタ・リカ	IT	イタリア	NL	オランダ	ZA	南アフリカ共和国
CU	キューバ	JP	日本	NO	ノールウェー	ZW	ジンバブエ
CY	キプロス	KE	ケニア	NZ	ニュー・ジーランド		
CZ	チェッコ	KG	キルギスタン	PL	ポーランド		
DE	ドイツ	KP	北朝鮮	PT	ポルトガル		
DK	デンマーク	KR	韓国	RO	ルーマニア		

明 細 書

情報転送システム及び電子メール作成装置

技術分野

本発明は、カラオケやテレビ番組の予約情報、列車のチケットの予約情報、ホテルの宿泊の予約情報などの情報を端末装置で検索し、予約を実行する情報転送装置、情報転送システム、管理装置及びプログラム記録媒体に関するものである。

また、本発明は、イラスト付きの文書を作成して電子メールで送受信するための電子メール作成装置およびプログラム記録媒体に関する。

背景技術

最近、パーソナルコンピュータ、PDA、携帯電話などの情報通信機器が急速に普及し、ビジネスユース以外でも広く用いられるようになってきた。また、これらの普及に伴い情報通信を新しい情報を得るための手段としての利用も行われている。例えば、インターネット上の情報を表示するブラウザを搭載した情報通信機器を用いると、世界中の様々な情報を閲覧することが可能である。また、インターネット上には多くの検索サービスが存在し、この検索サービスを利用することにより、この情報通信機器上で様々な情報を検索し表示することが可能となっている。また携帯電話に

関しては、特定の電話番号に電話するとさまざまな情報を得ることが出来るサービスが行われている。

しかしながら、上記の検索サービスにおいては、情報通信機器によってユーザの所望の情報を得ることができても、基本的には情報を得て、確認したり保存したりすることにとどまり、外部の機器に対して何かの予約をしたり、また外部の機器を制御したりすることは不可能である。例えば、テレビ番組の検索を行い興味のある番組を見つけたとしても、その番組の録画予約を行うためには、ビデオをユーザ自身が操作して録画するため、操作が煩雑であり、検索から機器制御まで一つの機器で一括して行えるシステムが必要とされる。

他方、近年、インターネットやパソコン通信の普及により、情報通信機器としてのパーソナルコンピュータ（パソコン）の需要が飛躍的に増大し、ビジネスユース以外での電子メールによるコミュニケーションが盛んになってきた。さらに、最近はパソコンばかりでなく、携帯端末からでも簡単に電子メールの送受信が行えるようになってきている。

ところで、通常の電子メールにおいては、文字のみで構成された文書の授受を行うようにしているが、ビジネスユース以外の用途を考えた場合、文字だけから構成される文書は、無味乾燥で面白味に欠け、他人の目を引きつけるほど魅力的とはいえない。

そこで、ユーザは例えば文書にイラストなどを付加することで、コミュニケーションに付加価値を与え、楽しみの範囲を広げる工夫を行っている。

このような文書へのイラストの付加を行う場合、従来のメールソフトは

かの電子メール作成装置では、ユーザが別途作成したり、または予め用意した画像ファイルを添付ファイル形式で付加して、送受信するようにしている。

しかしながら、上記のような、従来の電子メール作成装置を用いて文書に別途添付ファイルを添付する方式では、ユーザが、添付するイラストなどの画像ファイルの選択、添付の操作のすべてを行うために操作が煩雑になるという問題があり、誰にでも簡単にこのような文書を作成できるというわけにはいかなかった。

また、電子メールで文書を受信した側は、添付ファイルを別途専用の表示装置を起動させて閲覧するものであるが、これは実際には文書とは異なる画面に表示されるため、厳密には文書の本文内にイラストが付加されているとは言えない、という問題もあった。

発明の開示

第1のグループの本発明は、上述した情報通信機器を用いてユーザが得た所望の情報をを用いて、何かの予約をしたり機器を制御したりすることが出来ないという課題を考慮し、情報の検索から機器制御までを一つの機器で一貫して行うことが出来る端末装置、情報転送転送システム、管理装置及びプログラム記録媒体を提供することを目的とするものである。

上述した目的を達成するために第1の本発明（請求項1に対応）は、検索条件を入力する情報入力手段と、

データベースと、

前記検索条件に基づき前記データベースを検索し、検索結果を得る検索手段と、

前記検索結果を表示する情報表示手段と、

前記検索結果の中から一つ以上の検索結果を選択する選択手段と、

前記選択手段で選択された指定内容を、供給装置に送り、供給装置の動作を指定する出力手段とを備えたことを特徴とする情報転送システムである。

また第2の本発明（請求項2に対応）は、前記情報入力手段と、前記前記情報表示手段と、前記選択手段と、前記出力手段とは、端末装置に一体的に備えられ、

前記データベースと、前記検索手段とは、管理装置に一体的に備えられていることを特徴とする第1の発明に記載の情報転送システムである。

また第3の本発明（請求項3に対応）は、前記端末装置は、着脱自在の記録媒体を装着する装着手段とを有し、

前記端末装置は、前記指定内容を前記記録媒体に格納し、

前記記録媒体が、前記供給装置に装着されると、前記記録媒体に記録されている前記指定内容が前記供給装置に読み取られ、前記指定した供給物が前記供給装置から供給されることを特徴とする第2の発明に記載の情報転送システムである。

また第4の本発明（請求項4に対応）は、前記端末装置が、前記供給装置に接近すると、前記出力手段は、前記供給装置に前記指定内容を送信し

、前記供給装置は前記指定内容の供給物を供給することを特徴とする第2の発明に記載の情報転送システムである。

また第5の本発明請求項5に対応)は、前記端末装置は、前記供給装置に着脱自在であり、

前記端末装置が、前記供給装置に装着されると、前記端末装置に記録されている前記指定内容が前記供給装置に読み取られ、前記指定した供給物が前記供給装置から供給されることを特徴とする第2の発明に記載の情報転送システムである。

また第6の本発明(請求項6に対応)は、前記端末手段は、移動体であることを特徴とする第3～5のいずれかの本発明の情報転送システムである。

また第7の本発明(請求項7に対応)は、前記検索手段は、形容詞及び／または形容動詞である感性語と感性を感じる程度を示す感性情報に基づき検索を行い、前記データベースには感性情報に基づく検索を行うための属性値が格納されていることを特徴とする第1～6のいずれかの本発明の情報転送システムである。

また第8の本発明(請求項8に対応)は、検索条件を入力する情報入力手段と、

前記検索条件に基づきデータベースを検索し、検索結果を得る検索手段からの検索結果を表示する情報表示手段と、

前記検索結果の中から一つ以上の検索結果を選択する選択手段と、

前記選択手段で選択された指定内容を、供給装置に送り、前記供給装置

の動作を指定する出力手段を備えたことを特徴とする端末装置である。

また第 9 の本発明（請求項 9 に対応）は、前記検索は、形容詞及び／または形容動詞である感性語と感性を感じる程度を示す感性情報に基づく検索であり、前記データベースには感性情報に基づく検索を行うための属性値が格納されていることを特徴とする第 8 の発明の端末装置である。

また第 10 の本発明（請求項 10 に対応）は、前記供給装置は、有体物を供給する動作を行うことを特徴とする第 1 ～ 9 のいずれかの本発明に記載の端末装置である。

また第 11 の本発明（請求項 11 に対応）は、第 1 ～ 10 の本発明のいずれかに記載の端末装置または情報転送システムの各構成要素の全部または一部の機能をコンピュータに実行させるためのプログラムを格納していることを特徴とするプログラム記録媒体である。

一方、第 2 のグループに属する本発明は、イラスト付き文書の作成が面倒であるという課題に鑑みてなされたもので、ユーザが簡単な操作で、イラストがその内部に付加された文書を作成することのできる、電子メール作成装置およびプログラム記録媒体を提供することを目的とする。

上記の目的を達成するため、第 12 の本発明（請求項 12 に対応）は、文書データの作成および編集を行う文書データ作成編集手段と、付加データを蓄積した付加データ蓄積手段と、前記付加データ蓄積手段から、特定の付加データを選択する付加データ選択手段と、前記文書データと前記特定の付加データとを合成して、合成データを生成する合成手段とを備え、前記合成データは電子メールとして送受信されることを特徴とする電子メ

ール作成装置である。

また、第 13 の本発明（請求項 13 に対応）は、前記付加データは所定の属性を備えたものであることを特徴とする第 12 の本発明の電子メール作成装置である。

また、第 14 の本発明（請求項 14 に対応）は、指示された前記所定の属性に応じて前記蓄積手段から候補となる付加データを表示する付加データ表示手段をさらに備え、前記選択手段は、前記候補となる付加データから、特定の付加データを選択することを特徴とする第 13 の本発明の電子メール作成装置である。

また、第 15 の本発明（請求項 15 に対応）は、前記合成手段は、前記文書データ作成編集手段が文書データの編集のために用いる編集記号に基づき、前記文書データと前記特定の付加データとを合成することを特徴とする第 12 ないし第 14 の本発明の電子メール作成装置である。

また、第 16 の本発明（請求項 17 に対応）は、前記合成手段は、前記文書データ作成編集手段が合成のために用いる合成記号に基づき、前記文書データと前記付加データとを合成することを特徴とする第 12 ないし第 14 の本発明の電子メール作成装置である。

また、第 17 の本発明（請求項 19 に対応）は、前記画面上における所定の属性の指示は、前記合成記号によって指定された位置にて行われることを特徴とする第 14 または第 16 の本発明の電子メール作成装置である。

また、第 18 の本発明（請求項 25 に対応）は、上記本発明の電子メール作成装置の各手段の全部または一部の機能をコンピュータで実行させる

ためのプログラムを記録したことを特徴とするプログラム記録媒体である。

図面の簡単な説明

【図 1】

第 1 の本発明のグループに属する第 1 の発明の実施の形態のシステム図

【図 2】

第 1 の本発明のグループに属する第 1 の発明の実施の形態の回路図

【図 3】

第 1 の本発明のグループに属する第 1 の発明の実施の形態の動作のフローチャート図

【図 4】

第 1 の本発明のグループに属する第 1 の発明の実施の形態の検索条件の入力画面を示す図

【図 5】

第 1 の本発明のグループに属する第 1 の発明の実施の形態の検索結果の出力画面を示す図

【図 6】

第 1 の本発明のグループに属する第 2 の発明の実施の形態のシステム構成図

【図 7】

第 1 の本発明のグループに属する第 2 の発明の実施の形態のハードウェア構成図

【図 8】

第 1 の本発明のグループに属する第 2 の発明の実施の形態の動作のフローチャート図

【図 9】

第 1 の本発明のグループに属する第 2 の発明の実施の形態の検索条件の入力画面を示す図

【図 10】

第 1 の本発明のグループに属する第 2 の発明の実施の形態の検索結果の出力画面を示す図

【図 11】

第 1 の本発明のグループに属する第 3 の発明の実施の形態のシステム構成図

【図 12】

第 1 の本発明のグループに属する第 3 の発明の実施の形態のハードウェア構成図

【図 13】

第 1 の本発明のグループに属する第 3 の発明の実施の形態の検索条件の入力画面を示す図

【図 14】

第 1 の本発明のグループに属する第 3 の発明の実施の形態の検索結果の出力画面を示す図

【図 15】

第 1 の本発明のグループに属する第 4 の発明の実施の形態のシステム構

成図

【図 1 6】

第 1 の本発明のグループに属する第 4 の発明の実施の形態のハードウェア構成図

【図 1 7】

第 1 の本発明のグループに属する第 4 の発明の実施の形態の検索条件の入力画面

【図 1 8】

第 1 の本発明のグループに属する第 4 の発明の実施の形態の検索結果の出力画面を示す図

【図 1 9】

第 1 の本発明のグループに属する第 4 の発明の実施の形態の別のシステム構成図

【図 2 0】

第 1 の本発明のグループに属する第 5 の発明の実施の形態のシステム構成図

【図 2 1】

第 1 の本発明のグループに属する第 5 の発明の実施の形態のハードウェア構成図

【図 2 2】

第 1 の本発明のグループに属する第 5 の発明の実施の形態の動作のフローチャート図

【図 2 3】

第 1 の本発明のグループに属する第 5 の発明の実施の形態の検索条件の入力画面を示す図

【図 2 4】

第 1 の本発明のグループに属する第 5 の発明の実施の形態の検索条件の入力画面を示す図

【図 2 5】

第 1 の本発明のグループに属する第 5 の発明の実施の形態の検索結果の出力画面を示す図

【図 2 6】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 1 による電子メール作成装置の構成を示す図である

【図 2 7】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 1 による電子メール作成装置の G U I を示す図である

【図 2 8】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 1 による電子メール作成装置を実現するハードウェアの構成を示す図である

【図 2 9】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 1 による電子メール作成装置の動作を示すフローチャートである

【図 3 0】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 1 による電子メール作成装置によるイラスト挿入の動作を説明する図である

【図 3 1】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 2 による電子メール作成装置の構成を示す図である

【図 3 2】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 2 による電子メール作成装置によるイラスト挿入の動作を説明する図である

【図 3 3】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 3 による電子メール作成装置の構成を示す図である

【図 3 4】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 3 による電子メール作成装置によるイラスト挿入の動作を説明する図である

【図 3 5】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 4 による電子メール作成装置の構成を示す図である

【図 3 6】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 1 による電子メール作成装置の G U I を示す図である

【図 3 7】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 4 による電子メール

作成装置の動作を示すフローチャートである

【図 3 8】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 5 による電子メール作成装置の構成を示す図である

【図 3 9】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 5 による電子メール作成装置の G U I を示す図である

【図 4 0】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 1 による電子メール作成装置における、イラスト感性属性値入力画面の一例を示す図である

【図 4 1】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 6 による電子メール作成装置の構成を示す図である

【図 4 2】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 6 による電子メール作成装置の動作を示すフローチャートである

【図 4 3】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 6 による電子メール作成装置によるイラスト挿入の動作を説明する図である

【図 4 4】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 6 による電子メール作成装置によるイラスト挿入の動作を説明する図である

【図 4 5】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 6 による電子メール作成装置の他の構成例を示す図である

【図 4 6】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 6 による電子メール作成装置の他の G U I 例を示す図である

【図 4 7】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 6 による電子メール作成装置の他の構成例を示す図である

【図 4 8】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 7 による電子メール作成装置の構成を示す図である

【図 4 9】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 7 による電子メール作成装置の G U I を示す図である

【図 5 0】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 7 による電子メール作成装置の動作を示すフローチャートである

【図 5 1】

第 2 の本発明のグループに属する発明の実施の形態 7 による電子メール作成装置の他の構成例を示す図である

【図 5 2】

第2の本発明のグループに属する発明の実施の形態7による電子メール作成装置の他のGUI例を示す図である

【図53】

第2の本発明のグループに属する発明の実施の形態7による電子メール作成装置の他の構成例を示す図である

【図54】

第2の本発明のグループに属する発明の実施の形態7による電子メール作成装置の他のGUI例を示す図である

【図55】

第2の本発明のグループに属する発明の実施の形態8による電子メール作成装置の構成を示す図である

【図56】

第2の本発明のグループに属する発明の実施の形態8による電子メール作成装置を実行するハードウェアの構成を示す図である

【図57】

第2の本発明のグループに属する発明の実施の形態8による電子メール作成装置のGUIを示す図である

【図58】

第2の本発明のグループに属する発明の実施の形態8による電子メール作成装置によるイラストと画像との合成の動作を説明する図である

【図59】

第2の本発明のグループに属する発明の他の実施の形態による電子メール

作成装置の構成を示す図である。

【符号の説明】

- 1 … 情報入力手段
- 2 … 情報表示手段
- 3 … データベース
- 4 … 検索エンジン
- 5 … 情報記憶手段
- 6 … 情報出力手段
- 10 … 端末通信手段
- 11 … サーバー通信手段
- 20 … 検索端末装置
- 21 … 情報サーバー装置
- 30 … 感性情報入力手段
- 31 … 感性データベース
- 32 … 感性検索エンジン
- 50 … 情報出力端子
- 51 … 赤外線発信手段
- 52 … 電波発信手段
- 53 … リムーバブルメディア書き込み手段
- 60 … ネットワーク通信手段
- 61 … 公衆電話網通信手段
- 62 … 無線通信手段

- 6 3 … 赤外線通信手段
- 1 0 1 … V R A M
- 1 0 2 … 主記憶装置
- 1 0 3 … 補助記憶装置
- 1 0 4 … C P U
- 2 0 0 … 外部機器
- 3 0 0 … 接続ケーブル
- 4 0 1 … 公衆電話網
- 4 0 2 … リムーバブルメディア
- 4 0 3 … 電波
- 4 0 4 … 赤外線
- 3 0 1 情報入力手段
- 3 0 2 文書作成編集手段
- 3 0 3 イラスト蓄積手段
- 3 0 4 イラスト提示手段
- 3 0 5 イラスト選択手段
- 3 0 6 イラスト挿入手段
- 3 0 7 電子メール送受信手段
- 3 0 8 カーソル位置検出手段
- 3 0 9 挿入位置指定情報検出手段
- 3 1 0 イラスト属性値指定手段
- 3 1 1 イラスト検索手段

- 3 1 2 イラスト感性属性値指定手段
- 3 1 3 イラスト感性検索手段
- 3 1 4 イラスト属性値検出手段
- 3 1 5 イラスト挿入命令起動手段
- 3 1 6 画像キャプチャ手段
- 3 1 7 イラスト合成手段
- 3 2 0、2 4 1 0 送信先指定欄
- 3 2 1、2 4 2 0 メールタイトル指定欄
- 3 2 2、2 4 4 0 送信指示ボタン
- 3 2 3 イラスト挿入指示ボタン
- 3 2 4 イラスト表示切り替えボタン
- 3 2 5 メール作成画面
- 3 2 6 候補イラスト提示画面
- 3 3 1 V R A M
- 3 3 2 主記憶装置
- 3 3 3 補助記憶装置
- 3 3 4 C P U
- 3 3 5 情報通信装置
- 3 3 6 情報表示装置
- 3 7 1 カーソル
- 3 9 1、1 8 1 0 挿入文字指定文字列
- 1 0 0 0、6 0 0 0、8 0 0 0、1 0 0 0 0、1 3 0 0 0、1 6 0 0 0

、 2 0 0 0 0、 2 2 0 0 0、 2 3 0 0 0、 2 6 0 0 0、 2 8 0 0 0、 3 0
0 0 0 電子メール作成装置

1 1 1 0 イラスト属性値入力画面

1 4 1 0 イラスト感性属性値入力画面

2 0 0 0、 2 4 0 0 0、 1 1 0 0 0、 1 4 0 0 0、 2 7 0 0 0、 2 9 0
0 0、 3 2 0 0 0、 主ウィンドウ

2 4 3 0 文書作成編集欄

3 0 1 0 公衆電話網

2 4 0 0、 4 0 0 0 電子メール編集送受信装置

4 0 0 0 0 ダウンロード手段

発明を実施するための最良の形態

(A) 以下に第 1 の本発明のグループに属する発明の各実施の形態について図面を参照しながら説明する。

(実施の形態 1)

図 1 は、第 1 の実施の形態である情報転送装置のシステム構成図である。図 1 において、1 は文字の入力、あるいは情報の選択、あるいは実行などの命令の入力の少なくとも 1 つ以上が入力可能である情報入力手段、2 は情報入力手段 1 で入力された情報が表示され、また検索エンジン 4 による検索結果を表示する情報表示手段、3 は検索の対象となるデータを記憶したデータベース、4 は前記情報入力手段 1 によって入力された検索の条件に合致する情報を前記データベース 3 から検索する検索エンジン、5 は前記

検索エンジン 4 による検索結果あるいは検索結果情報を一意に特定する情報を記憶する情報記憶手段、6 は前記情報記憶手段 5 に記憶している情報を出力する情報出力手段、である。

また、50 は前記情報出力手段 6 を構成する情報出力端子である。

以上のように構成されたシステムが実行されるハードウェア構成を図 2 に示す。図 2 は基本的には汎用の計算機システムの構成と同じである。また、図 1 で示したシステムの構成部分と同一構成部分を含んでいるために、同一構成部分には同一番号を付して説明を省略する。

図 2 において、1 は情報入力手段、2 は情報表示手段、101 は表示出力されるデータを記憶する V R A M、102 はプログラムを記憶する揮発性のメモリである主記憶装置、103 はプログラムやデータを記憶しておく不揮発性のメモリである補助記憶装置、104 は主記憶装置 102 に記憶されているプログラムを実行する C P U、50 は情報出力端子である。

先にも述べたように本ハードウェア構成は基本的に汎用の計算機システムと同じであり、補助記憶装置 103 に記憶されているプログラムは主記憶装置 102 にロードされてから C P U 104 によって実行される。

また、この情報転送装置は情報出力端子 50 から接続ケーブル 300 により外部機器 200 に接続されている。

以上のように構成された情報転送装置の動作を図 3 のフローチャートを参照しながら説明する。本実施の形態では、音楽の曲名の検索を例に説明する。

(ステップ A 1)

まず、情報入力手段 1 から検索の条件を受け付ける。例えば、歌手名、曲名、年代あるいは「ロック」「ポップス」「演歌」などのジャンルなどによる検索条件をユーザが与える。具体的な例として、「年代」＝「90年代」で「ジャンル」＝「ポップス」など、入力する。情報の入力に当たっては、情報表示手段 2 に図 4 で示すような画面を表示してもよい。

(ステップ A 2)

つぎに、検索エンジン 4 がデータベース 3 からステップ A 1 で入力された検索条件に合致するデータを検索する。データベース 3 にはあらかじめ曲名のデータが記憶されており、歌手名、曲名、年代、ジャンル、歌詞などで検索が可能なような構成となっている。

(ステップ A 3)

次に、検索エンジン 4 によって検索されたデータを情報表示手段 2 に表示する。図 5 は検索結果表示の一例で、ステップ A 1 で入力された検索条件に合致するデータの一覧を表示している。また、情報表示手段 2 の画面に表示しきれないほど多数のデータが検索された場合は、画面を切り替えたり、画面をスクロールさせたりするなどにより、そのほかのデータも表示が可能である。

(ステップ A 4、A 5)

ステップ A 3 で表示されたデータの中にユーザが所望するものがない場合は、ユーザは検索条件を変更して再検索する。これは、情報入力手段 1 に「再検索要求」のボタンが備えられているか、情報表示手段 2 に「再検索要求」の選択メニューあるいは選択ボタンが表示され、それを情報入力

手段 1 で選択することによって入力される。再検索が要求されると再び、ステップ A 2 に戻る。

また、ステップ A 3 で表示されたデータの中にユーザが所望するものがある場合は、ステップ A 5 において所望の曲を選択する。選択方法は再検索要求の場合と同様である。

(ステップ A 6)

ステップ A 5 で曲名を選択されると、データベース 3 から該当する曲の歌手、曲の演奏時間、歌詞など詳細なデータが呼び出され、情報表示手段 2 に表示される。

(ステップ A 7)

情報記憶手段 5 に記憶させる曲のデータがステップ A 6 で表示された曲でよいかどうかをユーザが入力する。この曲でよい場合は次のステップに移り、この曲にしない場合はステップ A 3 に戻る。

(ステップ A 8)

選択された曲の ID データをデータベース 3 から読みだし、情報記憶手段 5 に記憶する。曲の ID データは選択した曲を一意に特定するものである。例えば、カラオケで曲名を指定するための番号などである。

(ステップ A 9、A 10)

ユーザによる情報記憶手段 5 に記憶している曲名の ID データを接続ケーブル 300 で接続された外部機器 200 への転送の指示の入力を待つ。外部機器 200 には例えばカラオケのリクエスト装置などがある。入力があれば曲名 ID データを外部機器 200 に転送して一連の処理を終了する。外

部機器 200 がカラオケリクエスト装置であればこの転送操作によって、曲のリクエストが可能となる。

以上のように、本実施の形態によれば、検索によってみつけたユーザの所望のデータを、そのまま外部機器に転送できるので、予約、登録などの操作が簡単に行うことが可能である。

なお、検索によって、情報記憶手段 5 にいったん記憶されたデータはステップ A10 において外部機器 200 に転送を完了した後も情報記憶手段 5 に記憶しておき、ステップ A9 以降の動作のみを繰り返すことが可能な構成にしてもよい。

また、本実施の形態では曲の検索は、歌手名、曲名、年代、ジャンル、歌詞などで行ったが、これに限らず、歌手名を「あいうえお」順で検索するなど、また曲名を「あいうえお」順で検索するなど、要するに曲が容易に検索出来る検索方法でりさえすればよい。

また、本実施の形態では曲名の検索を例に挙げたが、本発明は検索するデータを限定するものではなく、あらゆるデータの検索に適用可能であることはいうまでもない。

なお、本実施の形態の検索エンジンは本発明の検索手段の例であり、本実施の形態の情報出力手段は本発明の出力手段の例である。

(実施の形態 2)

図 6 は、第 2 の発明の実施の一形態である情報転送システムのシステム構成図である。

これは図 1 ですでに説明した第 1 の発明の実施の形態のシステム構成図

と同一の構成要素を含んでいるので、同一要素には図 1 と同一の番号を与えて以降簡略な説明にとどめる。

図 6 において、1 は情報入力手段、2 は情報表示手段、5 は情報記憶手段、6 は情報出力手段、10 は情報入力手段 1 によって入力された検索の条件を出力し、検索結果の情報を受信する端末通信手段、で、20 はこれらをすべて具備している検索端末装置であり、一方、3 はデータベース、4 は検索エンジン、11 は端末装置からの検索の条件を受信し、検索結果を送信するサーバー通信手段で、21 はこれらをすべて具備している情報サーバー装置である。

また、51 は前記情報出力手段 6 を構成する赤外線発信手段で、60 は前記端末通信手段 10 および前記サーバー通信手段 11 を構成するネットワーク通信手段である。

以上のように構成されたシステムが実行されるハードウェア構成を図 7 に示す。

図 7 は検索端末装置 20、情報サーバー装置 21 とともに基本的には汎用の計算機システムの構成と同じである。また、図 6 で示したシステムの構成部分と同一構成部分を含んでいるために、同一構成部分には同一番号を付して説明を省略する。

図 7 において、検索端末装置 20 側は、1 は情報入力手段、2 は情報表示手段、101 は表示出力されるデータを記憶する VRAM、102 はプログラムを記憶する揮発性のメモリである主記憶装置、103 はプログラムやデータを記憶しておく不揮発性のメモリである補助記憶装置、104

は主記憶装置 102 に記憶されているプログラムを実行する CPU、51 は赤外線発信手段 60 はネットワーク通信手段である。また、情報サーバー装置 21 側は、102 はプログラムを記憶する揮発性のメモリである主記憶装置、103 はプログラムやデータを記憶しておく不揮発性のメモリである補助記憶装置、104 は主記憶装置 102 に記憶されているプログラムを実行する CPU、60 はネットワーク通信手段である。

検索端末装置 20 と情報サーバー装置 21 はネットワーク通信手段 60 によって互いに通信している。ネットワーク通信手段 60 には直接インターネット、イントラネットなどのケーブルが接続されている。

先にも述べたように本ハードウェア構成は基本的に汎用の計算機システムと同じであり、補助記憶装置 103 に記憶されているプログラムは主記憶装置 102 にロードされてから CPU 104 によって実行される。

また、この情報転送システムは赤外線発信手段 51 から赤外線により外部機器 200 に対して情報を送出する。

以上のように構成された情報転送システムの動作を図 8 のフローチャートを参照しながら説明する。この実施の一形態では、テレビ番組の検索を例に説明する。

(ステップ B1)

まず、検索端末装置 20 の情報入力手段 1 から検索の条件を受け付ける。例えば、チャンネル、番組名、出演者、あるいはジャンルなどによる検索条件をユーザが与える。具体的な例として、「出演者」＝「石原裕次郎」で「ジャンル」＝「ドラマ」などを入力する。情報の入力に当たっては、

情報表示手段 2 に図 9 で示すような画面を表示してもよい。入力された検索条件はネットワーク通信手段 6 0 によって、情報サーバー装置 2 1 に送られる。

(ステップ B 2)

つぎに、情報サーバー装置 2 1 において、検索エンジン 4 がデータベース 3 からステップ B 1 で入力された検索条件に合致するデータを検索する。データベース 3 にはあらかじめ番組名のデータが記憶されており、チャンネル、番組名、出演者、ジャンルなどで検索が可能なような構成となっている。検索結果は再びネットワーク通信手段 6 0 を介して、検索端末装置 2 0 に送られる。

(ステップ B 3)

次に、検索端末装置 2 0 側で、検索エンジン 4 によって検索されたデータを情報表示手段 2 に表示する。

図 1 0 は検索結果表示の一例で、ステップ B 1 で入力された検索条件に合致するデータの一覧を表示している。また、情報表示手段 2 の画面に表示しきれないほど多数のデータが検索された場合は、画面を切り替えたり、画面をスクロールしたりすることにより、そのほかのデータも表示が可能である。

(ステップ B 4、B 5)

ステップ B 3 で表示されたデータの中にユーザが所望のものがいない場合は、ユーザは検索条件を変更して再検索する。これは、情報入力手段 1 に「再検索要求」のボタンが備えられているか、情報表示手段 2 に「再検索

要求」を選択したり選択メニューあるいは選択ボタンが表示され、それを情報入力手段1で選択することによって入力される。再検索が要求されると再び、ステップB2に戻る。

また、ステップB3で表示されたデータの中にユーザが所望のものがある場合は、ステップB5において所望のデータを選択する。選択方法は再検索要求の場合と同様である。

(ステップB6)

ステップB5で番組名を選択されると、再び情報サーバー装置21のデータベース3から該当する番組のチャンネル、放送時間、など詳細なデータが呼び出され、情報表示手段2に表示される。番組の詳細情報については予め放送局から送られてくるEPG（電子番組ガイド）などから情報を入手し、データベースに格納しておくことも出来る。

(ステップB7)

情報記憶手段5に記憶させる番組のデータがステップB6で表示された番組でよいかどうかをユーザが入力する。この番組でよい場合は次のステップに移り、この番組にしない場合はステップB3に戻る。

(ステップB8)

選択された番組のIDデータを情報サーバー装置21のデータベース3から読みだし、検索端末装置20の情報記憶手段5に記憶する。番組のIDデータは選択した番組を一意に特定するものがある。例えば、放送日時、チャンネルなどから構成されたデータ、あるいはGコードと呼ばれる数字列などである。あるいはまたVPS（V i d e o P r o g r a m m e S y

s t e m) または P D C (P r o g r a m m e D e l i v e r y C o n t r o l) で用いられている番組ラベル (P I L : P r o g r a m m e I d e n t i t y L a b e l) を用いても番組を一意に特定出来る。

(ステップ B 9、B 1 0)

ユーザによる情報記憶手段 5 に記憶している番組名の ID データを外部機器 2 0 0 への転送の指示の入力を待つ。外部機器 2 0 0 には例えばビデオなどがある。入力があれば番組 ID データを外部機器 2 0 0 に転送して一連の処理を終了する。外部機器 2 0 0 がビデオならば、録画予約がこれで完了する。

なお、検索によって、情報記憶手段 5 にいったん記憶されたデータはステップ B 1 0 において外部機器 2 0 0 に転送を完了した後も情報記憶手段 5 に記憶しておき、ステップ B 9 以降の動作のみを繰り返すことが可能な構成にしてもよい。

また、本実施の形態では番組名の検索を例に挙げたが、本発明は検索するデータを限定するものではなく、あらゆるデータの検索に適用可能であることはいうまでもない。

なお、本実施の形態の検索エンジンは本発明の検索手段の例であり、本実施の形態の赤外線通信、超音波通信、無線通信などの情報出力手段は本発明の出力手段の例であり、本発明の供給装置は、本実施の形態のビデオに限らず、テレビジョン受像器やセットトップボックス (S e t T o p B o x : 放送受信器、放送受信チューナー) でも構わない。

(実施の形態 3)

図 1 1 は、第 3 の発明の実施の一形態である情報転送システムのシステム構成図である。

これは図 1 および図 6 ですでに説明した第 1 および第 2 の発明の実施の形態のシステム構成図および同一の構成要素を含んでいるので、同一要素には図 1 および図 6 と同一の番号を与えて以降簡略な説明にとどめる。

図 1 1 において、1 は情報入力手段、2 は情報表示手段、5 は情報記憶手段、6 は情報出力手段、1 0 は端末通信手段、で、2 0 はこれらをすべて具備している検索端末装置であり、一方、3 はデータベース、4 は検索エンジン、1 1 はサーバー通信手段で、2 1 はこれらをすべて具備している情報サーバー装置である。

また、5 2 は前記情報出力手段 6 を構成する電波発信手段で、6 1 は前記端末通信手段 1 0 および前記サーバー通信手段 1 1 を構成する公衆電話網通信手段である。

以上のように構成されたシステムが実行されるハードウェア構成を図 1 2 に示す。図 1 2 は検索端末装置 2 0、情報サーバー装置 2 1 とともに基本的には汎用の計算機システムの構成と同じである。また、図 1 1 で示したシステムの構成部分と同一構成部分を含んでいるために、同一構成部分には同一番号を付して説明を省略する。

図 1 2 において、検索端末装置 2 0 側は、1 は情報入力手段、2 は情報表示手段、1 0 1 は表示出力されるデータを記憶する V R A M、1 0 2 はプログラムを記憶する揮発性のメモリである主記憶装置、1 0 3 はプログラムやデータを記憶しておく不揮発性のメモリである補助記憶装置、1 0

4は主記憶装置102に記憶されているプログラムを実行するCPU、52は電波発信手段61は公衆電話網通信手段である。

また、情報サーバー装置21側は、102はプログラムを記憶する揮発性のメモリである主記憶装置、103はプログラムやデータを記憶しておく不揮発性のメモリである補助記憶装置、104は主記憶装置102に記憶されているプログラムを実行するCPU、61は公衆電話網通信手段である。検索端末装置20と情報サーバー装置21は公衆電話網通信手段61によって互いに通信している。公衆電話網通信手段61は、アナログ電話網、ISDN網、デジタル携帯電話網、PHS網のいずれかの公衆電話網と接続しているかまたは複数種類の公衆電話網を経由して接続して通信を行っている。

先にも述べたように本ハードウェア構成は基本的に汎用の計算機システムと同じであり、補助記憶装置103に記憶されているプログラムは主記憶装置102にロードされてからCPU104によって実行される。

また、この情報転送装置は電波発信手段52から電波により外部機器200に対して情報を送出する。

以上のように構成された情報転送システムの動作をフローチャートを用いて説明する。本実施の形態は第2の実施の形態と類似の動作をするため、第2の実施の形態と同様、図8を参照しながら説明する。

本実施の形態では、デジタル携帯電話機によるホテルの検索を例に説明する。

(ステップB1)

まず、検索端末装置 20 すなわちデジタル携帯電話機の情報入力手段 1 から検索の条件を受け付ける。例えば、所在地、タイプ、価格帯、あるいは駅からの距離、利用日などによる検索条件をユーザが与える。具体的な例として、「所在地」＝「大阪」で「価格帯」＝「1 万円前後」など、入力する。情報の入力に当たっては、情報表示手段 2 に図 13 で示すような画面を表示してもよい。

入力された検索条件は公衆電話網通信手段 61 によって、情報サーバー装置 21 に送られる。本実施の形態の場合公衆電話網としてデジタル携帯電話公衆電話網を利用する。

(ステップ B2)

つぎに、情報サーバー装置 21 において、検索エンジン 4 がデータベース 3 からステップ B1 で入力された検索条件に合致するデータを検索する。データベース 3 にはあらかじめホテルのデータが空き状況とともに記憶されており、所在地、タイプ、価格帯、駅からの距離、利用日などで検索が可能なような構成となっている。また、空き状況は一定の時間ごとに更新される。検索結果は再び公衆電話網通信手段 61 を介して、検索端末装置 20 に送られる。

(ステップ B3)

次に、検索端末装置 20 側で、検索エンジン 4 によって検索されたデータを情報表示手段 2 に表示する。

図 14 は検索結果表示の一例で、ステップ B1 で入力された検索条件に合致し、空き部屋のあるホテルのデータの一覧を表示している。また、情

報表示手段 2 の画面に表示しきれないほど多数のデータが検索された場合は、画面を切り替えたり画面をスクロールすることなどにより、そのほかのデータも表示が可能である。

(ステップ B 4、B 5)

ステップ B 3 で表示されたデータの中にユーザが所望のものがいない場合は、ユーザは検索条件を変更して再検索する。これは、情報入力手段 1 に「再検索要求」のボタンが備えられているか、情報表示手段 2 に「再検索要求」を選択しあるいは選択ボタンあるいは選択メニューが表示され、それを情報入力手段 1 で選択することによって入力される。再検索が要求されると再び、ステップ B 2 に戻る。

また、ステップ B 3 で表示されたデータの中にユーザが所望のものがある場合は、ステップ B 5 において所望のデータを選択する。選択方法は再検索要求の場合と同様である。

(ステップ B 6)

ステップ B 5 でホテルを選択されると、再び情報サーバー装置 2 1 のデータベース 3 から該当するホテルの所在地、価格帯、など詳細なデータが呼び出され、情報表示手段 2 に表示される。

(ステップ B 7)

情報記憶手段 5 に記憶させるホテルのデータがステップ B 6 で表示されたホテルでよいかどうかをユーザが入力する。このホテルでよい場合は次のステップに移り、このホテルにしない場合はステップ B 3 に戻る。

(ステップ B 8)

選択されたホテルのIDデータを情報サーバー装置 21 のデータベース 3 から読みだし、検索端末装置 20 の情報記憶手段 5 に記憶する。ホテルのIDデータはどのホテルのどのタイプの部屋をどの利用日に予約したかを一意に特定するものがある。例えば、ホテルIDコードと予約IDコードから構成される文字列などである。

(ステップ B 9、B 10)

ユーザによる情報記憶手段 5 に記憶しているホテルのIDデータを外部機器 200 への転送の指示の入力を待つ。外部機器 200 には例えばホテルのフロントにある予約を確認する端末などがある。ユーザから転送の入力があればホテルIDデータを外部機器 200 に電波によって転送して一連の処理を終了する。ホテルのフロントの予約確認端末である外部機器 200 が、転送された情報が正しい予約コードであれば、ユーザはチェックインができる。

またホテルの予約確認端末に直接携帯電話を装着することによって、出力手段がホテルの予約確認端末にホテルIDデータを出力することも出来る。あるいはまた携帯電話から予約確認端末に電話をかける等してもよい。

なお、本実施の一形態ではホテルの検索を例に挙げたが、本発明は検索するデータを限定するものではなく、あらゆるデータの検索に適用可能であることはいうまでもない。

また、通信を行うための公衆電話網としてデジタル携帯電話網を例に挙げたが、本発明は公衆電話網の種類を限定するものではなく、アナログ網、ISDN網、PHS網などあらゆる公衆電話網に適用可能なものである。

なお、本実施の形態の検索エンジンは本発明の検索手段の例であり、本実施の形態の電波による通信、赤外線通信、リムーバブルメディアによる情報の伝達、端末装置の装着などにより情報の伝達を行う情報出力手段は本発明の出力手段の例である。要するに本発明の出力手段は、情報を供給装置に伝えられるものであればなんでもよい。本実施の形態の外部機器すなわちホテルのフロントの予約確認端末は本発明の供給装置の例である。

(実施の形態4)

図15は、第4の発明の実施の一形態である情報転送システムのシステム構成図である。

これは図1および図6すでに説明した第1および第2の発明の実施の形態のシステム構成図および同一の構成要素を含んでいるので、同一要素には図1および図6と同一の番号を与えて以降簡略な説明にとどめる。

図15において、1は情報入力手段、2は情報表示手段、5は情報記憶手段、6は情報出力手段、10は端末通信手段、で、20はこれらをすべて具備している検索端末装置であり、

一方、3はデータベース、4は検索エンジン、11はサーバー通信手段で、21はこれらをすべて具備している情報サーバー装置である。

また、53は前記情報出力手段6を構成するリムーバブルメディア書き込み手段でリムーバブルメディアに情報を書き込む働きをし、62は前記端末通信手段10および前記サーバー通信手段11を構成する無線通信手段で公衆電話網などを介さずに直接端末とサーバーが電波によって通信を行うものである。

以上のように構成されたシステムが実行されるハードウェア構成を図 1 6 に示す。

図 1 6 は検索端末装置 2 0、情報サーバー装置 2 1 とともに基本的には汎用の計算機システムの構成と同じである。また、図 1 5 で示したシステムの構成部分と同一構成部分を含んでいるために、同一構成部分には同一番号を付して説明を省略する。

図 1 6 において、検索端末装置 2 0 側は、1 は情報入力手段、2 は情報表示手段、1 0 1 は表示出力されるデータを記憶する V R A M、1 0 2 はプログラムを記憶する揮発性のメモリである主記憶装置、1 0 3 はプログラムやデータを記憶しておく不揮発性のメモリである補助記憶装置、1 0 4 は主記憶装置 1 0 2 に記憶されているプログラムを実行する C P U、5 3 はリムーバブルメディア書き込み手段 6 2 は無線通信手段である。

また、情報サーバー装置 2 1 側は、1 0 2 はプログラムを記憶する揮発性のメモリである主記憶装置、1 0 3 はプログラムやデータを記憶しておく不揮発性のメモリである補助記憶装置、1 0 4 は主記憶装置 1 0 2 に記憶されているプログラムを実行する C P U、6 2 は無線通信手段である。検索端末装置 2 0 と情報サーバー装置 2 1 は無線通信手段 6 2 によって互いに通信している。

先にも述べたように本ハードウェア構成は基本的に汎用の計算機システムと同じであり、補助記憶装置 1 0 3 に記憶されているプログラムは主記憶装置 1 0 2 にロードされてから C P U 1 0 4 によって実行される。

また、この情報転送装置はリムーバブルメディア書き込み手段 5 3 がリ

ムーバブルメディア402に情報を書き込み、外部機器200は図示しないムーバブルメディア読みとり手段から情報を読みとることにより、検索端末装置20から外部機器200に対して情報を伝達する。

以上のように構成された情報転送システムの動作をフローチャートを用いて説明する。本発明の実施の形態は第2実施の形態と類似の動作をするため、第2の実施の形態と同様、図8を参照しながら説明する。

本実施の形態では、無線端末機による鉄道のチケットの検索を例に説明する。

(ステップB1)

まず、検索端末装置20の情報入力手段1から検索の条件を受け付ける。例えば、利用日、区間、利用列車、席種などによる検索条件をユーザが与える。具体的な例として、「利用日」＝「3月3日」で「区間」＝「大阪－富山」など、入力する。情報の入力に当たっては、情報表示手段2に図17で示すような画面を表示してもよい。

入力された検索条件は無線通信手段62によって、情報サーバー装置21に送られる。

(ステップB2)

つぎに、情報サーバー装置21において、検索エンジン4がデータベース3からステップB1で入力された検索条件に合致するデータを検索する。データベース3にはあらかじめ列車のデータが空席状況とともに記憶されており、利用日、区間、発車時刻、席種などで検索が可能なような構成となっている。また、空席状況は一定の時間ごとに更新される。検索結果は

再び無線通信手段 6 1 を介して、検索端末装置 2 0 に送られる。

(ステップ B 3)

次に、検索端末装置 2 0 側で、検索エンジン 4 によって検索されたデータを情報表示手段 2 に表示する。図 1 8 は検索結果表示の一例で、ステップ B 1 で入力された検索条件に合致し、空席のある列車のデータの一覧を表示している。また、情報表示手段 2 の画面に表示しきれないほど多数のデータが検索された場合は、画面を切り替えたり、画面をスクロールするなどにより、そのほかのデータも表示が可能である。

(ステップ B 4、B 5)

ステップ B 3 で表示されたデータの中にユーザが所望のものがなければ、ユーザは検索条件を変更して再検索する。これは、情報入力手段 1 に「再検索要求」のボタンが備えられているか、情報表示手段 2 に「再検索要求」を選択しあるいは選択ボタンまたは選択メニューが表示され、「再検索要求」を選択しあるいは選択ボタンを選択し、それを情報入力手段 1 で選択することによって入力される。再検索が要求されると再び、ステップ B 2 に戻る。

また、ステップ B 3 で表示されたデータの中にユーザが所望のものがあ
る場合は、ステップ B 5 において所望のデータを選択する。選択方法は再
検索要求の場合と同様である。

(ステップ B 6)

ステップ B 5 で列車を選択されると、再び情報サーバー装置 2 1 のデータベース 3 から該当する列車の列車名、料金、発車時刻など詳細なデータ

が呼び出され、情報表示手段 2 に表示される。

(ステップ B 7)

情報記憶手段 5 に記憶させる列車のデータがステップ B 6 で表示された列車でよいかどうかをユーザが入力する。この列車でよい場合は次のステップに移り、この列車にしない場合はステップ B 3 に戻る。

(ステップ B 8)

選択された列車の ID データを情報サーバー装置 21 のデータベース 3 から読みだし、検索端末装置 20 の情報記憶手段 5 に記憶する。列車の ID データはどの列車のどの席をどの区間を予約したかを一意に特定するものがある。

(ステップ B 9、B 10)

ユーザによる情報記憶手段 5 に記憶している列車の ID データをリムーバブルメディア 402 への転送の指示の入力を待つ。リムーバブルメディア 402 には磁気カード、IC カード、フラッシュメモリ、フロッピーディスクなどがある。

リムーバブルメディア 402 に列車 ID データが転送されたら、ユーザはこのリムーバブルメディア 402 を持ち歩き、外部機器 200 である駅の券売機のリムーバブルメディア読みとり手段にリムーバブルメディア 402 に記憶されている列車 ID データが正しいデータであれば、ユーザ予約した列車の切符が発券される。

なお、本実施の一形態では列車の検索を例に挙げたが、本発明は検索するデータを限定するものではなく、あらゆるデータの検索に適用可能であ

ることはいうまでもない。

なお、第 1 の発明の実施の一形態の情報転送装置においては、情報出力手段 6 として情報出力端子 5 0 の場合について説明したが、第 2、第 3 および第 4 の実施の形態で用いた、赤外線発信手段 5 1、または電波発信手段 5 2、あるいはリムーバブルメディア書き込み手段 5 3 のいずれを情報出力手段 6 に用いてもよい。

また、第 2、第 3、第 4 の実施の形態の情報転送システムにおいても、情報出力手段 6 として、同様に情報出力端子 5 0、赤外線発信手段 5 1、または電波発信手段 5 2、あるいはリムーバブルメディア書き込み手段 5 3 のいずれを用いてもよい。

また、第 2、第 3、第 4 の実施の形態の情報転送システムにおいては、端末通信手段 1 0 として、ネットワーク通信手段 6 0、無線通信手段 6 1、無線通信手段 6 2 のいずれも用いてもよい。

また、第 2、第 3、第 4 の発明の実施の形態の情報転送システムにおいては、端末通信手段 1 0 として、図 1 9 に示すように赤外線通信手段 6 3 を用いてもよい。

なお、本実施の形態の検索エンジンは本発明の検索手段の例であり、本実施の形態の情報出力手段は本発明の出力手段の例であり、本実施の形態の接続ケーブルを経由した通信、赤外線通信、無線通信、リムーバブルメディアによるデータの伝達は本実施の形態の情報出力手段で用いられる通信方法であり、また本実施の形態の駅の券売機である外部の機器は本発明の供給装置の例である。

(実施の形態 5)

図 20 は、第 5 の発明の実施の形態である情報転送システムのシステム構成図である。これは図 1 および図 6 ですでに説明した第 1 および第 2 の発明の実施の形態のシステム構成図および同一の構成要素を含んでいるので、同一要素には図 1 および図 6 と同一の番号を与えて以降簡略な説明にとどめる。

図 20 において、1 は情報入力手段、2 は情報表示手段、5 は情報記憶手段、6 は情報出力手段、10 は端末通信手段、30 は検索に用いる感性情報を入力する感性情報入力手段、で、20 はこれらをすべて具備している検索端末装置であり、一方、3 はデータベース、11 はサーバー通信手段、31 は前記データベース 3 の記憶しているデータについての感性データを記憶した感性データベース、32 は感性検索の検索条件からデータを検索する感性検索エンジンであり、21 はこれらをすべて具備している情報サーバー装置である。また、52 は前記情報出力手段 6 を構成する電波発信手段で、61 は前記端末通信手段 10 および前記サーバー通信手段 11 を構成する公衆電話網通信手段である。

以上のように構成されたシステムが実行されるハードウェア構成を図 21 に示す。図 21 は検索端末装置 20、情報サーバー装置 21 とともに基本的には汎用の計算機システムの構成と同じである。また、図 20 で示したシステムの構成部分と同一構成部分を含んでいるために、同一構成部分には同一番号を付して説明を省略する。

図 21 において、検索端末装置 20 側は、1 は情報入力手段、30 は感

性情報入力手段、2は情報表示手段、101は表示出力されるデータを記憶するVRAM、102はプログラムを記憶する揮発性のメモリである主記憶装置、103はプログラムやデータを記憶しておく不揮発性のメモリである補助記憶装置、104は主記憶装置102に記憶されているプログラムを実行するCPU、52は電波発信手段、61は公衆電話網通信手段である。また、情報サーバー装置21側は、102はプログラムを記憶する揮発性のメモリである主記憶装置、103はプログラムやデータを記憶しておく不揮発性のメモリである補助記憶装置、104は主記憶装置102に記憶されているプログラムを実行するCPU、61は公衆電話網通信手段である。検索端末装置20と情報サーバー装置21は公衆電話網通信手段61によって互いに通信している。公衆電話網通信手段61は、アナログ電話網、ISDN網、デジタル携帯電話網、PHS網のいずれかの公衆電話網と接続して通信を行ったり、あるいはこれら複数個の回線網を経由して通信をおこなっている。

先にも述べたように本ハードウェア構成は基本的に汎用の計算機システムと同じであり、補助記憶装置103に記憶されているプログラムは主記憶装置102にロードされてからCPU104によって実行される。

また、この情報転送装置は電波発信手段52から電波により外部機器200に対して情報を送出する。

以上のように構成された情報転送システムの動作を図22のフローチャートを用いて説明する。

この実施の一形態では、デジタル携帯電話機による映画の検索を例に説

明する。

(ステップC1)

まず、検索端末装置20すなわちデジタル携帯電話機の感性情報入力手段30から検索の条件を受け付ける。例えば、「楽しい」「ドキドキする」など映画を評価する形容詞あるいは形容動詞が検索条件となる。図23は検索条件を入力する画面の一例で、あらかじめ用意された形容詞、形容動詞群よりユーザが検索条件に指定したいものを1つ以上選択する。例えば感性情報入力手段30により「わくわくする」と「あかるい」を選択する。

ここでは、あらかじめ提示された語群から選択する例を説明したが、形容詞や形容動詞自体を感性情報入力手段30によって入力してもよい。

また、形容詞や形容動詞を選択後、図24に示すように、選択した語群についてどの程度当てはまるものであるのかの度合いを入力させてもよい。図24では図23において「わくわくする」と「あかるい」がすでに選択された場合で、それぞれの言葉がどのくらいの度合いで当てはまるものかを入力する。例えば、「すこしわくわくする」程度であれば1を「とてもわくわくする」ものであれば5を入力し、その中間的な度合いは2から4のうち適当なものを入力する。「あかるい」についても同様である。

以上の操作により検索条件が言葉とその度合いによって入力される。以降の説明では、検索条件として「わくわくする=3」「あかるい=5」が検索条件であるとして説明を進める。

(ステップC2)

つぎに、情報サーバー装置 2 1 において、感性検索エンジン 3 2 が感性データベース 3 1 からステップ C 1 で入力された検索条件に合致する感性データを検索する。感性データベース 3 1 にはデータベース 3 に記憶されている映画のデータすべてについての感性評価値が記憶されている。例えば、「映画 A」は「わくわくする＝4」「あかるい＝1」「おもしろい＝3」などのようにである。感性検索エンジン 3 2 により検索条件に最もよく合致するものからいくつかの映画を抽出する。

(ステップ C 3)

つぎに、ステップ C 2 で抽出された映画について、出演者、上映場所、上映時間、席の空き状況などをデータベース 3 に照会する。データベース 3 にはあらかじめ映画の出演者、上映場所などのデータが空き状況とともに記憶されており、空き状況は一定の時間ごとに更新される。データベース 3 に照会されたデータは検索結果として再び公衆電話網通信手段 6 1 を介して、検索端末装置 2 0 に送られる。

(ステップ C 4)

次に、検索端末装置 2 0 側で、感性検索エンジン 3 2 によって検索されたデータを情報表示手段 2 に表示する。

図 2 5 は検索結果表示の一例で、ステップ C 1 で入力された検索条件に合致し、空席のある映画のデータの一覧を表示している。また、情報表示手段 2 の画面に表示しきれないほど多数のデータが検索された場合は、画面を切り替えたり、画面をスクロールしたりするなどにより、そのほかのデータも表示が可能である。

(ステップC 5、C 6)

ステップC 4で表示されたデータの中にユーザが所望のものがいない場合は、ユーザは検索条件を変更して再検索する。これは、情報入力手段1に「再検索要求」のボタンが備えられているかまたは選択メニューが表示され、情報表示手段2に「再検索要求」を選択しあるいは選択メニューを選択し、それを情報入力手段1で選択することによって入力される。再検索が要求されると再び、ステップC 2に戻る。

また、ステップC 4で表示されたデータの中にユーザが所望のものがあ
る場合は、ステップC 6において所望のデータを選択する。選択方法は再
検索要求の場合と同様である。

(ステップC 7)

ステップC 6で映画を選択されると、再び情報サーバー装置21のデー
タベース3から該当する映画の上映館、上映時間、など詳細なデータが呼
び出され、情報表示手段2に表示される。

(ステップC 8)

情報記憶手段5に記憶させる映画のデータがステップC 7で表示された
ホテルでよいかどうかをユーザが入力する。このホテルでよい場合は次の
ステップに移り、このホテルにしない場合はステップC 4に戻る。

(ステップC 9)

選択された映画のIDデータを情報サーバー装置21のデータベース3か
ら読みだし、検索端末装置20の情報記憶手段5に記憶する。映画のIDデ
ータはどの映画館のどの上演のどの席を予約したかを一意に特定するもの

ある。

(ステップC10、C11)

ユーザによる情報記憶手段5に記憶している映画のIDデータを外部機器200への転送の指示の入力を待つ。外部機器200には例えば映画館のチケットカウンターにある予約を確認する端末などがある。ユーザから転送の入力があれば映画IDデータを外部機器200に電波によって転送して一連の処理を終了する。映画館のチケットカウンターの予約確認端末である外部機器200が、転送された情報が正しい予約コードであれば、ユーザは予約席を利用することができる。

なお、本実施の形態では映画の検索を例に挙げたが、本発明は検索するデータを限定するものではなく、あらゆるデータの検索に適用可能であることはいうまでもない。

すなわち、表1は検索の目的と、供給装置の種々の組み合わせを示す。

【表1】

目的	供給装置
テレビ番組を予約する	VTR、テレビ、パソコン
カラオケの選曲をする	カラオケ装置
チケットを予約する	チケット発券機
座席を予約する	入門ゲート

表 1 において、テレビの番組を予約することを目的とする場合は、供給装置は V T R であり、その動作は予約動作となる。また、単にテレビ番組を視聴するだけを目的とする場合は、共通装置はテレビ、パソコン又はセットトップボックスであり、その動作はスイッチオンとなる。また、上述したようにカラオケ選曲が目的なら、供給装置はカラオケ装置であり、その動作は予約あるいは演奏開始動作となる。

また、映画、列車、飛行機などのチケットの予約が目的なら、供給装置は所望のチケットを発行するチケット発券機であり、その動作はチケット発行となる。また、映画などの予約の場合でチケットを発行しない場合は、供給装置は、映画館の入門ゲートであり、その動作は開く動作となる。

また、通信を行うための公衆電話網としてデジタル携帯電話網を例に挙げたが、本発明は公衆電話網の種類を限定するものではなく、アナログ網、ISDN網、PHS網などあらゆる公衆電話網に適用可能なものである。

なお、第 1 から第 4 の実施の形態のいずれにおいても、感性情報入力手段 3 0、感性データベース 3 1 および感性検索エンジン 3 2 を付加することにより、形容詞や形容動詞によって情報を検索し、転送する情報転送装置および情報転送システムを構成することが可能となる。

なお、本実施の形態の感性検索エンジンは本発明の検索手段の例であり、本実施の形態の情報出力手段は本発明の出力手段の例であり、本実施の形態の公衆電話網に限らず、接続ケーブルを経由した通信、赤外線通信、無線通信、リムーバブルメディアなども本実施の形態の情報出力手段で使用可能である。また本実施の形態の外部機器である映画館のチケットカウン

ターの予約確認端末は本発明の供給装置の例である。

なお、第1のグループに属する本発明の端末装置または情報転送システムまたは供給装置の各構成要素の機能を専用のハードウェアを用いて実現しても構わないし、コンピュータのプログラムによってソフトウェア的に実現しても構わない。

また、第1のグループに属する本発明の情報転送装置または端末装置の各構成要素の全部または一部の機能をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したプログラム記録媒体も本発明に属する。

(B) 以下、第2のグループに属する本発明の各実施の形態について、図面を参照しながら説明する。

(実施の形態1)

図26は、本発明の実施の形態1による電子メール作成装置の構成を示す図である。図において、1000は電子メール作成装置、301は文字の入力、あるいは情報の選択、あるいは実行などの命令の入力の少なくとも1つ以上が入力可能である情報入力手段、302は文書の作成あるいは文書の編集を行う文書作成編集手段、303は文書に挿入して用いるためのイラストを蓄積しているイラスト蓄積手段、304はイラスト蓄積手段303に蓄積されているイラストを提示するイラスト提示手段、305はイラスト提示手段304に提示されたイラストの中から少なくとも1つ以上のイラストを選択するイラスト選択手段、306はイラスト選択手段305で選択されたイラストを文書作成編集手段302で作成あるいは編集

中の文書に挿入するイラスト挿入手段、307は文書作成編集手段302で作成あるいは編集された文書を電子メールとして送信する電子メール送受信手段、3010は公衆電話網である。なお、イラスト蓄積手段303に蓄積されたイラストには、イラスト提示手段がアクセスするためのインデックスが付与されている。また、イラスト提示手段によって提示されるイラストは、携帯電話の液晶画面に表示するようになっていてもよい。

次に、図27は、電子メール作成装置1000のGUI（グラフィカル・ユーザ・インタフェース）を示す図である。

図において、2000は各ボタン及び画面が配置された主ウィンドウ、320は電子メールの送信先を指定する送信先指定欄、321は電子メールのタイトルを指定するメールタイトル指定欄、322は電子メールの送信を指示する送信指示ボタン、323はイラストの挿入を指示するイラスト挿入指示ボタン、324はイラスト表示を切り替えるイラスト表示切り替えボタン、325は文書の作成あるいは文章の編集が行われるとともにイラストが挿入されるメール作成画面、326はイラスト提示手段304が提示したイラストを表示する候補イラスト提示画面である。ただし、各ボタンの押下および候補イラストの選択のための入力は、ポインティング・デバイスを用いておこなう。

次に、図28は、電子メール作成装置1000を実行するハードウェアの構成を示す図である。図28に示す構成は、基本的には汎用の計算機システムの構成と同じである。また、図26で示したシステムの構成部分と同一構成部分を含んでいるために、同一構成部分には同一番号を付して説

明を省略する。図28において、301は情報入力手段、331は表示出力されるデータを記憶するVRAM、332はプログラムを記憶する揮発性のメモリである主記憶装置、333はプログラムやデータを記憶しておく不揮発性のメモリである補助記憶装置、334は主記憶装置1020に記憶されているプログラムを実行するCPU、335は公衆電話回線あるいはインターネット、イントラネットなどのネットワークとの通信を行う情報通信装置、336はVRAM331上のデータを表示する、CRTや液晶ディスプレイなどの情報表示装置である。

以上のような構成を有する、本実施の形態1による電子メール作成装置の動作を、図29のフローチャートを参照しながら説明する。なお、本実施の形態では、イラストとして、文字フォントの組み合わせや配置によって絵柄を表現したテキストデータを用いた。

はじめにステップA1では、イラスト提示手段4は、イラスト蓄積手段303に蓄積されているイラストを、付与されたインデックス順に候補イラスト提示画面326へ出力する。候補イラスト提示画面326は、候補イラスト（図中では4葉）を一度に表示する。

次にステップA2では、ユーザは候補イラスト提示画面326に表示されている候補イラストから、所望のものがあかどうかを確認する。現在表示中の候補イラストに、ユーザが所望するものがない場合は、ステップA3へ進む。一方、所望のイラストが表示されている場合は、ステップA4へ進む。

ステップA3では、イラスト表示切り替えボタン324の「次ページ」

のボタンをクリックする。イラスト提示手段 304 は、イラスト蓄積手段 303 からインデックス順に新しいイラストを読み出し、候補イラスト提示画面 326 へ出力する。候補イラスト提示画面 326 は、新たな候補イラストを一度に提示する。このとき、ユーザはイラスト表示切り替えボタン 324 の「前ページ」のボタンをクリックすることにより、現在表示中の候補イラストよりも以前に表示した候補イラストを候補イラスト提示画面 326 に表示させることができる。また、上述の動作と同様に、再びイラスト切り替えボタン 324 の「次ページ」をクリックすると、現在表示中の候補イラストよりもさらに新しい候補イラストを表示させることができる。このステップ A1、A2 および A3 の操作は、ユーザが所望するイラストが、候補イラスト提示画面 326 に表示されるまで繰り返される。

ステップ A4 では、候補イラスト提示画面 326 に表示されている候補イラストから、所望のイラストを決定する。ユーザの操作に基づき、情報入力手段 301 が候補イラスト提示画面 326 に表示されている候補イラストの中から所望のものを選択する。この動作は、主ウィンドウ 2000 上では、ポインティング・デバイスにより候補イラスト提示画面 326 上のイラストを直接クリックすることによって実現される。

ステップ A5 では、ステップ A4 にて決定されたイラストを文書作成編集手段 302 の編集の対象となる文書に挿入するようにする。ユーザの操作に基づき、イラスト挿入手段 306 が、決定されたイラストをメール作成画面 325 上のあらかじめ決まった位置にコピーする。この動作は、主ウィンドウ 2000 上では、ポインティング・デバイスによりイラスト挿

入指示ボタン 3 2 3 をクリックすることによって実現される。ここで図 3 0 (a) に、メール作成画面 3 2 5 上に、決定したイラストをコピーした様子を示す。

ステップ A 6 では、ユーザの操作に基づき、文書作成編集手段 3 0 2 が、ステップ A 5 にてイラストを、挿入したメール作成画面 3 2 5 上の文書に、該イラストを取り巻く形で本文を作成、編集し、メールの形態に整える。このとき、文書作成編集手段 3 0 2 は、従来のメール作成装置やワープロ、エディタと同様の操作でメールの本文の作成を行う。

本実施の形態では、イラストはテキストデータを用いているため、メールの本文とイラストを同一の編集画面、かつプレーンテキスト形式で編集することが可能である。ここで図 3 0 5 (b) に、メール作成画面 3 2 5 上において、イラストと文書の本文が混在した形で編集を完了した状態を示す。。

ステップ A 7 では、ステップ A 6 にて作成が完了したメールを、送信可能な状態にする。送信指示ボタン 3 2 2 のクリックによってメールの送信の指示が与えられると、ステップ A 6 にて作成を完了したメールに、送信先指定欄 3 2 0 で指定された送信先、メールタイトル指定欄 3 2 1 で指定されたメールタイトル、および電子メールに必要なヘッダ情報が、図示しない専用の付加手段によって付加される。ただし、上記の動作に先だって、送信先指定欄 3 2 0 への送信先およびメールタイトル指定欄 3 2 1 へのメールタイトルの記入は、これまでの動作ステップ A 1 ないしステップ A 6 のいずれのステップにおいて行ってもよい。

最後にステップA 8では、電子メール送受信手段3 0 7が、公衆電話網3 0 1 0を介して電子メールの送信を完了する。

(実施の形態2)

図3 1は、本発明の実施の形態2による電子メール作成装置の構成を示す図である。図において、図2 6と同一符号は同一部または同一手段である。また3 0 8は文書作成編集手段3 0 2で作成中の文書の編集位置、すなわちカーソルの位置を検出するカーソル位置検出手段である。

なお、図5 9に示すように、データダウンロード手段4 0 0 0 0を追加した場合は、イラスト蓄積手段3 0 3に蓄積されているイラストデータを、公衆電話回線3 0 1 0を経由して、外部のサーバーなどからダウンロードすることによって、イラストの内容を追加したり、更新することが可能となる。

次に、本実施の形態2による電子メール作成装置6 0 0 0のGUIは、図2 7に示す本実施の形態1と同様である。また、ハードウェアの構成も図2 8に示す本実施の形態1と同様である。

以上のような構成を有する、本実施の形態2による電子メール作成装置の動作を、本実施の形態1と同様、図2 9のフローチャートを参照しながら説明する。ただし、本実施の形態においても、実施の形態1と同様に、イラストとして、文字フォントの組み合わせや配置によって絵柄を表現したテキストデータを用いた。

はじめに、ステップA 1、A 2、A 3およびステップA 4での動作は、実施の形態1のステップA 1、A 2、A 3およびA 4と同様の動作である

ため、説明を省略する。

次に、ステップA 5では、ステップA 4にて決定されたイラストをメール作成画面3 2 5上にて編集の対象となる文書に挿入するようにする。ユーザの操作に基づき、イラスト挿入手段3 0 6が、決定されたイラストを保持する。続いて、文書作成編集手段3 0 2が、メール作成画面3 2 5上において、未だ文書の編集や作成を行っていない場合は、本実施の形態1と同様に、イラスト挿入手段3 0 6は、保持しているイラストを、メール作成画面3 2 5上にコピーする。一方、文書作成編集手段3 0 2が、メール作成画面3 2 5上において文書の編集や作成をすでに行っている場合は、カーソル位置検出手段3 0 8が、メール作成画面3 2 5上における、現在の編集集中の文書のカーソル位置を検出する。このカーソル位置は、例えば行番号と列番号とを用いて「3行目、5桁目」等のように表される。カーソル位置が検出されると、イラスト挿入手段3 0 6は、該カーソル位置に、保持しているイラストを挿入する。挿入に当たっては、カーソル行頭がない場合は、その場所でテキストを折り返し、その位置にイラストを挿入する。図3 2はその様子を示したもので、(a)が編集集中の文書であり「お弁当作っていきます。」の「て」と「い」の間にカーソルがある。そこで、その位置でテキストを改行し、「お弁当作って」の行と「いきます。」の行の間にイラストが挿入され、同図(b)のようになる。

ステップA 6では、実施の形態1と同様、ユーザの操作に基づき、ステップA 5で挿入されたイラストの前後に文書を追加、編集し、メールの本文の作成を行う。続いて、ステップA 7およびA 8では、それぞれ本実

施の形態 1 のステップ A 7 および A 8 と同様の動作を行い、メールを送信する。

なお、本実施の形態においては、メールの本文に挿入するイラストを、テキストデータからなるものとして説明をおこなったが、これに限定するものではなく、J P E G などの静止画像データ、M P E G や A V I といった動画像データ、M o t i o n - J P E G や G I F アニメーションなどの疑似静止画像データ、あるいはベクトル形式により作成されたデータをイラストとして挿入するようにしてもよい。この場合、イラスト挿入手段 3 0 6 は、イラストを B A S E 6 4、u u e n c o d e などといった電子メールの添付ファイルで用いられるファイルエンコード方式によりエンコードするとともに、文書作成編集手段 3 0 2 は、文書を H T M L 形式として作成する。イラストは電子メールの添付ファイルとなるが、添付された画像の表示位置は、文書の本文中に H T M L で指定されており、メールの受信者は、メール作成画面 3 2 5 上の指定された位置に、イラストが挿入された状態で文書を見ることができる。

(実施の形態 3)

図 3 3 は、本発明の実施の形態 3 による電子メール作成装置の構成を示す図である。図において、図 2 6 と同一符号は同一部または同一手段である。また 8 0 0 0 は電子メール作成装置、3 0 9 は文書作成編集手段 3 0 2 において作成あるいは編集中の現在の文書の中から、イラストの挿入位置を指定する特定の文字列を検出する挿入位置指定情報検出手段である。

次に、本実施の形態 3 による電子メール作成装置 8 0 0 0 の G U I は、

図 2 7 に示す本実施の形態 1 と同様である。また、ハードウェアの構成も図 2 8 に示す本実施の形態 1 と同様である。

以上のような構成を有する、本実施の形態 3 による電子メール作成装置の動作を、本実施の形態 1 と同様、図 2 9 のフローチャートを参照しながら説明する。ただし、本実施の形態においても、実施の形態 1 と同様に、イラストとして、文字フォントの組み合わせや配置によって絵柄を表現したテキストデータを用いた。

さらに、本実施の形態では、文書作成編集手段 3 0 2 は、あらかじめメール作成画面 3 2 5 上にて文書の作成あるいは編集を行っているものとする。

はじめに、ステップ A 1、A 2、A 3 およびステップ A 4 での動作は、実施の形態 1 および 2 のステップ A 1、A 2、A 3 および A 4 と同様の動作であるため、説明を省略する。

次に、ステップ A 5 では、ステップ A 4 にて決定されたイラストをメール作成画面 3 2 5 上にて編集の対象となっている文書に挿入するようにする。ユーザの操作に基づき、イラスト挿入手段 3 0 6 は、決定されたイラストを保持する。続いて、挿入位置指定情報検出手段 3 0 9 は、文書作成編集手段 3 0 2 がメール作成画面 3 2 5 において編集集中の文書から、挿入位置指定文字列を検出する。この挿入位置指定文字列としては、例えば、「<ILLUST>」、「\$\$\$」などというような、通常の文書では用いられる頻度が少ない文字列をあらかじめ定めておく。挿入位置が検出されると、イラスト挿入手段 3 0 6 は、該挿入位置に、保持しているイラストを挿入する。

このイラスト挿入に際しては、挿入位置指定文字列はイラストの挿入後に削除し、かつ、その場所でテキストを折り返すように文書を整形する。図 34 はその様子を示したもので、(a) が編集集中の文書であり「お弁当作って\$\$\$いきます。」の「て」と「い」の間に挿入位置指定文字列がある。そこで、「\$\$\$」自体は削除し、その位置でテキストを改行し、「お弁当作って」の行と「いきます。」の行の間にイラストが挿入され、同図 (b) のようになる。

これ以後の、ステップ A 6、ステップ A 7 およびステップ A 8 の動作は、実施の形態 1 および 2 と同様に行われる。

なお、本実施の形態においては、メールの本文に挿入するイラストを、テキストデータからなるものとして説明をおこなったが、これに限定するものではなく、J P E G などの静止画像データ、M P E G や A V I といった動画データ、M o t i o n - J P E G や G I F アニメーションなどの疑似静止画像データ、あるいはベクトル形式により作成されたデータをイラストとして挿入するようにしてもよい。この場合、イラスト挿入手段 6 は、イラストを B A S E 6 4、u u e n c o d e などといった電子メールの添付ファイルで用いられるファイルエンコード方式によりエンコードするとともに、文書作成編集手段 302 は、文書を HTML 形式として作成する。イラストは電子メールの添付ファイルとなるが、添付された画像の表示位置は、文書の本文中に HTML で指定されており、メールの受信者は、メール作成画面 325 上の指定された位置に、イラストが挿入された状態で文書を見ることができる。上述のテキストデータをイラストとして

用いた場合と同じく、メール作成画面 3 2 5 上では、送信側においても受信側においても、文書とイラストとは同一画面上に表示される。

(実施の形態 4)

図 3 5 は、本発明の実施の形態 4 による電子メール作成装置構成を示す図である。

図において、図 2 6 と同一符号は同一部または同一手段である。また、1 0 0 0 0 は電子メール作成装置、3 1 0 はイラスト蓄積手段 3 0 3 に蓄積されているイラストの中から、イラストが持つ属性について、ユーザが提示を希望する属性値を指定する、イラスト属性値指定手段、3 1 1 はイラスト属性値指定手段 3 1 0 によって指定されたイラスト属性値に合致するイラストをイラスト蓄積手段 3 0 3 から検索するイラスト検索手段である。ただし本実施の形態において、イラスト蓄積手段 3 0 3 は、イラストに加えて、蓄積しているイラストについて、イラストの名称、分類、作成者、作成日時などの属性値を蓄積している。

次に、図 3 6 は、本実施の形態 4 による電子メール作成装置 1 0 0 0 0 の G U I を示す図である。

図において、図 2 7 と同一符号は同一部または同一手段であり、3 1 1 はイラスト属性値入力画面、。ただし、各ボタンの押下およびイラストの選択のための入力、ポインティング・デバイスまたはキーボードを用いておこなう。

次に、本実施の形態 4 の電子メール作成装置 1 0 0 0 0 を実行するハードウェアの構成は、図 2 8 に示す本実施の形態 1 と同様のものである。

以上のような構成を有する、本実施の形態4による電子メール作成装置の動作を図37のフローチャートを参照しながら説明する。ただし、本実施の形態では、イラストとして、文字フォントの組み合わせや配置によって絵柄を表現したテキストデータを用いた。

はじめにステップB1では、ユーザの操作に基づき、イラスト属性値指定手段310は、ユーザが所望するイラストの属性を指定する。この属性は、あらかじめイラスト蓄積手段303にイラストとともに蓄積されているイラスト属性値の中から指定する。図36では「春」と指定されている。

次にステップB2では、イラスト検索手段311は、イラスト蓄積手段303に蓄積されているイラストの中から、イラスト属性値指定手段310が指定した属性値に該当するものを検出するとともに、イラスト提示手段304は、イラスト検出手段311が検出したイラストを、候補イラストとして候補イラスト提示画面326上に表示する。

ステップB3では、実施の形態1と同様に、ユーザは、候補イラスト提示画面326に表示されている候補イラストの中に、所望のイラストがあるかどうかを判断する。所望のイラストが表示されていない場合は、ステップB4に進む。

ステップB4では、現在指定しているイラスト属性値がそのままでもいいかどうかの判定を行う。そのままよいときは、ステップB5へ進み、そうでない場合は、ステップB1に戻り、再びイラスト属性値指定手段310が新しいイラスト属性値を設定して、これまでのステップを繰り返す。

ステップB5では、イラスト表示切り替えボタン324への入力で、候

補イラスト提示手段 3 2 6 に表示されている候補イラストを切り替える。ステップ B 6, ステップ B 7, ステップ B 8, ステップ B 9 およびステップ 3 1 0 での動作は、それぞれ図 2 9 に示す本実施の形態 1 のステップ A 4、ステップ A 5, ステップ A 6, ステップ A 7 およびステップ A 8 と同様のものであるため、説明は省略する。

以上のように、本実施の形態 4 の電子メール作成装置によれば、イラスト属性値指定手段 3 1 0 およびイラスト検索手段 3 1 1 を備えた構成としたことにより、たくさんのイラストの中からユーザの指定する属性値のイラストのみを選択的に表示させ、選択することが可能となる。

なお、本実施の形態の構成に、更にカーソル位置検出手段 3 0 8 あるいは挿入位置指定情報検出手段 3 0 9 を設けることにより、本実施の形態 2 あるいは実施の形態 3 と同様に、文書作成編集手段 3 0 2 が編集集中の文書の所定の位置にイラストを直接挿入するようにしてもよい。

また、本実施の形態においては、メールの本文に挿入するイラストを、テキストデータからなるものとして説明をおこなったが、これに限定するものではなく、J P E G などの静止画像データ、M P E G や A V I といった動画データ、M o t i o n - J P E G や G I F アニメーションなどの疑似静止画像データ、あるいはベクトル形式により作成されたデータをイラストとして挿入するようにしてもよい。この場合、イラスト挿入手段 3 0 6 は、イラストを B A S E 6 4、u e n c o d e などといった電子メールの添付ファイルで用いられるファイルエンコード方式によりエンコードするとともに、文書作成編集手段 3 0 2 は、文書を H T M L 形式として

作成する。イラストは電子メールの添付ファイルとなるが、添付された画像の表示位置は、文書の本文中にHTMLで指定されており、メールの受信者は、メール作成画面325上の指定された位置に、イラストが挿入された状態で文書を見ることができる。上述のテキストデータをイラストとして用いた場合と同じく、メール作成画面325上では、送信側においても受信側においても、文書とイラストとは同一画面上に表示される。

(実施の形態5)

図38は、本発明の実施の形態5による電子メール作成装置の構成を示す図である。図において、図26と同一符号は同一部または同一手段である。また13000は電子メール作成装置、312はイラスト蓄積手段303に蓄積されているイラストの中から、イラストが持つ感性属性について、ユーザが提示を希望する感性属性値を指定するイラスト感性属性値指定手段、313はイラスト感性属性値指定手段312によって指定されたイラスト感性属性値に合致するイラストをイラスト蓄積手段303から検索するイラスト感性検索手段である。ただし本実施の形態において、イラスト蓄積手段303は、イラストに加えて、蓄積しているイラストについて所定の感性属性値も蓄積している。

次に、図39は本実施の形態5による電子メール作成装置13000のGUIを示す図である。図39において、図27と同一符号は同一部または同一手段である。また3141はイラスト感性属性値入力画面である。また、ハードウェアの構成も図28に示す本実施の形態1と同様である。

以上のような構成を有する、本実施の形態6による電子メール作成装置

の動作を、図 3 7 のフローチャートを参照しながら説明する。ただし、本実施の形態においても、イラストとして、文字フォントの組み合わせや配置によって絵柄を表現したテキストデータを用いた。

はじめに、ステップ B 1 では、ユーザの操作に基づき、イラスト感性属性値指定手段 3 1 2 は、ユーザが所望するイラストの感性属性を指定する。この感性属性は、あらかじめイラスト蓄積手段 3 0 3 にイラストとともに蓄積されているイラスト感性属性値の中から指定する。図 3 9 では「かわいい」と指定されている。

次に、ステップ B 2 では、イラスト感性検索手段は、イラスト蓄積手段 3 0 3 に蓄積されているイラストの中から、イラスト感性属性値指定手段 3 1 2 が指定した感性属性値に適合するものを検出するとともに、イラスト提示手段 3 0 4 は、イラスト感性検索手段 3 1 1 が検出したイラストを、候補イラストとして候補イラスト提示画面 3 2 6 上に表示する。

ステップ B 3 では、実施の形態 1 と同様に、ユーザは、候補イラスト提示画面 3 2 6 に表示されている候補イラストの中から、所望のイラストがあるかどうかを判断する。所望のイラストが表示されていない場合は、ステップ B 4 に進む。

ステップ B 4 では、現在しているイラスト感性属性値がそのままでよいかどうかの判定を行う。そのままでよいときは、ステップ B 5 へ進み、そうでない場合は、ステップ B 1 に戻り、再びイラスト感性属性値指定手段 3 1 0 が新しいイラスト感性属性値を設定して、これまでのステップを繰り返す。

ステップB 5では、イラスト表示切り替えボタン3 2 4への入力で、候補イラスト提示画面3 2 6に表示されている候補イラストを切り替える。

ステップB 6，ステップB 7，ステップB 8，ステップB 9およびステップ3 1 0での動作は、それぞれ図2 9に示す本実施の形態1のステップA 4、ステップA 5，ステップA 6，ステップA 7およびステップA 8と同様のものであるため、説明は省略する。

以上のように、本実施の形態5の電子メール作成装置によれば、イラスト感性属性値指定手段3 1 2およびイラスト感性検索手段3 0 1 3を備えた構成としたことにより、たくさんのイラストの中からユーザの指定する感性属性値のイラストのみを選択的に表示させ、選択することが可能となる。

なお、本実施の形態では、イラスト感性属性値指定手段3 1 2は、イラスト感性属性値入力画面3 1 4 1より感性属性値「かわいい」の入力を受けつけるものとして説明を行ったが、この他にも、イラスト感性属性値入力画面3 1 4 1は、例えば「かわいい＝0. 5」のように、感性属性を、数値化した適合度ともに指定するようにしてもよい。また、図4 0（a）に示すように、イラスト感性属性値入力画面3 1 4 1は、スライドバーの形状を有していてもよいし、図4 0（b）に示すように、スライドバー両端に、相対する感性語を配置したような構成としてもよい。さらには、図4 0（c）に示すように、2次元の座標軸を用いて、複合した感性属性値を指定するようにしてもよい。

なお、本実施の形態にカーソル位置検出手段3 0 8あるいは挿入位置指

定情報検出手段 309 を設けることにより、第 2 の実施の形態あるいは第 3 の実施の形態で示したような、文書作成編集手段 302 で編集集中の文書の所定の位置にイラストを挿入するようにしてもよい。

また、本実施の形態においては、メールの本文に挿入するイラストを、テキストデータからなるものとして説明をおこなったが、これに限定するものではなく、J P E G などの静止画像データ、M P E G や A V I といった動画データ、M o t i o n - J P E G や G I F アニメーションなどの疑似静止画像データ、あるいはベクトル形式により作成されたデータをイラストとして挿入するようにしてもよい。この場合、イラスト挿入手段 306 は、イラストを B A S E 6 4、u u e n c o d e などといった電子メールの添付ファイルで用いられるファイルエンコード方式によりエンコードするとともに、文書作成編集手段 302 は、文書を H T M L 形式として作成する。イラストは電子メールの添付ファイルとなるが、添付された画像の表示位置は、文書の本文中に H T M L で指定されており、メールの受信者は、メール作成画面 325 上の指定された位置に、イラストが挿入された状態で文書を見ることができる。上述のテキストデータをイラストとして用いた場合と同じく、メール作成画面 325 上では、送信側においても受信側においても、文書とイラストとは同一画面上に表示される。

(実施の形態 6)

図 4 1 は、本発明の実施の形態 6 による電子メール作成装置の構成を示す図である。図において、図 2 6、図 3 4 および図 3 5 と同一符号は同一部または同一手段である。また、16000 は電子メール作成装置、31

4は挿入位置指定情報検出手段309で検出された挿入位置指定文字列の中に含まれる、挿入するイラストの属性値を検出する、イラスト属性値検出手段である。

次に、本実施の形態6による電子メール作成装置16000のGUIは、図36で示す本実施の形態4と同様である。また、ハードウェアの構成は図28に示す本実施の形態1と同様である。

以上のような構成を有する、本実施の形態6による電子メール作成装置の動作を、図42のフローチャートを参照しながら説明する。ただし、本実施の形態においても、イラストとして、文字フォントの組み合わせや配置によって絵柄を表現したテキストデータを用いた。

はじめにステップC1では、ユーザの操作に基づき、文書作成編集手段302がメール作成画面325上においてメールの文書を作成する。

次にステップC2では、ステップC1にて文書作成編集手段302が作成した文書のイラストを挿入したい位置に、挿入位置指定文字列を追加して書き込む。このとき、挿入位置指定文字列には、イラストの属性値も同時に指定して書き込んでおく。ここで図43に、ステップC2の処理の、メール作成画面325上での状態を示す。文書作成編集手段302が作成した文書の中に、「お弁当作って\$\$\$春\$\$\$いきます。」という一文が書かれている。この文中の記述「\$\$\$春\$\$\$」が、イラストの挿入位置および属性値を表現している。イラストの属性値は二つの文字列「\$\$\$」に挟まれた単語により定められ、この例では「春」がそれに当たる。したがって、以降のステップでは、記述「お弁当を作って」と「いきます。」との間に、

属性値「春」を持つ候補イラストから所望のものを選択して挿入することになる。

次に、ステップC 3では、挿入位置指定情報検出手段3 0 9が、メール作成手段3 2 5上に表示されている文書から、挿入位置指定文字列を検出するとともに、イラスト属性値検出手段3 1 4が、上記挿入位置指定文字列から、候補イラストの属性値（図中の「春」）を検出する。イラスト検索手段3 1 1は、イラスト蓄積手段3 0 3に蓄積されているイラストの中から上記属性値に該当するものを抽出し、さらにイラスト提示手段3 0 4は、抽出されたイラストを、候補イラストとして候補イラスト提示画面3 2 6に表示する。

ステップC 4では、実施の形態1と同様にして、ユーザの操作に基づき、候補イラスト提示画面3 2 6に表示されている候補イラストから、所望のイラストがあるかを判断する。所望のイラストが表示されている場合は、ステップC 6へ進む。また、所望のイラストが表示されていない場合は、ステップC 5へ進む。

ステップC 5では、イラスト表示切り替えボタン3 2 4への入力で、表示されている候補イラストを切り替える。

ステップC 3～C 5の動作は、ユーザが所望するイラストが表示されるまで繰り返される

次に、ステップC 6では、所望のイラストを決定する。この際の動作は、本実施の形態1のステップA 4でのものと同様で、ユーザの操作に基づき、情報入力手段3 0 1が、候補イラスト提示画面3 2 6に表示されてい

る候補イラストの中から所望のものを選択する。

ステップC 7では、ステップC 6にて決定されたイラストをメール作成画面3 2 5上にて編集の対象となっている文書に挿入するようする。この動作は本実施の形態3のステップA 5でのものと同様にして行われる。ここで図4 4に、イラストが、メール作成画面3 2 5上に挿入された状態を示す。

最後に、ステップC 8、ステップC 9およびステップC 10は、本実施の形態1のステップA 6、A 7およびA 8にそれぞれ対応するものなので、説明は省略する。

以上のように、本実施の形態6の電子メール作成装置によれば、イラスト属性値検出手段3 1 4およびイラスト検索手段3 1 1を備えた構成としたことにより、たくさんのイラストの中からユーザの指定する属性値のイラストのみを選択的に表示させ、選択することが可能となる。

なお、本実施の形態では、挿入位置指定文字列として「\$\$\$」を用いたが、これに限定するものではなく、挿入位置指定情報検出手段3 0 9が、文書の本文の文字と混同することなく十分識別可能な文字列であれば、何を用いてもよい。

また、本実施の形態での構成は図4 1に示したが、図4 1の構成からイラスト提示手段3 0 4を省略した構成とした図4 5の構成としてもよい。図4 5の構成の場合、GUIは図4 6のようになり、この場合、挿入位置指定情報検出手段3 0 9によって検出された文書の位置にイラストをユーザが選択させるプロセスなしに挿入し、イラスト表示切り替えボタン3 2

04によって、挿入位置に挿入されるイラストが次々に変化するようにすることができる。なお、この場合次々とイラストを変化させる機能をイラスト検索手段に持たせたが、イラスト提示手段に変化させる機能を持たせるときは、イラスト提示手段304を省略する必要はない。

また、本実施の形態でのシステム構成は図41に示したが、図41の構成のイラスト属性値検出手段314に変わって、挿入位置指定情報検出手段309で検出された挿入位置指定文字列の中に含まれる、挿入するイラストの感性属性値を検出する、イラスト感性属性値検出手段315と、イラスト検索手段311に変わってイラスト感性検索手段313をそなえ、また、イラスト蓄積手段303には、電子メールに挿入して用いるためのイラストをそのイラストについての印象を表す形容詞あるいは形容動詞などの感性語とその度合いの感性属性とともに蓄積する、図47に示す構成としてもよい。この場合、図42のステップC2におけるイラスト挿入位置、イラスト属性値の指定において、「\$\$\$かわいい\$\$\$」のように、感性語を指定したり、あるいは「\$\$\$かわいい=0.5\$\$\$」のように感性語とその度合いとともに指定することができる。

また、本実施の形態においては、メールの本文に挿入するイラストを、テキストデータからなるものとして説明をおこなったが、これに限定するものではなく、J P E Gなどの静止画像データ、M P E GやA V Iといった動画データ、M o t i o n - J P E GやG I Fアニメーションなどの疑似静止画像データ、あるいはベクトル形式により作成されたデータをイラストとして挿入するようにしてもよい。この場合、イラスト挿入手段6

は、イラストをBASE64、uencodeなどといった電子メールの添付ファイルで用いられるファイルエンコード方式によりエンコードするとともに、文書作成編集手段302は、文書をHTML形式として作成する。イラストは電子メールの添付ファイルとなるが、添付された画像の表示位置は、文書の本文中にHTMLで指定されており、メールの受信者は、メール作成画面325上の指定された位置に、イラストが挿入された状態で文書を見ることができる。上述のテキストデータをイラストとして用いた場合と同じく、メール作成画面325上では、送信側においても受信側においても、文書とイラストとは同一画面上に表示される。

(実施の形態7)

図48は、本発明の実施の形態7による電子メール作成装置の構成を示す図である。図において、図26と同一符号は同一部または同一手段である。また23000は電子メール作成装置、315はイラスト選択手段5で選択されたイラストを外部の電子メール編集送受信装置の編集画面に挿入するための命令を起動するイラスト挿入命令起動手段である。

次に、図49は、本実施の形態7による電子メール作成装置23000のGUIを示す図である。

図において、図26および図27と同一符号は同一部または同一手段である。また、3240は外部の電子メール編集送受信装置の主ウィンドウで、送信先指定欄3241、メールタイトル指定欄3242、送信指示ボタン3244、文書作成編集欄3243から構成される。

次に、本実施の形態7の電子メール作成装置23000を実行するハー

ドウェアの構成は、図 5 3 に示す本実施の形態 1 と同様のものである。

以上のような構成を有する、本実施の形態 7 による電子メール作成装置の動作を図 5 0 のフローチャートを参照しながら説明する。ただし、本実施の形態では、イラストとして、文字フォントの組み合わせや配置によって絵柄を表現したテキストデータを用いた。

はじめに、ステップ D 1、D 2、D 3 およびステップ D 4 の動作は、それぞれ本実施の形態 1 の、ステップ A 1、ステップ A 2、ステップ A 3 およびステップ A 4 での動作と同様に行われるので、説明を省略する。

次にステップ D 5 では、ステップ D 4 にて決定されたイラストを、既製の外部の電子メール送受信装置 4 0 0 0 に挿入する。ここで、指示はイラスト挿入指示ボタン 3 2 3 をポインティング・デバイスによってクリックして行う。この指示が与えられると、イラスト挿入命令起動手段 3 1 5 が、既製の外部の電子メール送受信装置 4 0 0 0 に対してイラストを挿入するコマンドとともに、イラストをメール本文に挿入する。米マイクロソフト社のオペレーティングシステムであるウィンドウズ 9 5 / 9 8 では、M A P I (メッセージング A P I) と呼ばれるインタフェースが提供されているが、この M A P I に対して、各種コマンドを与えることにより、上述した外部の電子メール送受信装置 4 0 0 0 の起動およびメール本文への挿入といった、上述の操作が可能となる。

また、M A P I を使用しない場合においても、イラスト挿入命令起動手段 3 1 5 が直接外部の電子メール送受信装置 4 0 0 0 を起動し、起動時に起動オプションとして、メールの本文として選択されたイラストを指定し

てやることにより、MAP Iによるのと同様の操作を実現することが可能である。

以上で、電子メール作成装置 2 3 0 0 0 の動作は終了するが、これ以降、外部の電子メール送受信装置 4 0 0 0 においてさらにメールの編集や送信操作をすることにより、一連のすべての操作を完了する。

なお、本実施の形態の構成は図 4 8 に示したが、この構成にさらにイラスト属性値指定手段 3 1 0、イラスト検索手段 3 1 1 を追加し、イラスト蓄積手段 3 0 3 には電子メールに挿入して用いるためのイラストをイラストの名称、分類、作成者、作成日時などの属性値とともに蓄積した、図 5 1 に示す構成を有する電子メール作成装置 2 6 0 0 0 とすることにより、ユーザが指定したイラスト属性値のイラストを外部の電子メール送受信装置 4 0 0 0 に挿入することが可能となる。このときの GUI は図 5 2 に示すようになる。

また、同様に図 4 8 のシステム構成にさらにイラスト感性属性値指定手段 3 1 2、イラスト感性検索手段 3 1 3 を追加し、イラスト蓄積手段 3 0 3 には電子メールに挿入して用いるためのイラストをそのイラストについての印象を表す形容詞あるいは形容動詞などの感性語とその度合いの感性属性とともに蓄積した、図 5 3 に示す構成を有する電子メール作成装置 2 8 0 0 0 とすることにより、ユーザが指定したイラスト属性値のイラストを外部の電子メール送受信装置 4 0 0 0 に挿入することが可能となる。このときの GUI は図 5 4 に示すようになる。

また、本実施の形態においては、外部のメール送受信装置 4 0 0 0 は M A P I によって起動するものとして説明を行ったが、これは他のオペレーティングシステム (OS) 上で用いるなら、他の OS 上で動作するメール用の A P I によって起動することは言うまでもない。

また、本実施の形態においては、メールの本文に挿入するイラストを、テキストデータからなるものとして説明をおこなったが、これに限定するものではなく、J P E G などの静止画像データ、M P E G や A V I といった動画データ、M o t i o n - J P E G や G I F アニメーションなどの疑似静止画像データ、あるいはベクトル形式により作成されたデータをイラストとして挿入するようにしてもよい。この場合、イラスト挿入手段 3 0 6 は、イラストを B A S E 6 4、u u e n c o d e などといった電子メールの添付ファイルで用いられるファイルエンコード方式によりエンコードするとともに、文書作成編集手段 3 0 2 は、文書を HTML 形式として作成する。イラストは電子メールの添付ファイルとなるが、添付された画像の表示位置は、文書の本文中に HTML で指定されており、メールの受信者は、メール作成画面 3 2 5 上の指定された位置に、イラストが挿入された状態で文書を見ることができる。上述のテキストデータをイラストとして用いた場合と同じく、メール作成画面 3 2 5 上では、送信側においても受信側においても、文書とイラストとは同一画面上に表示される。

(実施の形態 8)

図 5 5 は、本発明の実施の形態 8 による電子メール作成装置の構成を示す図である。図において、図 2 6 と同一符号は同一部または同一手段であ

る。また、３００００は電子メール作成装置、３１６は外部機器から画像を取り込む画像キャプチャ手段、３１７は画像キャプチャ手段３１６が取り込んだ画像とイラスト選択手段３０５が選択したイラストとを合成するイラスト合成手段３１７、３２０は画像キャプチャ手段３１６に接続される外部機器であるカメラである。

次に、図５７は、本実施の８による電子メール作成装置３００００のＧＵＩを示す図である。図において、図２７と同一符号は同一部または同一手段であり、また３２０００は主ウィンドウ、３２１０は画像キャプチャ手段３１６が取り込んだ画像を表示するキャプチャ画像表示画面である。

次に、図５６は、本実施の形態８の電子メール作成装置３００００を実行するハードウェアの構成を示す図である。図において、図２８および図５６と同一符号は同一部または同一手段である。

以上のような構成を有する、本実施の形態８による電子メール作成装置の動作は、基本的には本実施の形態１と同様に行われるが、メール作成画面３２５上に挿入するイラストが、イラスト蓄積手段３０３に蓄積されたイラストと、画像キャプチャ手段３１６が取り込んだ画像とを合成したものである点が異なる。ただし、本実施の形態では、イラストとしてテキストデータではなく、一般の画像データを用いる。以下、図５７を参照しながら説明を行う。

はじめに、主ウィンドウ３２０００においては、本発明の他の実施の形態と同様に、イラスト提示手段３０４が、候補イラスト提示画面３２６に候補イラストを表示すると同時に、画像キャプチャ手段３１６が、キャプ

チャ画像表示画面 3 2 1 0 に画像を表示する。

次に、ユーザの操作に基づき、イラストと画像との合成を行う。キャプチャ画像表示画面に表示されている画像を参照しながら、該画像と合成させようとするイラストを、ポインティング・デバイスを用いて直接画面上から選択する。合成の対象となるイラストが表示されている画面は、図 5 7 に示すように、他のイラストを表示している画面と識別可能なように、その枠の部分が縁取られ、画像とイラストとの合成および、この合成により得られたイメージを文書作成編集手段 3 0 2 の対象であるメール作成画面 3 2 5 に挿入する準備が整った状態となる。

次いで、イラスト挿入指示ボタン 3 2 3 のクリックにより、イラストと画像の合成が行われ、次いで合成されたイメージがメール作成画面 3 2 5 上に挿入される。以後の動作は、実施の形態 1 ないし 7 と同様に行われる。

ここで、図 5 8 はイラストと画像との合成の様子を示す図で、(a) はキャプチャ画像表示画面 3 2 1 0 に表示されている画像、(b) はイラスト提示手段 3 0 4 に提示されたイラストの中からユーザが選択した候補イラストである。(c) は前記の (a) (b) を合成したイメージで、この合成したイメージ (c) のみが、最終的にメール作成画面 3 2 5 に表示される。なお、このイメージの挿入に当たっては、あらかじめ該イメージを BASE 6 4、u e n c o d e などエンコードを行う。

なお、文書作成編集手段 3 0 2 が、HTML 形式の文書の作成および HTML スタイルシートによる画像の位置決めの機能を有している場合は、

図 5 8 で示した画像の合成を必ずしも行う必要はなく、スタイルシートにより図 5 8 (a) および (b) の 2 つの画像を重ね合わせることで、メール作成画面 3 2 5 上にて、イラストと画像とを合成した形で表示することができる。ただしこのとき、図 5 8 (b) のイラストとしては、背景部分を透過色に設定したトランスペアレント G I F 形式のデータを用いる必要がある。

なお、請求項記載の文書データ作成編集手段は、本実施の形態においては文書作成手段 3 0 2 に、請求項記載の付加データ蓄積手段はイラスト蓄積手段 3 0 3 に、請求項記載の付加データ選択手段はイラスト選択手段 3 0 5、イラスト属性値指定手段 3 1 0、イラスト検索手段 3 1 1、イラスト感性属性値指定手段 3 1 2、イラスト感性検索手段 3 1 3、イラスト属性値検出手段 3 1 4、イラスト感性属性値検出手段 3 1 5 に、請求項記載の付加データ表示手段は請求項記載のイラスト提示手段 3 0 4 に、請求項記載の合成手段はイラスト挿入手段 3 0 6、カーソル位置検出手段 3 0 8、挿入位置指定情報検出手段 3 0 9、イラスト挿入命令起動手段 3 1 5、画像キャプチャ手段 3 1 6 およびイラスト合成手段 3 1 7 にそれぞれ対応する。

また、第 2 のグループに属する本発明のいずれの実施の形態においても、画面上の入力にポインティング・デバイスを用いたものとして説明を行ったが、本発明はこれに限定するものではなく、情報入力手段 3 0 1 としてキーボード、タッチパネルなどの入力手段を用いてもよい。

また第 2 のグループに属する、本発明のいずれの実施の形態においても

、図 27 で示したように、電子メール作成装置 1000 の主ウィンドウ 2000 は、1 つのウィンドウとして構成されているものとして説明を行ったが、本発明はこれに限定するものではなく、1 つの管理された装置であれば、複数のウィンドウに機能が分離されてもいてもよい。

また、第 2 のグループに属する本発明のいずれの実施の形態においても、電子メール送受信手段 307 は公衆電話網 3010 と接続されているものとして説明を行ったが、本発明はこれに限定するものではなく、公衆電話網 3010 に変わって、インターネットなどの広域ネットワーク、あるいはイントラネットなどのローカルエリア・ネットワークに接続するようにしてもよい。

また、第 2 のグループに属する本発明のいずれの実施の形態においても、本発明の電子メール作成装置を中心に説明を行ったが、本発明の記録媒体として、以上説明した各手段の機能の全部または一部、または、各ステップの全部または一部をコンピュータに実行させるプログラムを格納する記録媒体を用いてもよい。

また、イラスト蓄積手段 303 は、ホームページのサーバにおかれてもかまわない。

産業上の利用可能性

以上説明したところから明らかなように、第 1 のグループに属する本発明はデータベースから情報を検索し、その検索結果をそのまま接続ケーブルで接続された供給装置に転送し、外部機器の動作を指示することができ

る端末装置を提供することが出来る。

また、第 1 のグループに属する本発明は、端末装置からはネットワークで結ばれた情報サーバ装置内のデータベースから情報を検索し、その検索結果をそのまま赤外線によって供給装置に転送し、供給装置の動作を指示することが出来る端末装置を提供することが出来る。

また、第 1 のグループに属する本発明は、の情報転送装置の第 3 の発明の実施の一形態によれば、検索端末装置からは公衆電話網で結ばれた情報サーバ装置内のデータベースから情報を検索し、その検索結果をそのまま電波によって供給装置に転送することが出来る情報転送システム及び端末システムを提供することが出来る。

また第 1 のグループに属する、本発明は、端末装置からは無線通信あるいは赤外線通信で結ばれた情報サーバ装置内のデータベースから情報を検索し、その検索結果をそのままりムーバブルメディアによって外部機器に転送することが出来る情報転送システム及び端末システムを提供することが出来る。

また、第 1 のグループに属する本発明は、形容詞、形容動詞などの言葉によって、検索端末装置からは公衆電話網で結ばれた情報サーバ装置内のデータベースから情報を検索し、その検索結果をそのまま電波によって供

給装置に転送し、供給装置の動作を指示することが出来る情報転送システム及び端末システムを提供することが出来る。

他方、第2のグループの本発明によれば、ユーザが簡単な操作で画像やテキストからなるイラストデータを、その内部に挿入した文書をメールとして作成することのできる、電子メール作成装置およびプログラム記録媒体を得ることができる。

請 求 の 範 囲

1. 検索条件を入力する情報入力手段と、

データベースと、

前記検索条件に基づき前記データベースを検索し、検索結果を得る検索手段と、

前記検索結果を表示する情報表示手段と、

前記検索結果の中から一つ以上の検索結果を選択する選択手段と、

前記選択手段で選択された指定内容を、供給装置に送り、供給装置の動作を指定する出力手段とを備えたことを特徴とする情報転送システム。

2. 前記情報入力手段と、前記前記情報表示手段と、前記選択手段と、前記出力手段とは、端末装置に一体的に備えられ、

前記データベースと、前記検索手段とは、管理装置に一体的に備えられていることを特徴とする請求項 1 記載の情報転送システム。

3. 前記端末装置は、着脱自在の記録媒体を装着する装着手段とを有し、

前記端末装置は、前記指定内容を前記記録媒体に格納し、

前記記録媒体が、前記供給装置に装着されると、前記記録媒体に記録されている前記指定内容が前記供給装置に読み取られ、前記指定した供給物が前記供給装置から供給されることを特徴とする請求項 2 記載の情報転送システム。

4. 前記端末装置が、前記供給装置に接近すると、前記出力手段は、前記供給装置に前記指定内容を送信し、前記供給装置は前記指定内容の供

給物を供給することを特徴とする請求項 2 記載の情報転送システム。

5. 前記端末装置は、前記供給装置に着脱自在であり、

前記端末装置が、前記供給装置に装着されると、前記端末装置に記録されている前記指定内容が前記供給装置に読み取られ、前記指定した供給物が前記供給装置から供給されることを特徴とする請求項 2 記載の情報転送システム。

6. 前記端末手段は、移動体であることを特徴とする請求項 3～5 のいずれかに記載の情報転送システム。

7. 前記検索手段は、形容詞及び／または形容動詞である感性語と感性を感じる程度を示す感性情報に基づき検索を行い、前記データベースには感性情報に基づく検索を行うための属性値が格納されていることを特徴とする請求項 1～6 のいずれかに記載の情報転送システム。

8. 検索条件を入力する情報入力手段と、

前記検索条件に基づきデータベースを検索し、検索結果を得る検索手段からの検索結果を表示する情報表示手段と、

前記検索結果の中から一つ以上の検索結果を選択する選択手段と、

前記選択手段で選択された指定内容を、供給装置に送り、前記供給装置の動作を指定する出力手段を備えたことを特徴とする端末装置。

9. 前記検索は、形容詞及び／または形容動詞である感性語と感性を感じる程度を示す感性情報に基づく検索であり、前記データベースには感性情報に基づく検索を行うための属性値が格納されていることを特徴とする請求項 8 記載の端末装置。

10. 前記供給装置は、有体物を供給する動作を行うことを特徴とする請求項1～9のいずれかに記載の端末装置。

11. 請求項1～10のいずれかに記載の端末装置または情報転送システムの各構成要素の全部または一部の機能をコンピュータに実行させるためのプログラムを格納し、コンピュータで読みとり可能なことを特徴とするプログラム記録媒体。

12. 文書データの作成および編集を行う文書データ作成編集手段と、
付加データを蓄積した付加データ蓄積手段と、
前記付加データ蓄積手段から、特定の付加データを選択する付加データ選択手段と、
前記文書データと前記特定の付加データとを合成して、合成データを生成する合成手段とを備え、
前記合成データは電子メールとして送受信されることを特徴とする電子メール作成装置。

13. 前記付加データは所定の属性を備えたものであることを特徴とする請求項12に記載の電子メール作成装置。

14. 指示された前記所定の属性に応じて前記蓄積手段から候補となる付加データを表示する付加データ表示手段をさらに備え、前記選択手段は、前記候補となる付加データから、特定の付加データを選択することを特徴とする請求項13に記載の電子メール作成装置。

15. 前記合成手段は、前記文書データ作成編集手段が文書データの

編集のために用いる編集記号に基づき、前記文書データと前記特定の付加データとを合成することを特徴とする請求項 1 2 ないし 1 4 のいずれかに記載の電子メール作成装置。

1 6. 前記文書データ作成編集手段は、前記編集記号としてカーソルを用い、

前記合成手段は、前記文書データ上の、前記カーソルによって指定された位置に前記特定の付加データを挿入することにより合成を行うことを特徴とする請求項 1 5 に記載の電子メール作成装置。

1 7. 前記合成手段は、前記文書データ作成編集手段が合成のために用いる合成記号に基づき、前記文書データと前記付加データとを合成することを特徴とする請求項 1 2 ないし 1 4 のいずれかに記載の電子メール作成装置。

1 8. 前記合成手段は、前記文書データ上の、前記合成記号によって指定された位置に前記特定の付加データを挿入することにより合成を行うことを特徴とする請求項 1 7 に記載の電子メール作成装置。

1 9. 前記画面上における所定の属性の指示は、前記合成記号によって指定された位置にて行われることを特徴とする請求項 1 4、1 7 または 1 8 のいずれかに記載の電子メール作成装置。

2 0. 前記付加データは、テキストデータで構成されたイラストであることを特徴とする請求項 1 2 ないし 1 9 のいずれかに記載の電子メール作成装置。

2 1. 前記付加データは、画像データまたは動画データであることを

特徴とする請求項 1 2 ないし 2 0 のいずれかに記載の電子メール作成装置。

2 2. 前記合成データは、テキストデータおよびその添付データの形式で送受信されることを特徴とする請求項 1 2 ないし 2 1 のいずれかに記載の電子メール作成装置。

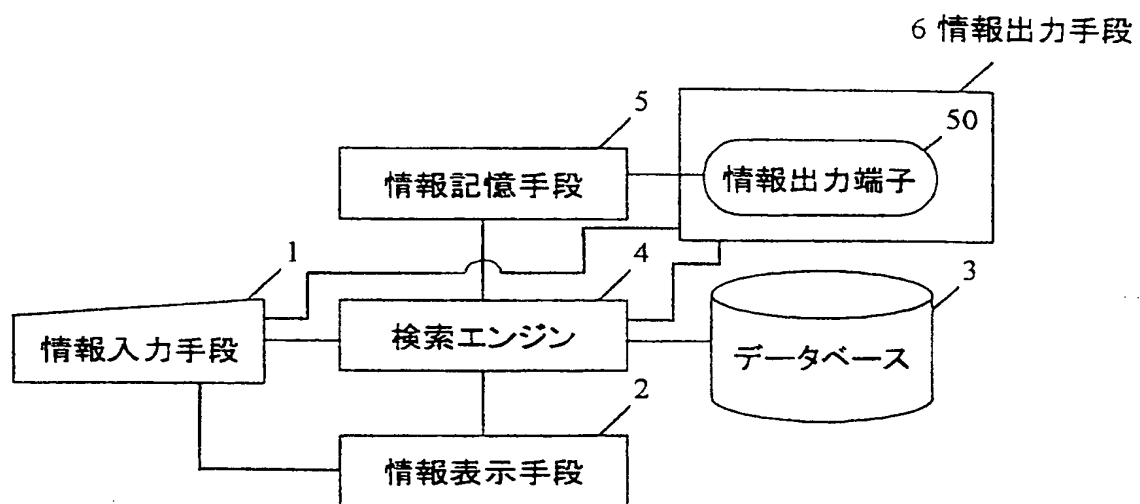
2 3. アプリケーション・プログラム・インタフェース (A P I) の対象として動作することを特徴とする請求項 1 1 ないし 2 2 のいずれかに記載の電子メール作成装置。

2 4. 前記合成データは、前記 A P I 上にて動作する外部のメール送受信装置によって送受信が行われることを特徴とする請求項 2 3 に記載の電子メール作成装置。

2 5. 請求項 1 2 ないし 2 4 のいずれかに記載の電子メール作成装置の各手段の全部または一部の機能をコンピュータで実行させるためのプログラムを記録し、コンピュータで読みとり可能なことを特徴とするプログラム記録媒体。

1 / 5 9

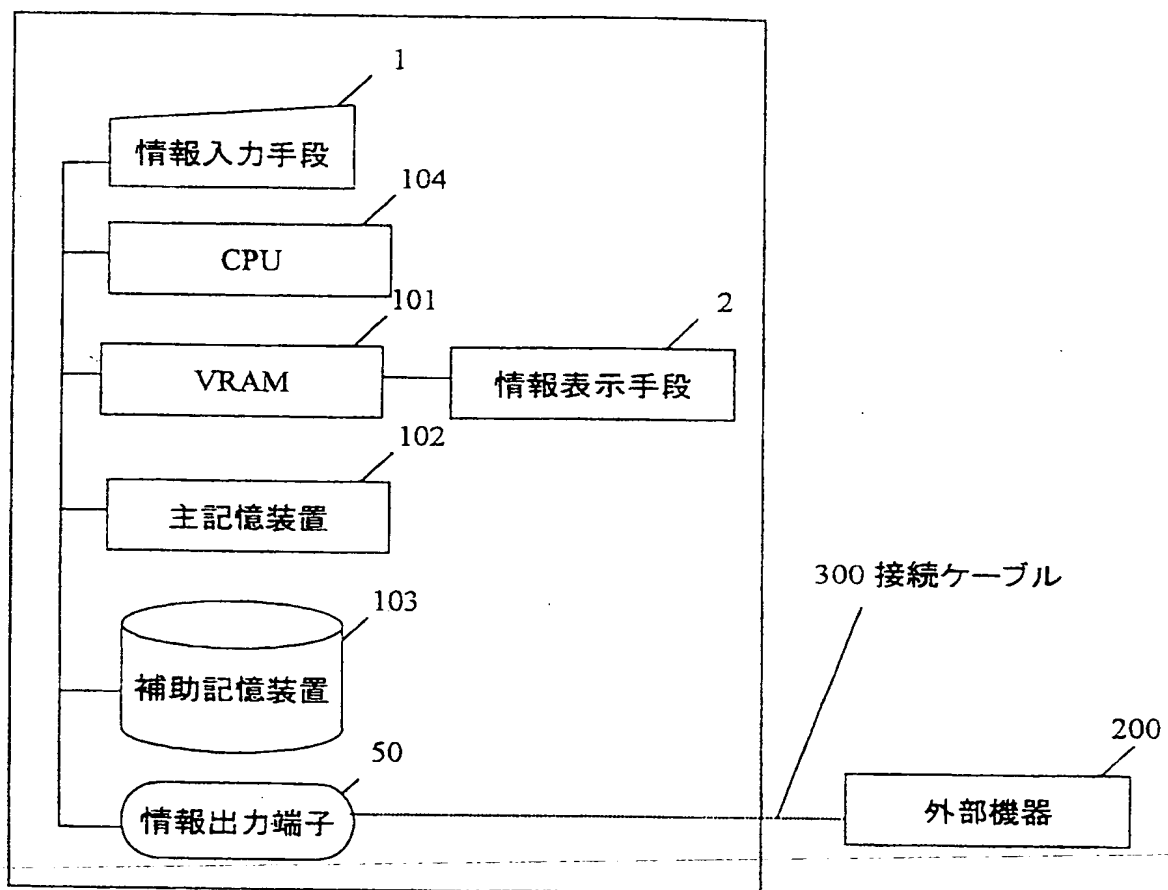
第 1 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

2 / 5 9

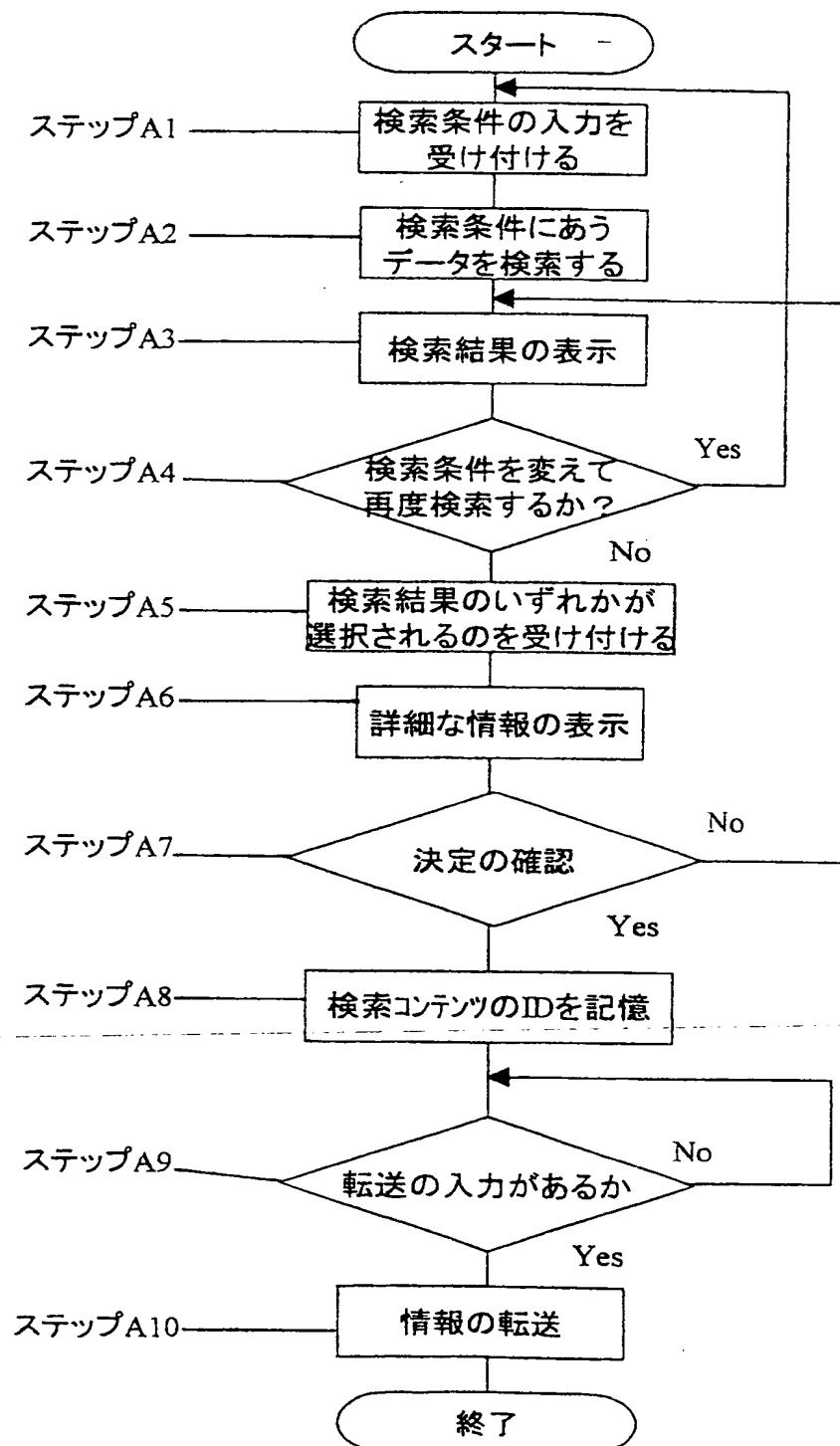
第 2 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

3 / 5 9

第 3 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

第 4 図

曲名検索			
曲名	<input type="text"/>	歌詞	<input type="text"/>
年代	<input type="text"/>	ジャンル	<input type="text"/>
歌手名	<input type="text"/>		

THIS PAGE BLANK (USPTO)

5 / 5 9

第 5 図

曲名検索

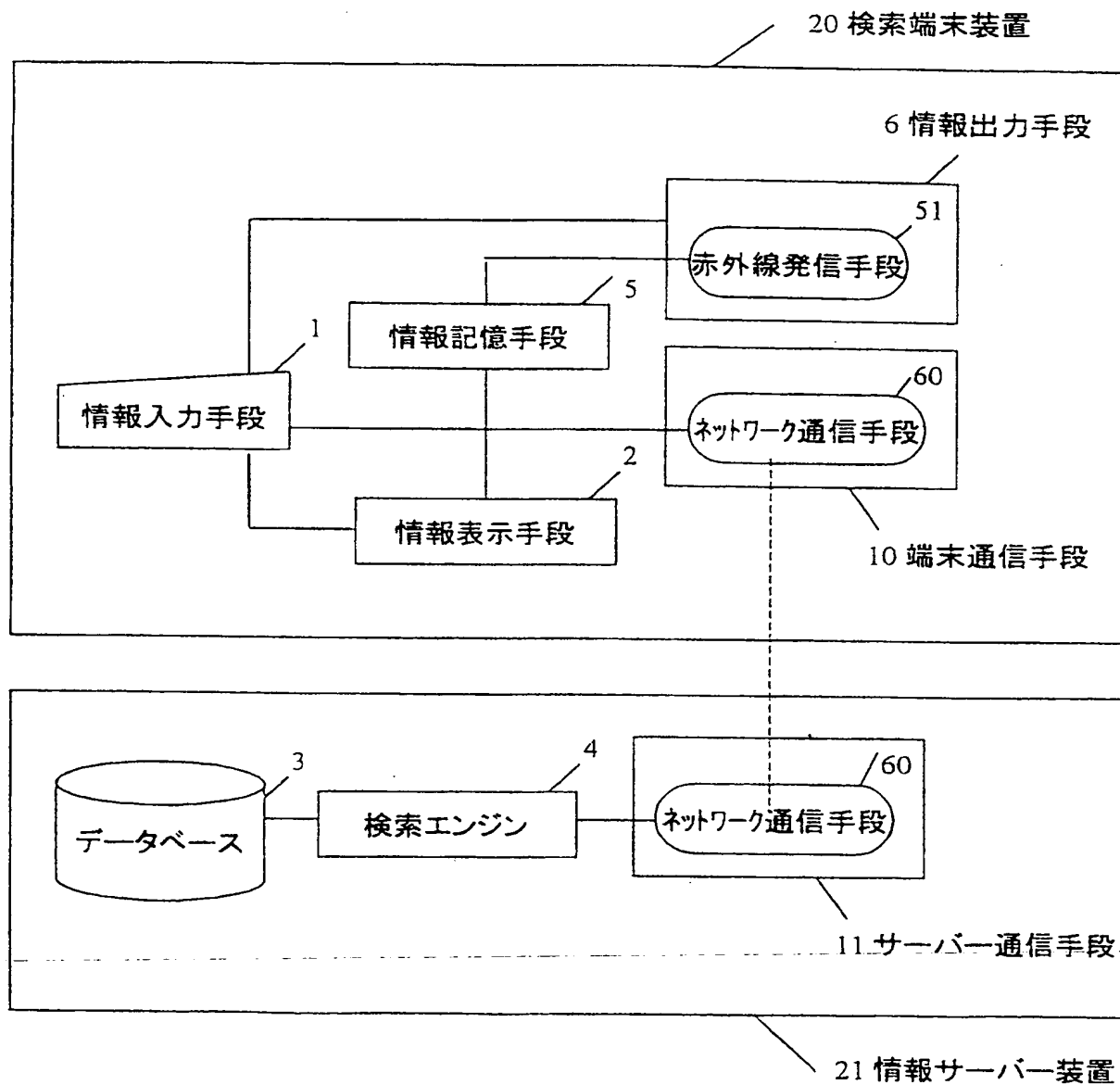
次の曲が検索されました

歌手名	曲名
あむらなみえ	Can you do it?
スマスマ	夕焼けのムコウ
kansai kids	全部抱きしめろ
ポケットクッキーズ	Bad Timing

THIS PAGE BLANK (USPTO)

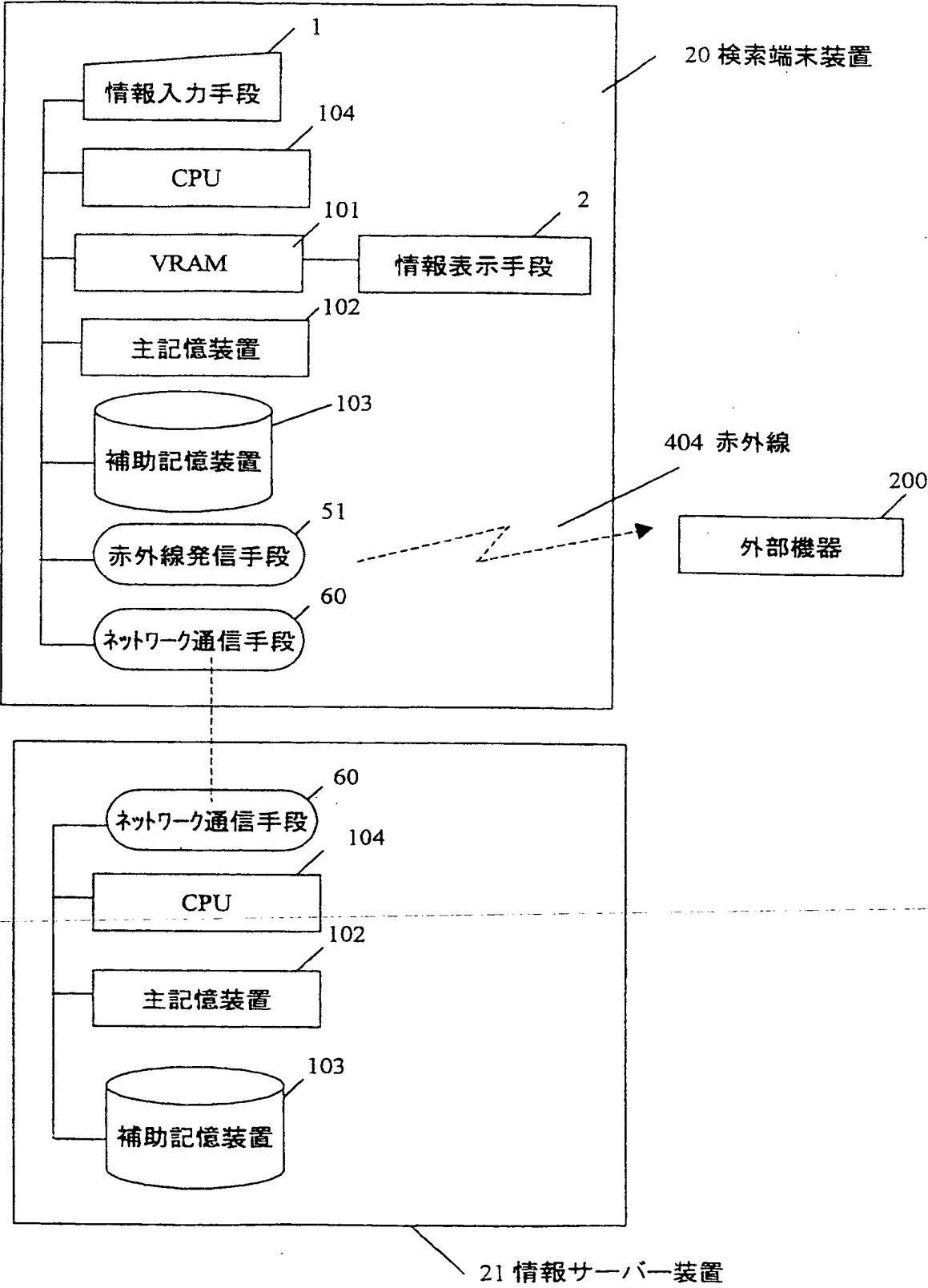
6 / 5 9

第 6 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

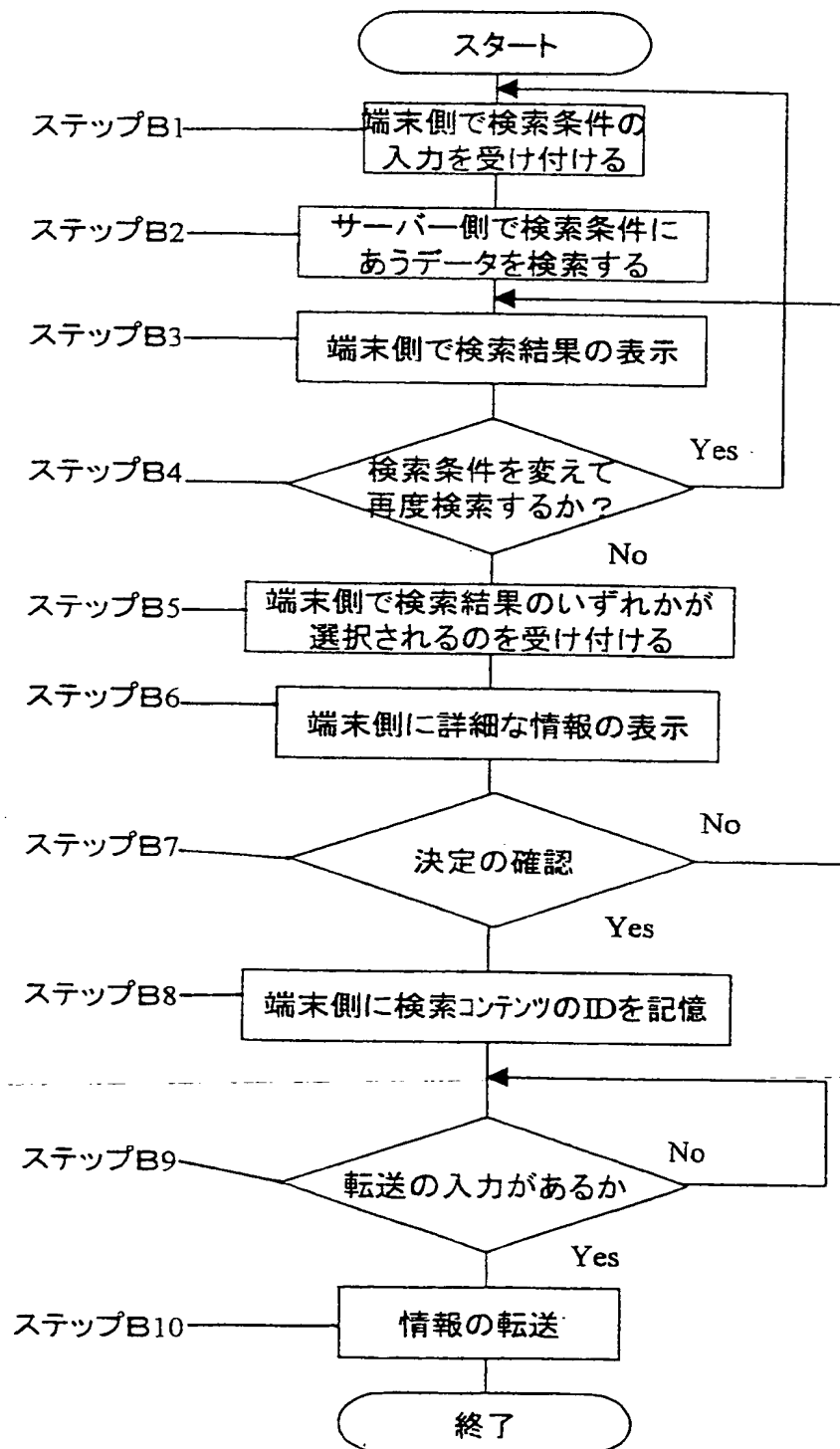
第 7 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

8 / 5 9

第 8 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

9 / 5 9

第 9 図

番組検索			
番組名	<input type="text"/>	時間帯	<input type="text"/>
チャンネル	<input type="text"/>	ジャンル	<input type="text"/>
出演者	<input type="text"/>		

THIS PAGE BLANK (USPTO)

1 0 / 5 9

第 1 0 図

番組検索

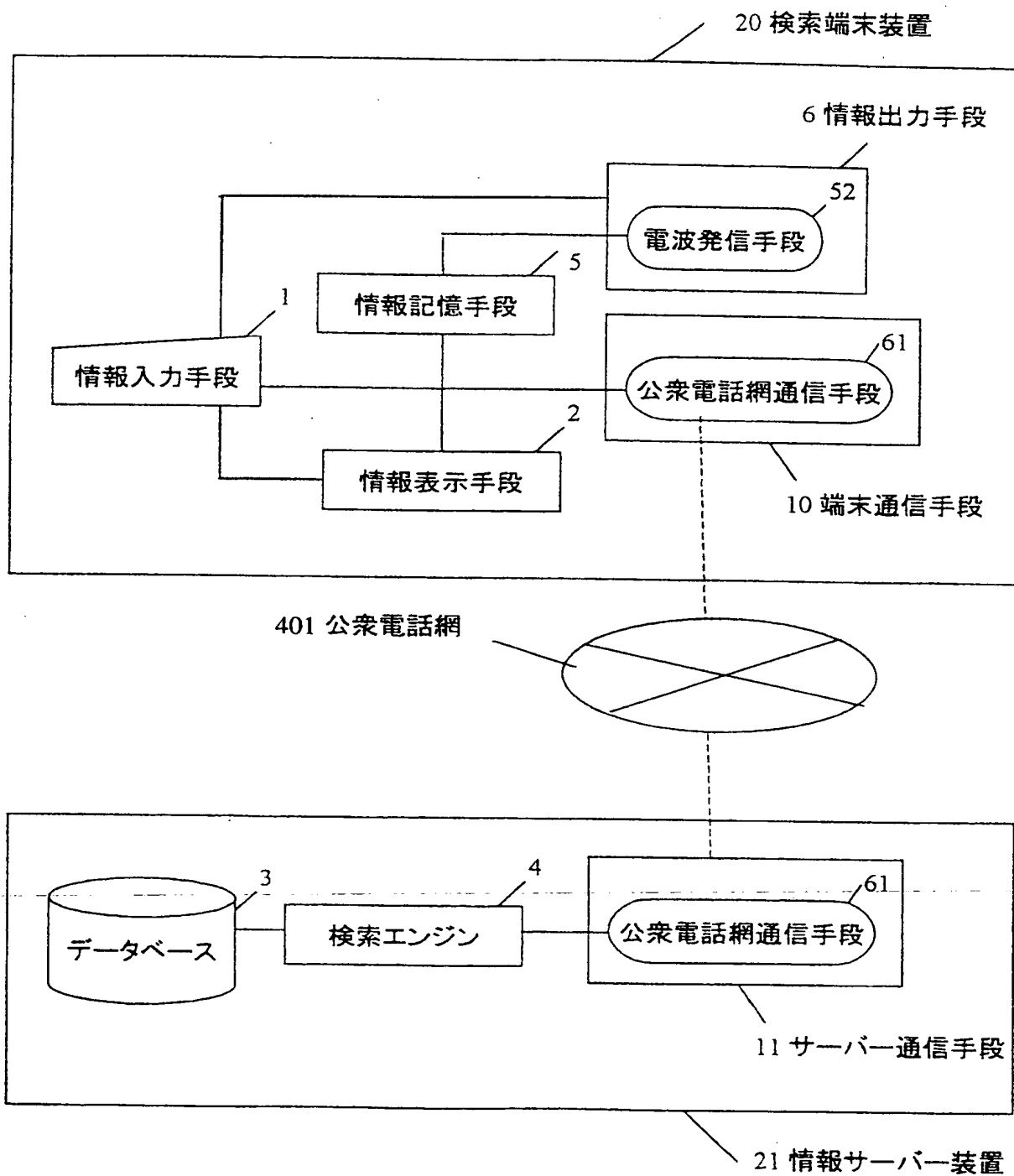
次の番組が検索されました

番組名	チャンネル	時間
太陽がほえる	122	1月20日 19:00-19:55
東山の金さん	65	1月21日 15:00-17:00
銭亀平次	79	1月18日 10:00-10:55

THIS PAGE BLANK (USPTO)

11/59

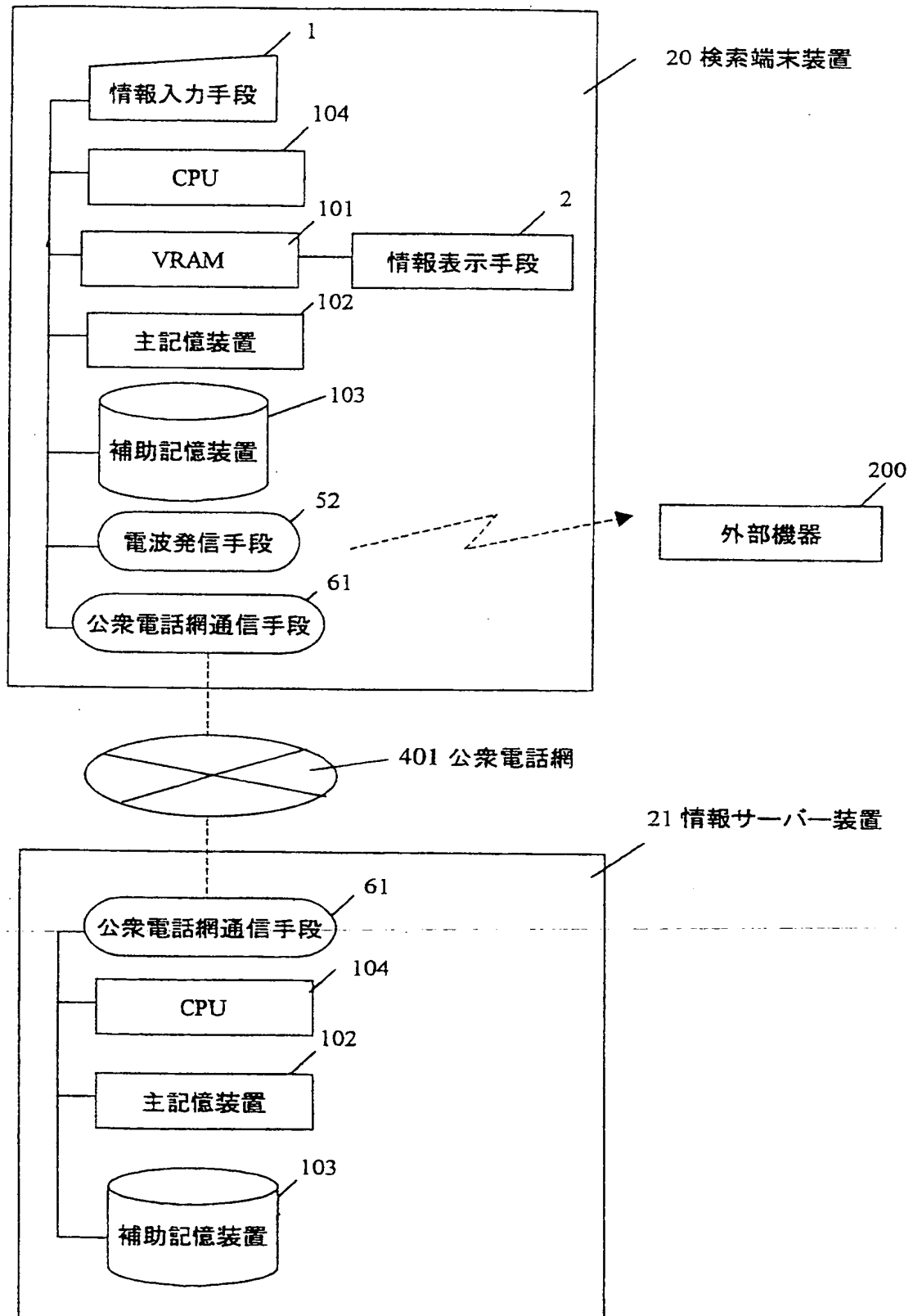
第 1 1 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

1 2 / 5 9

第 1 2 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

1 3 / 5 9

第 1 3 図

ホテル検索

所在地	<input type="text"/>	駅からの距離	<input type="text"/>
タイプ	<input type="text"/>	駐車場	<input type="text"/>
価格帯	<input type="text"/>	利用日	<input type="text"/>

THIS PAGE BLANK (USPTO)

1 4 / 5 9

第 1 4 図

ホテル検索

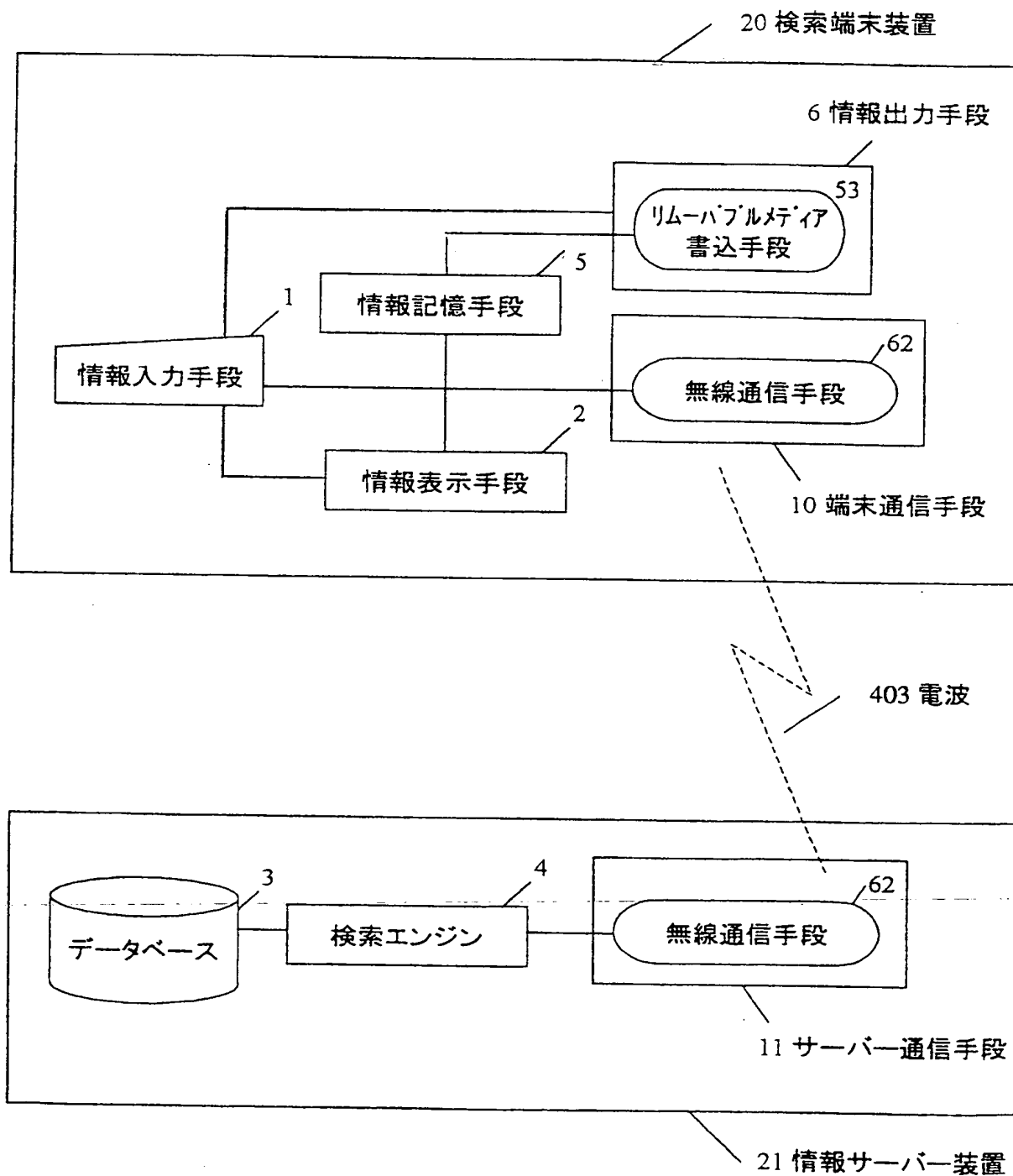
次のホテルが利用可能です

ホテル名	一泊	駅からの距離
ホテル・スペシャル	S7800	大阪駅 徒歩5分
ワールドホテル	S8900	淀屋橋駅 徒歩3分
ホテル山下	S8500	福島駅 徒歩4分

THIS PAGE BLANK (USPTO)

1 5 / 5 9

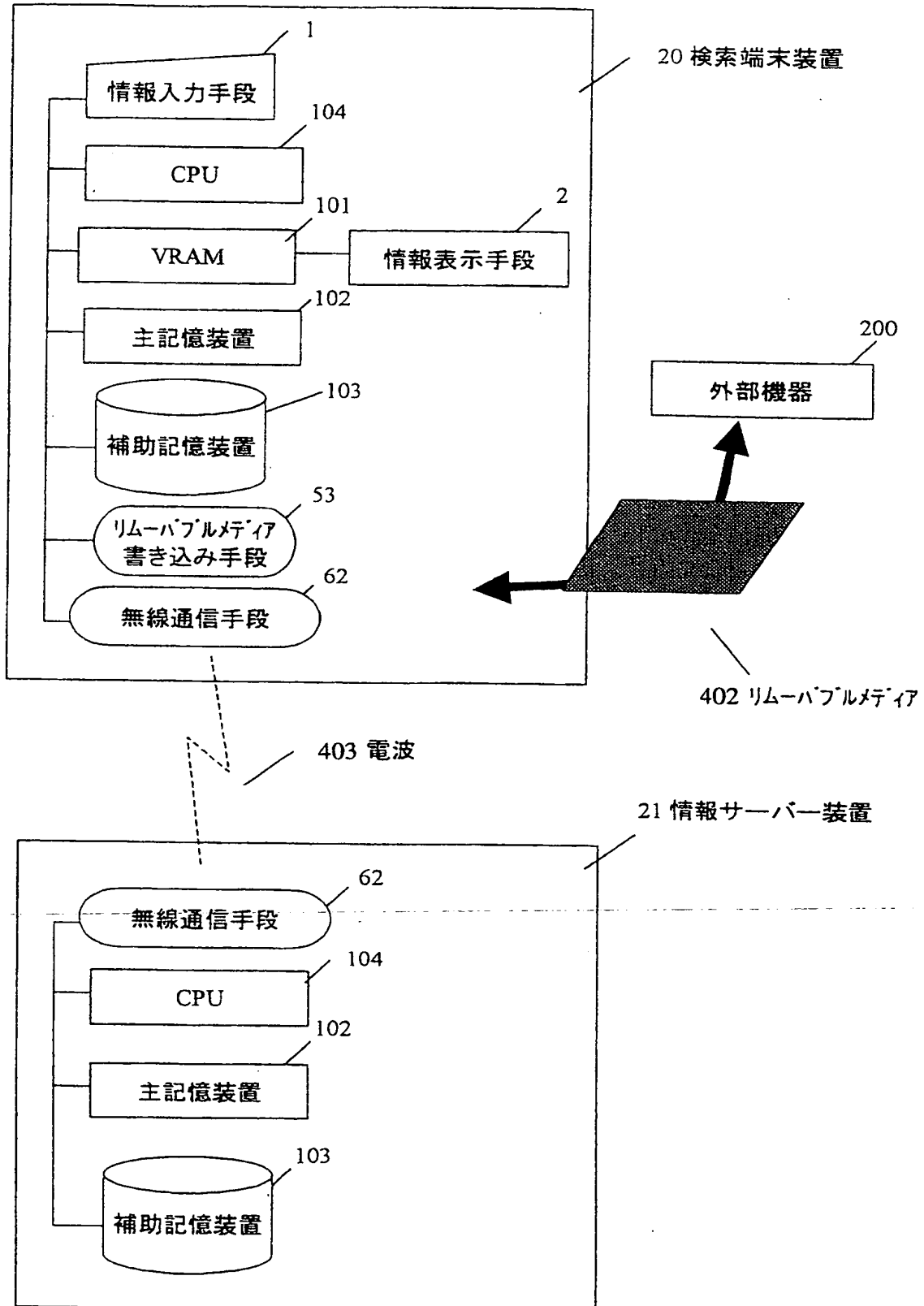
第 1 5 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

1 6 / 5 9

第 1 6 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

1 7 / 5 9

第 1 7 図

列車検索			
利用日	<input type="text"/>	利用列車	<input type="text"/>
区間	<input type="text"/>	席種	<input type="text"/>
発車時刻	<input type="text"/>		

THIS PAGE BLANK (USPTO)

1 8 / 5 9

第 1 8 図

列車検索

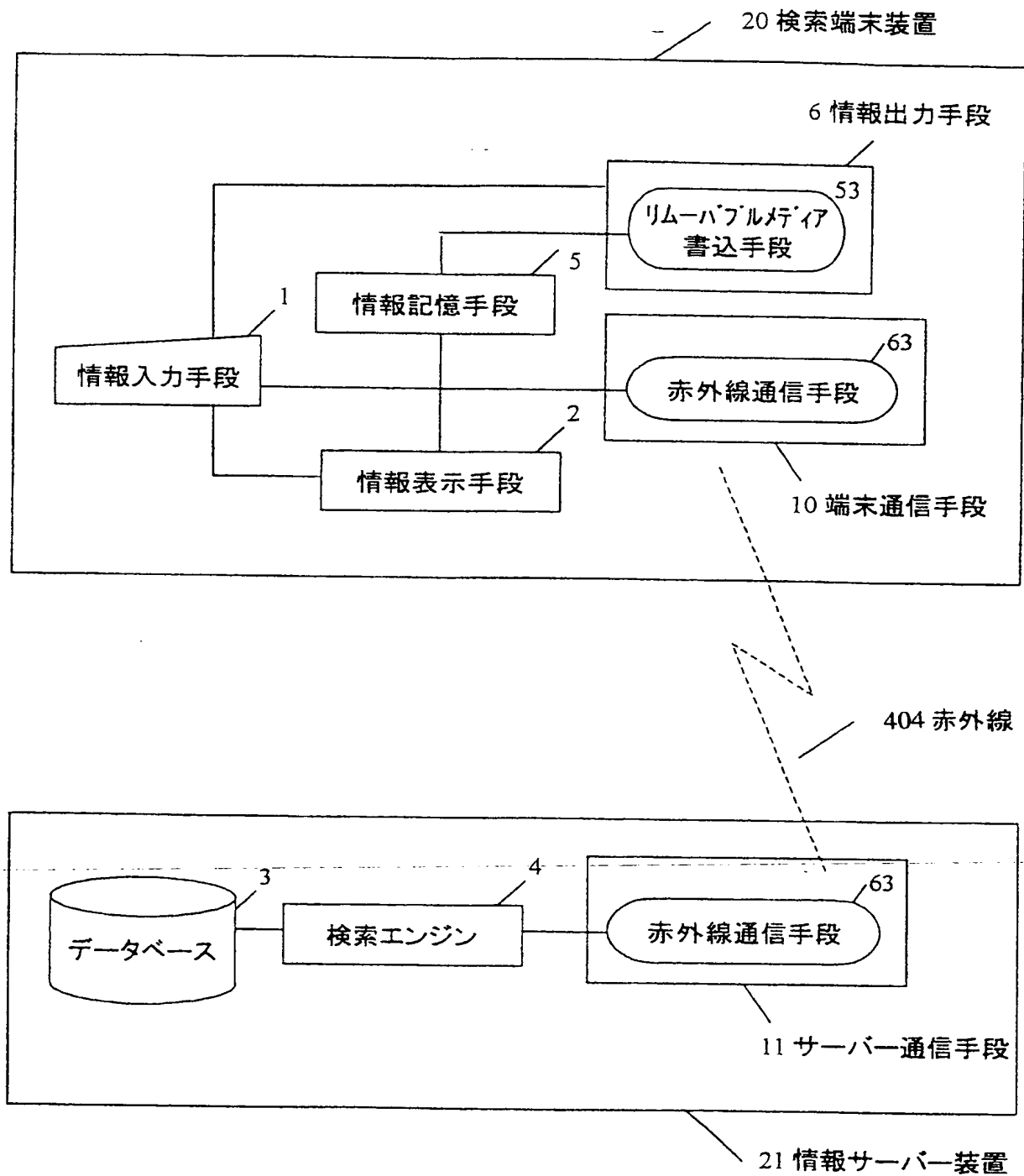
次の列車が利用可能です

列車名	料金	発車時刻
雷鳥1号	8700	8:00
サンダーボード1号	8900	8:15
白鳥3号	8700	8:25

THIS PAGE BLANK (USPTO)

1 9 / 5 9

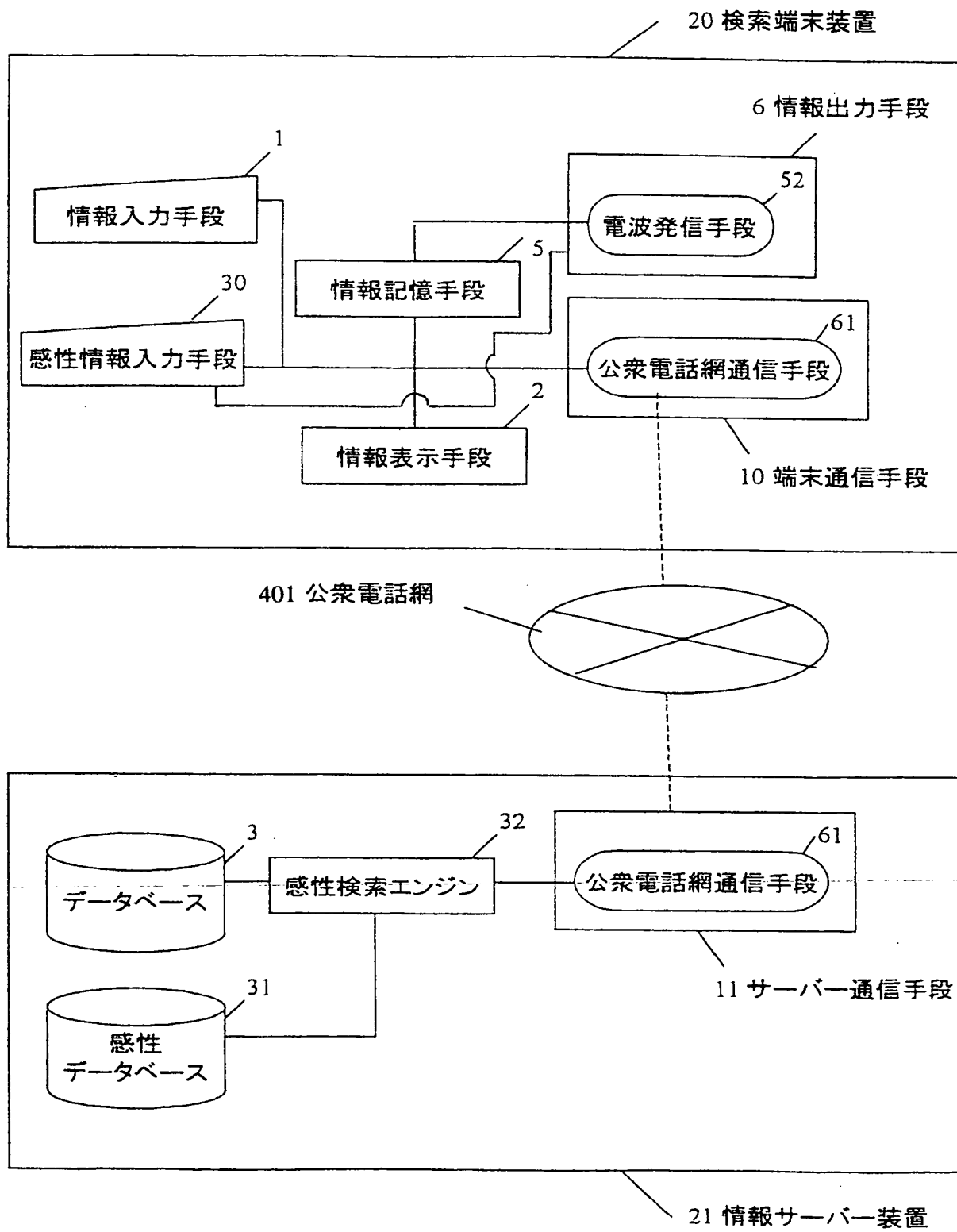
第 1 9 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

20 / 59

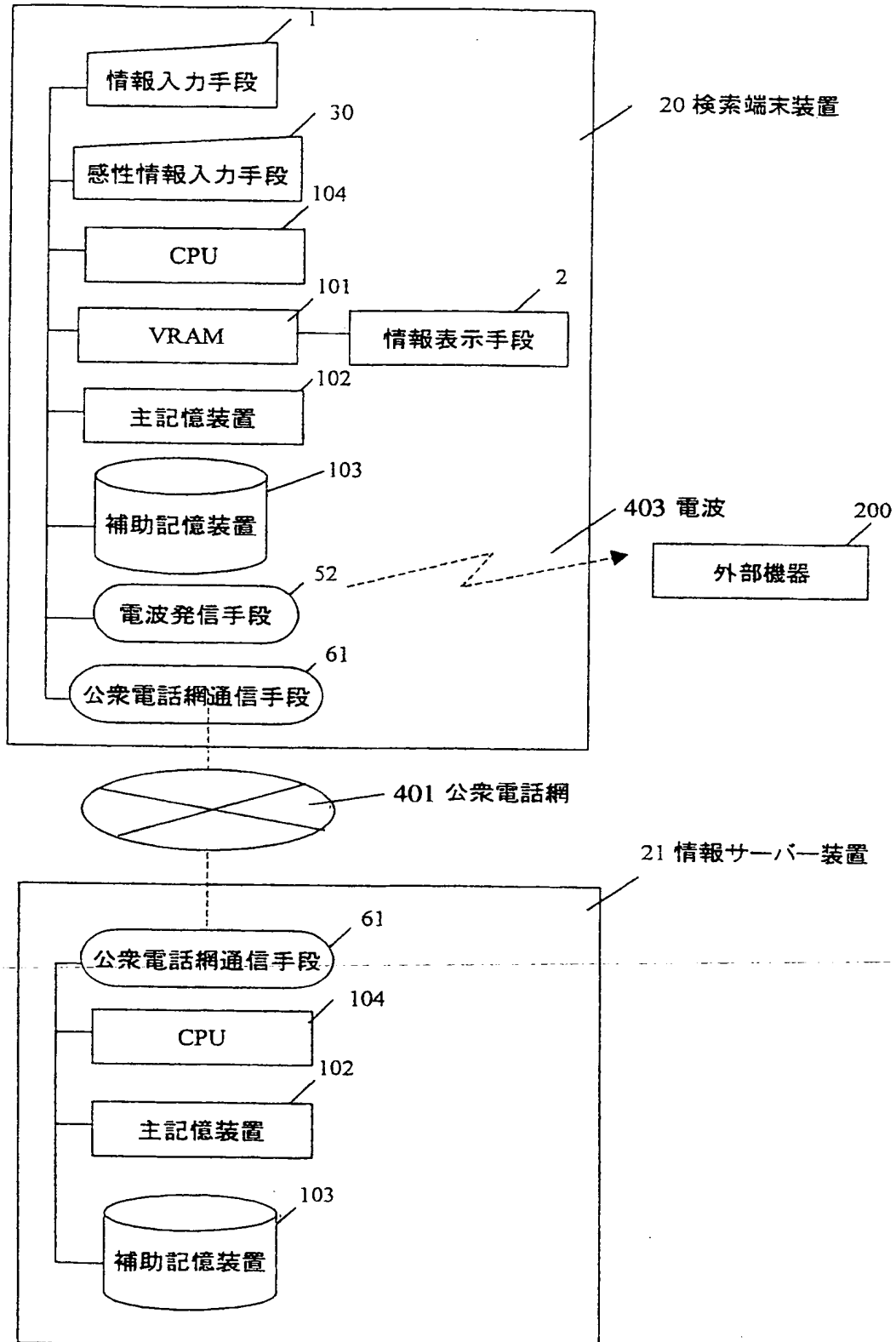
第 20 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

2 1 / 5 9

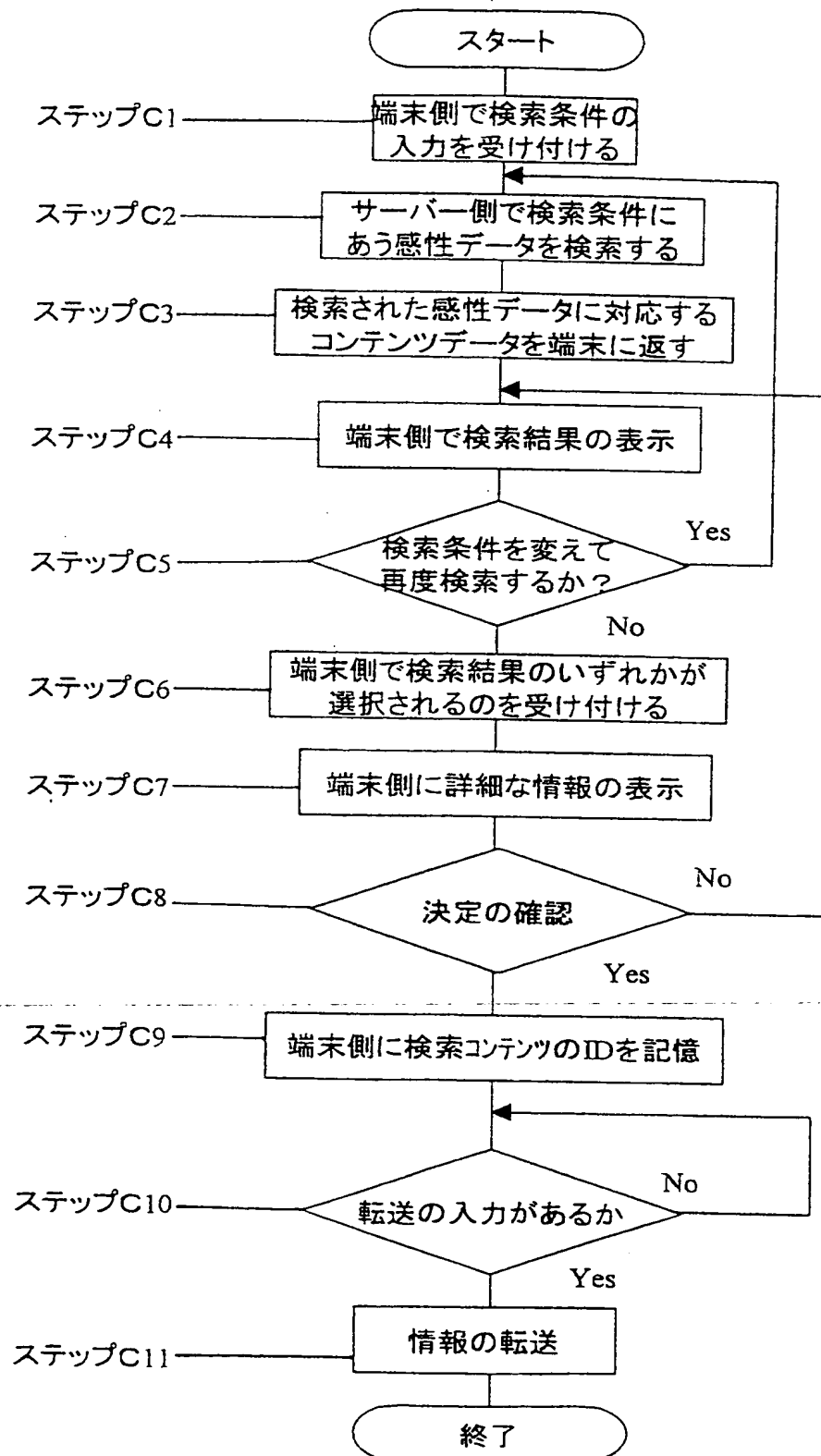
第 2 1 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

22/59

第22図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

2 3 / 5 9

第 2 3 図

映画検索

どんな映画をお探しですか？

悲しい

怖い

わくわくする

ドキドキする

楽しい

あかるい

THIS PAGE BLANK (USPTO)

2 4 / 5 9

第 2 4 図

映画検索

どんな映画をお探しですか？

(すこし) (まあまあ) (とても)

わくわくする 1 2 3 4 5

あかるい 1 2 3 4 5

THIS PAGE BLANK (USPTO)

2 5 / 5 9

第 2 5 図

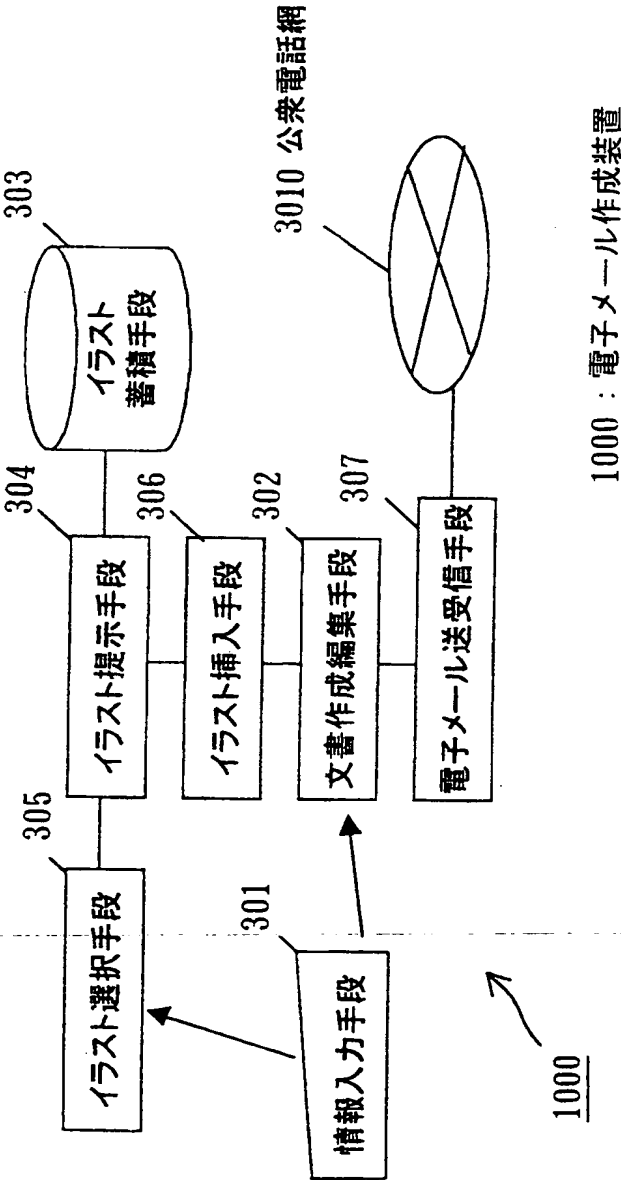
映画検索

次の映画が上映中です

タイトル	主演	上映館	次回
タイタニック	デカプリオ	北野劇場	15:00
アルマゲドン	ブルースウィリス	スカラ座	15:15
ロッキー	スタローン	ヘップ1	14:50

THIS PAGE BLANK (USPTO)

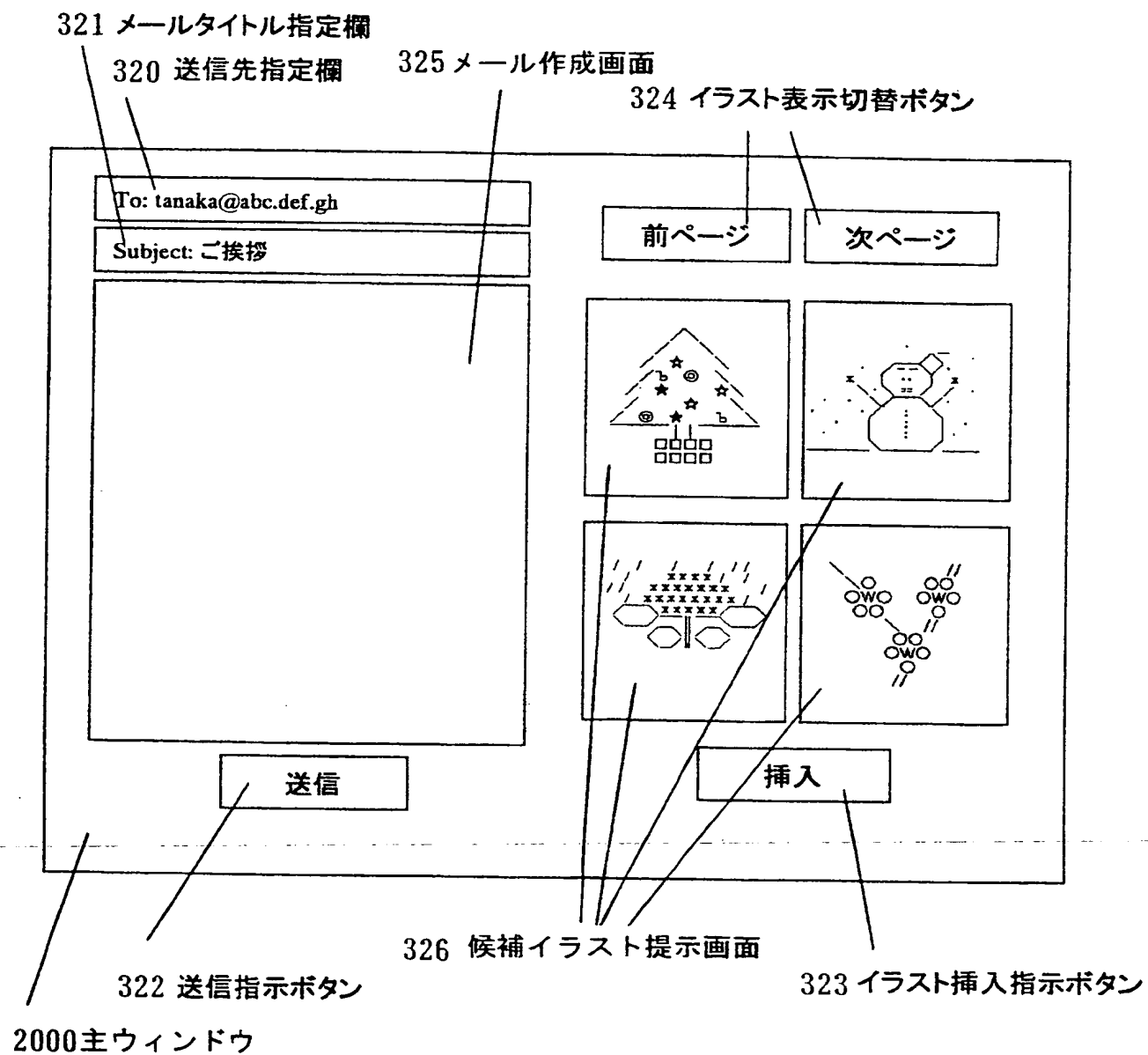
第 2 6 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

27/59

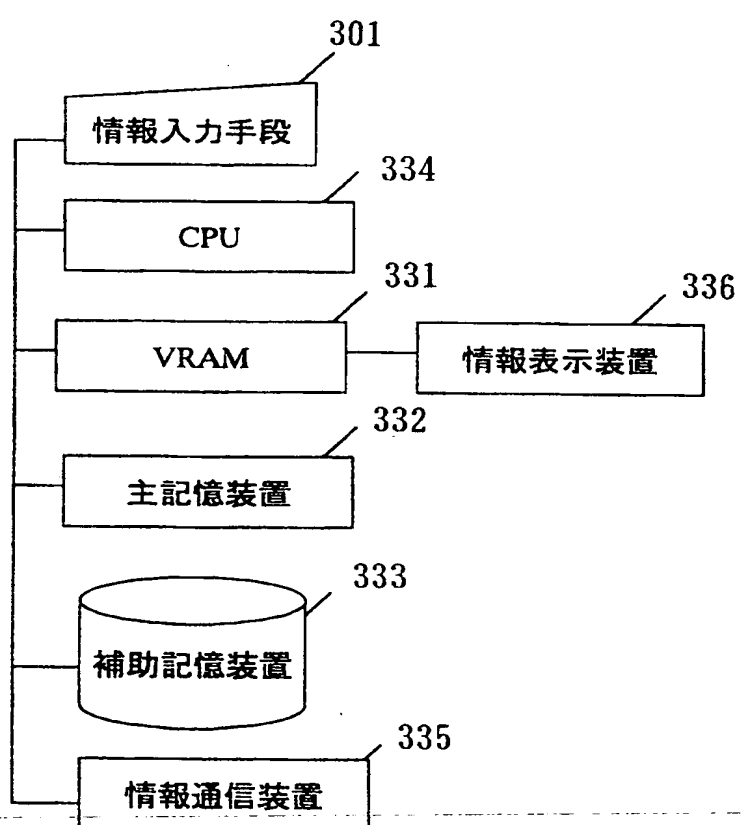
第 27 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

28/59

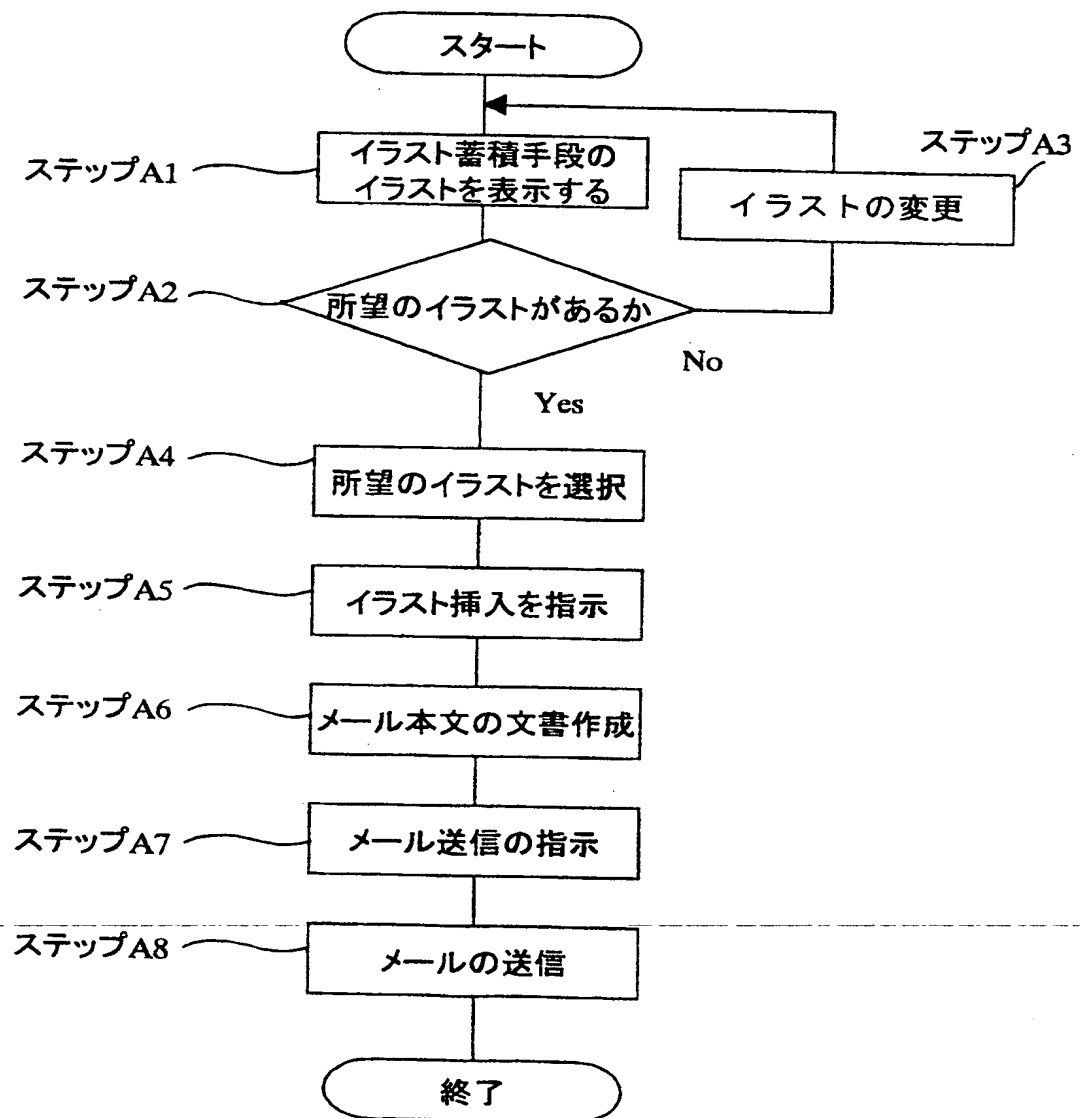
第 28 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

29/59

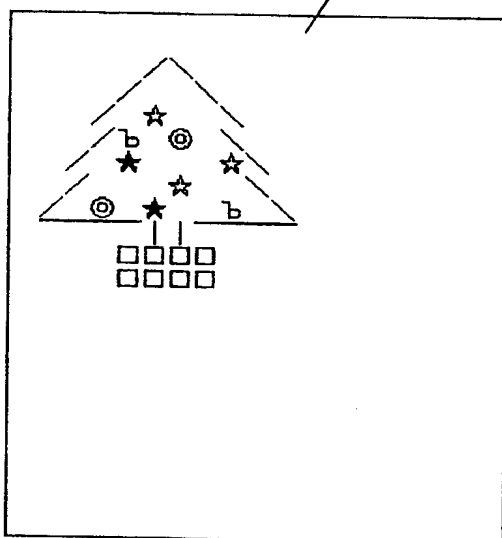
第29図



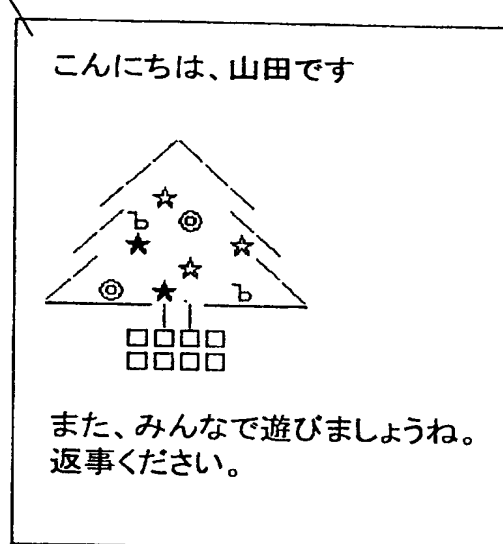
THIS PAGE BLANK (USPTO)

3 0 / 5 9

325 メール作成画面



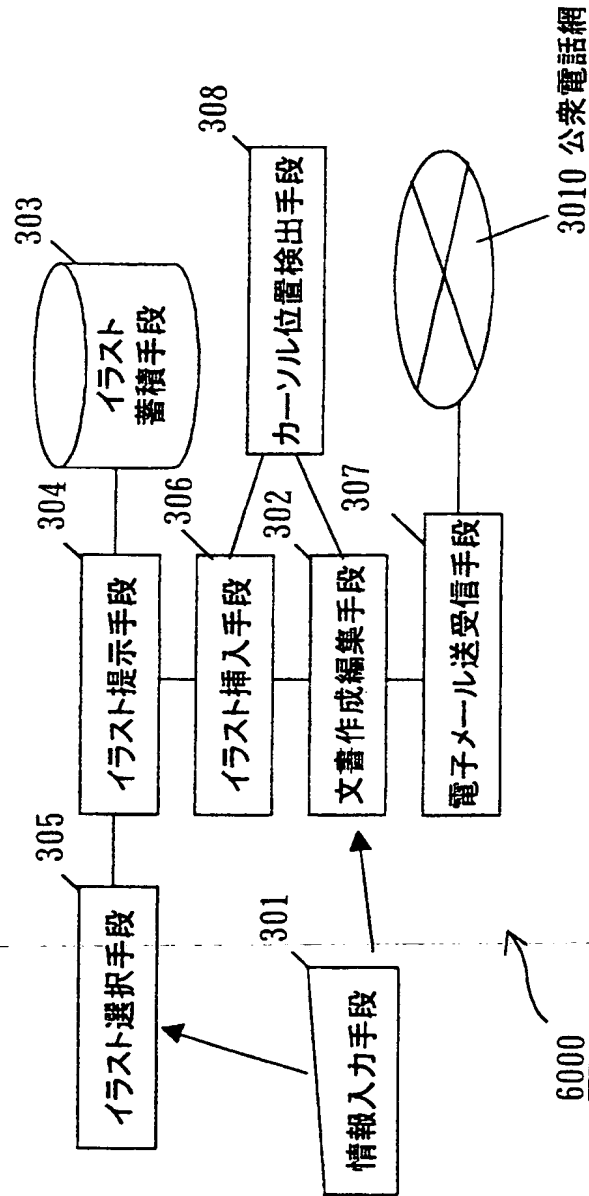
第 3 0 (a) 図



第 3 0 (b) 図

THIS PAGE BLANK (USPTO)

第 3 1 図



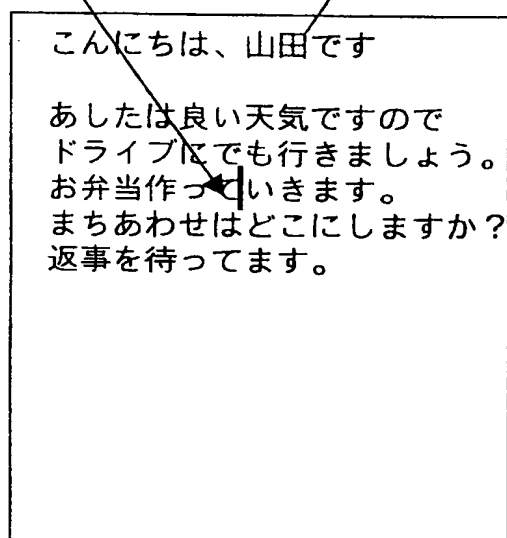
6000 : 電子メール作成装置

THIS PAGE BLANK (USPTO)

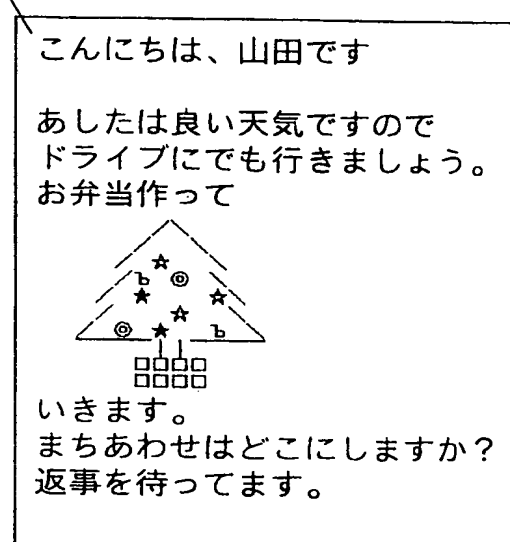
3 2 / 5 9

371 カーソル

325 メール作成画面



第 3 2 (a) 図

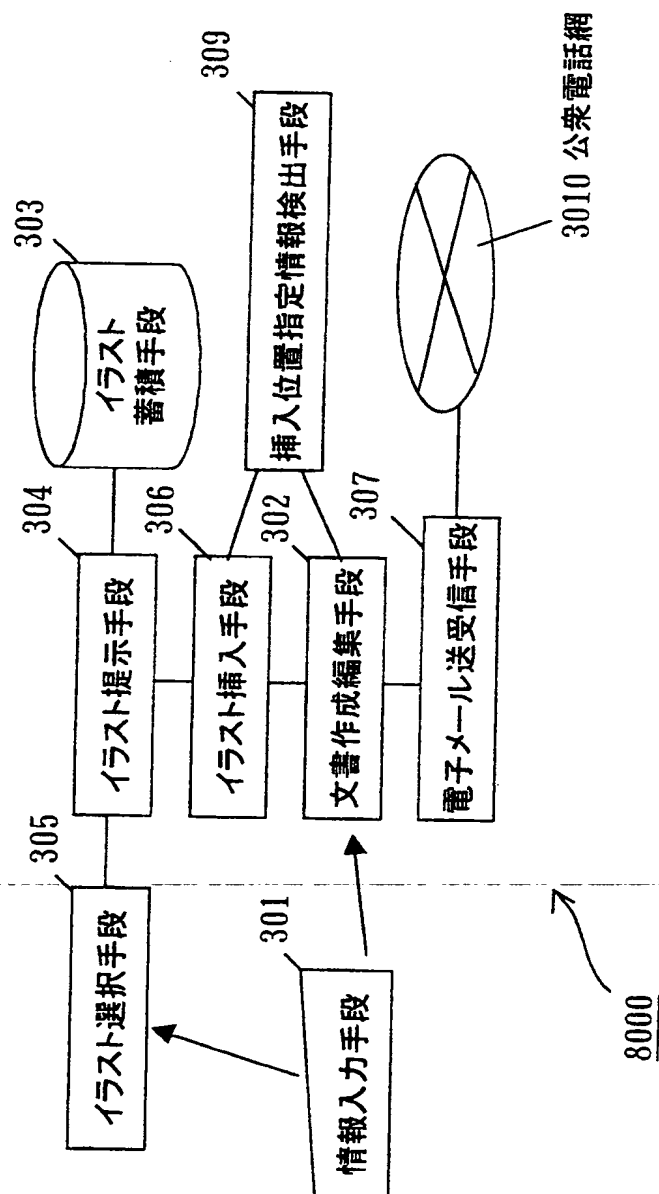


第 3 2 (b) 図

THIS PAGE BLANK (USPTO)

3 3 / 5 9

第 3 3 図



8000 : 電子メール作成装置

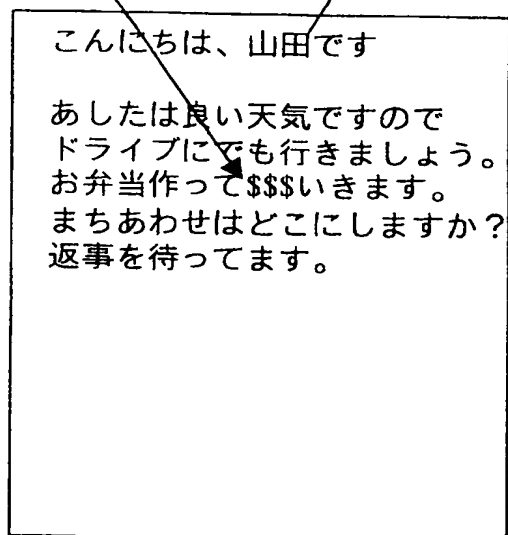
THIS PAGE BLANK (USPTO)

3 4 / 5 9

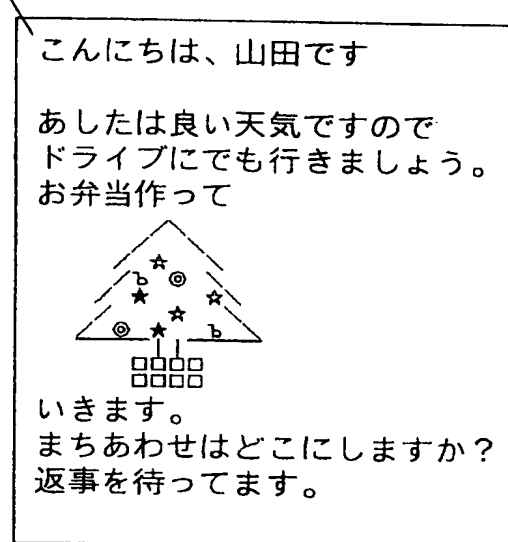
挿入位置指定文字列

391

325 メール作成画面



第 3 4 (a) 図

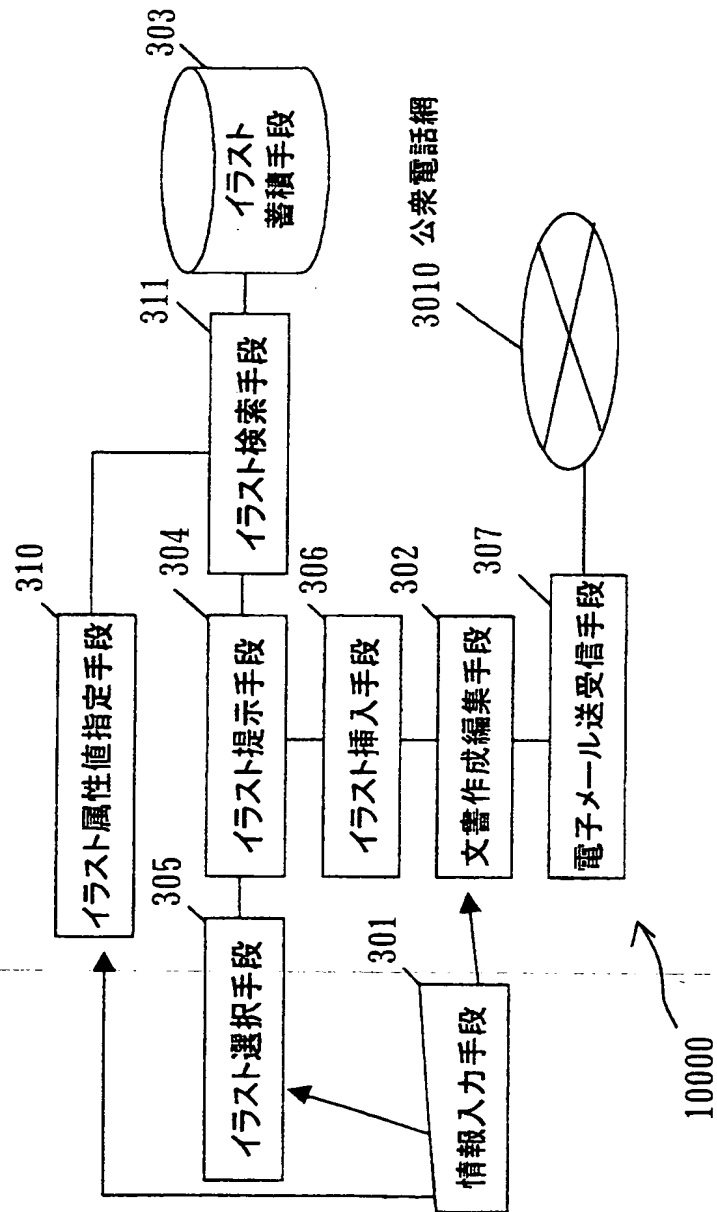


第 3 4 (b) 図

THIS PAGE BLANK (USPTO)

3 5 / 5 9

第 3 5 図

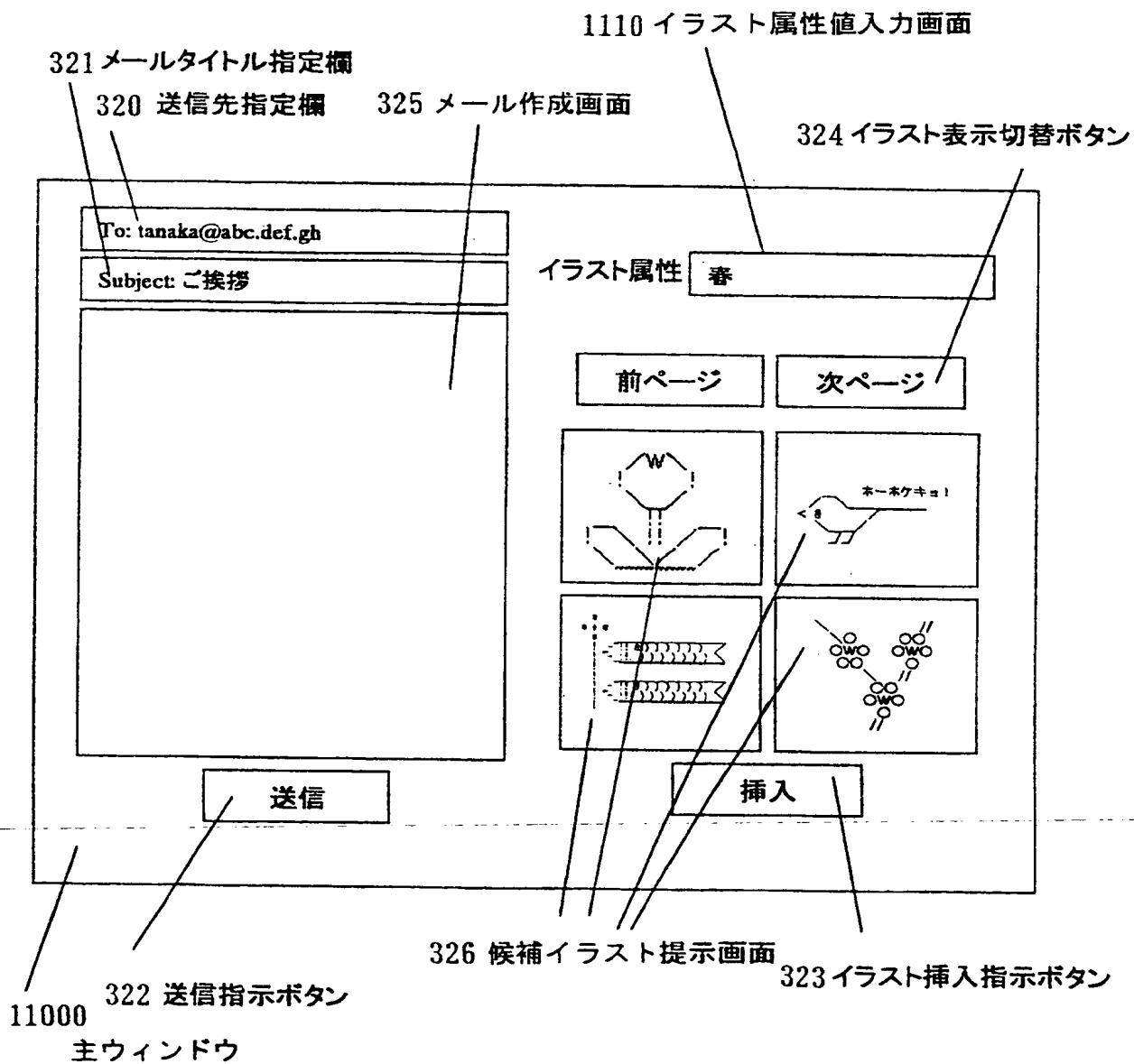


10000 : 電子メール作成装置

THIS PAGE BLANK (USPTO)

3 6 / 5 9

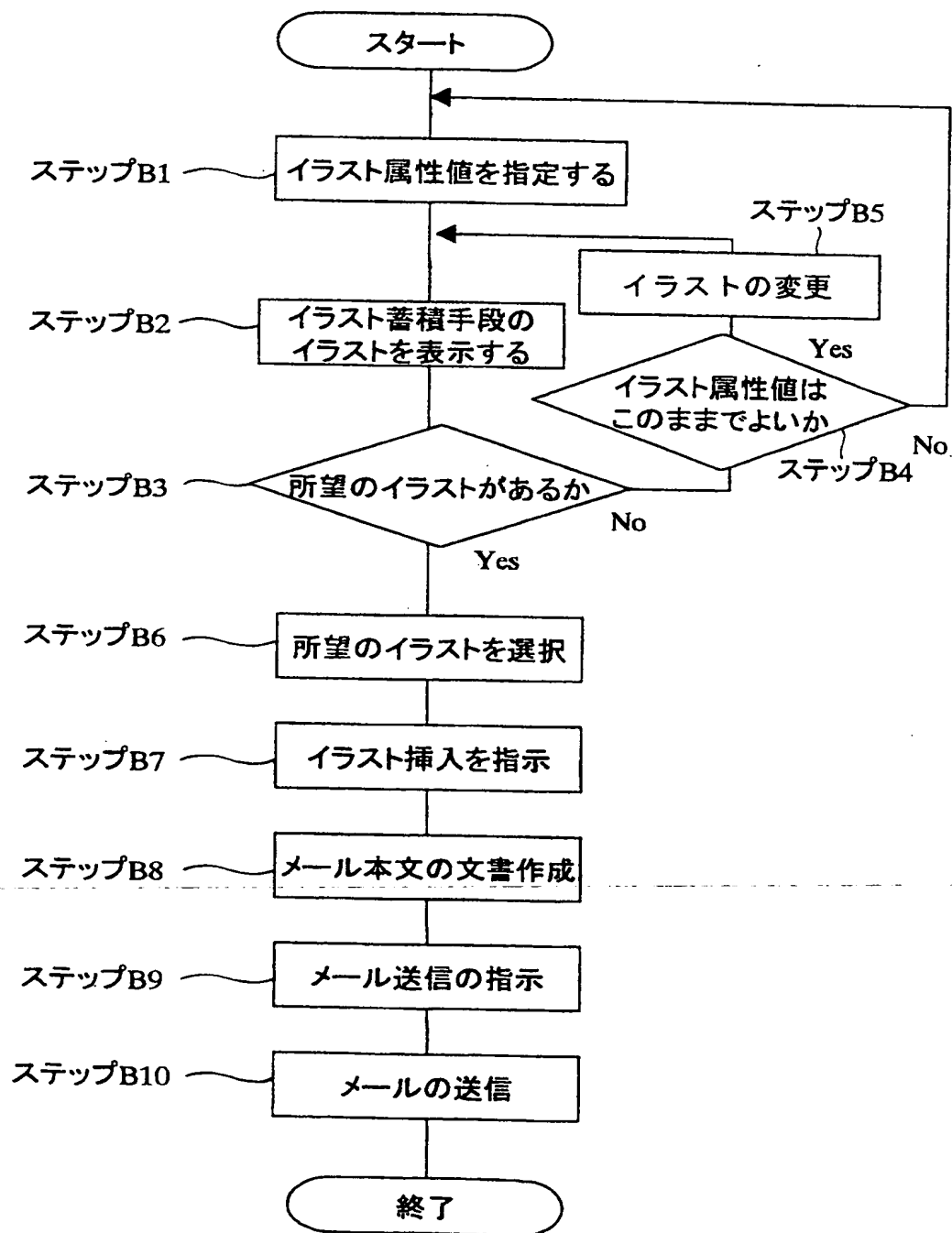
第 3 6 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

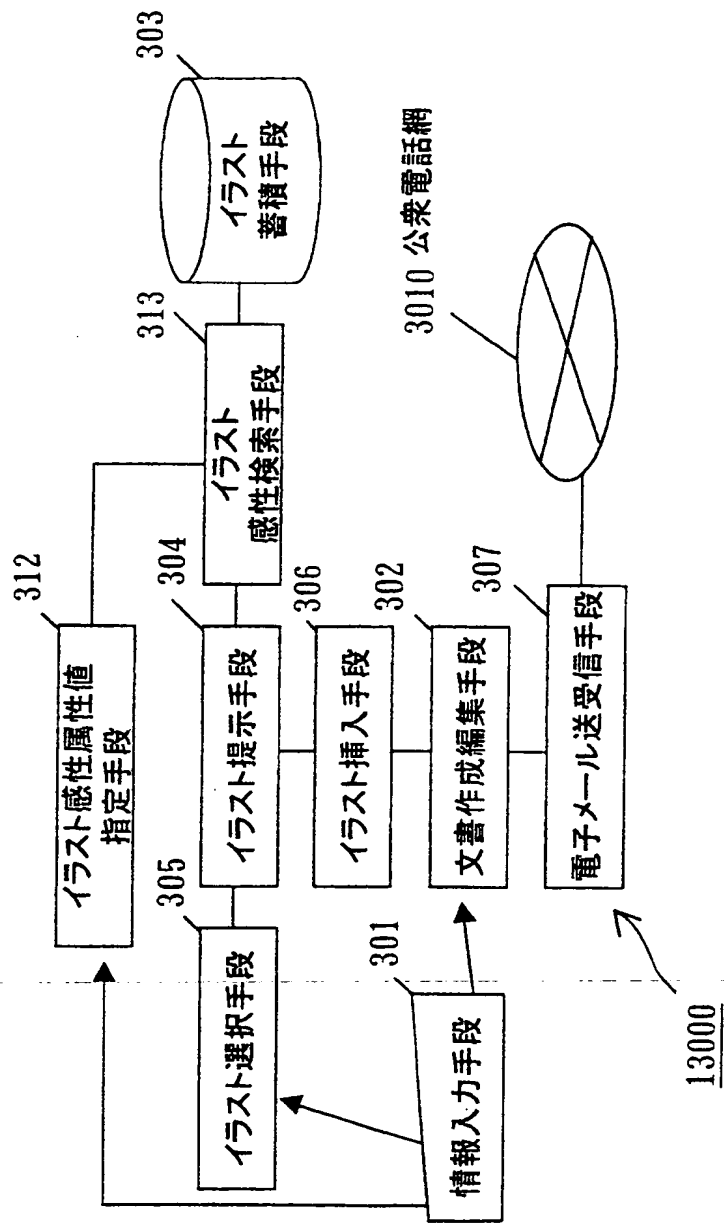
3 7 / 5 9

第 3 7 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

第 3 8 図

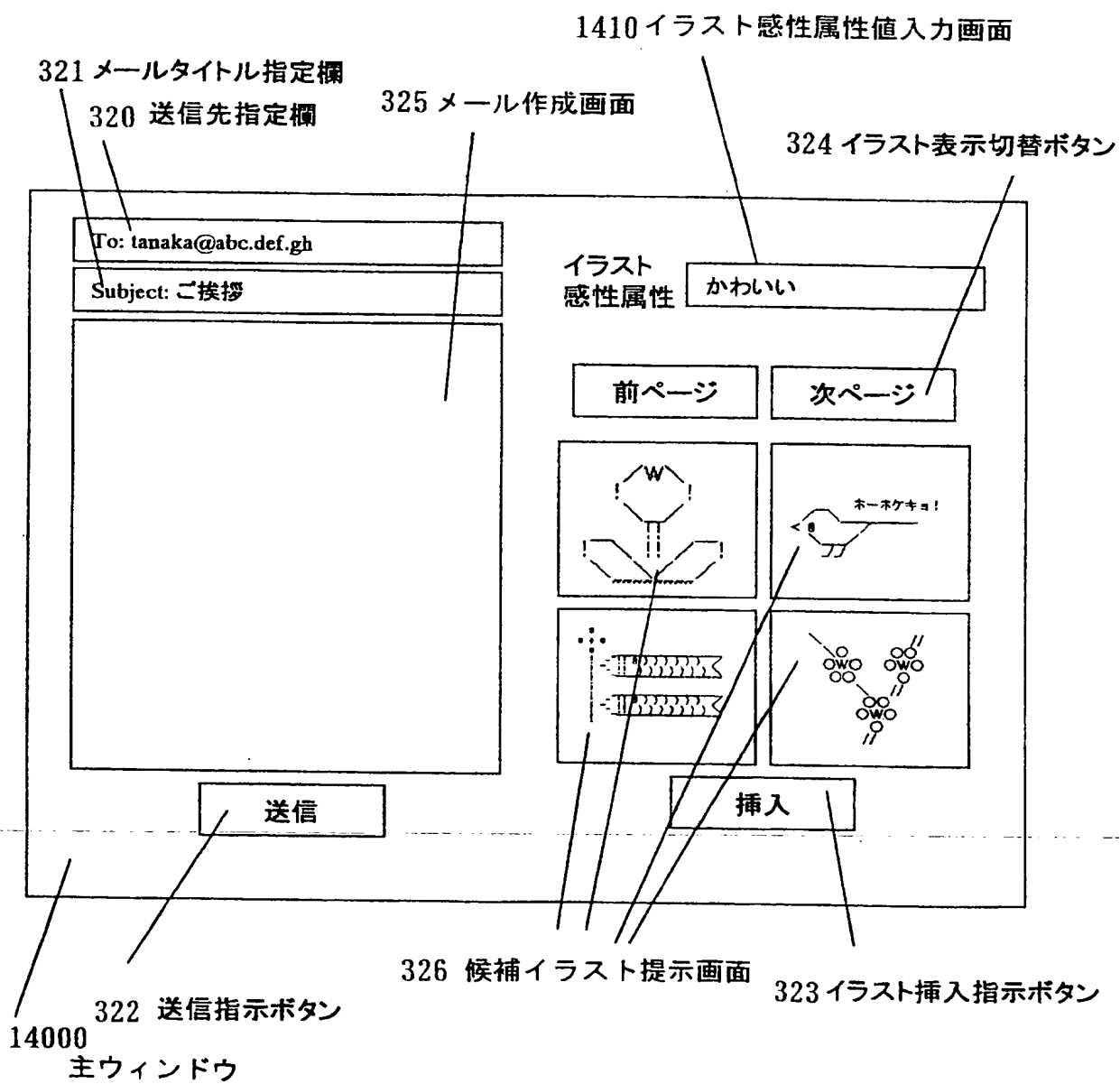


13000 : 電子メール作成装置

THIS PAGE BLANK (USPTO)

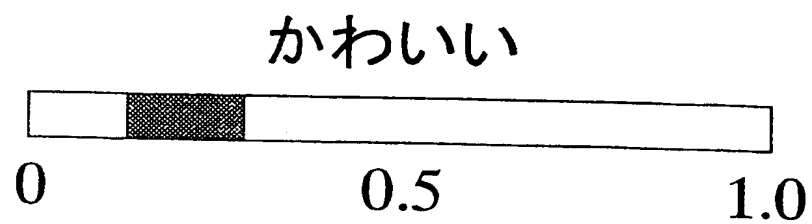
3 9 / 5 9

第 3 9 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

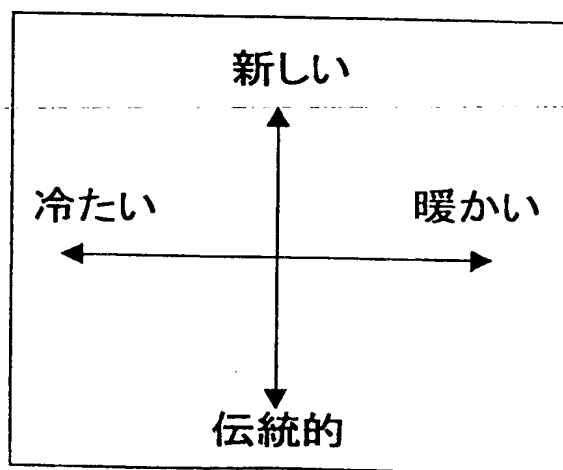
4 0 / 5 9



第 4 0 (a) 図



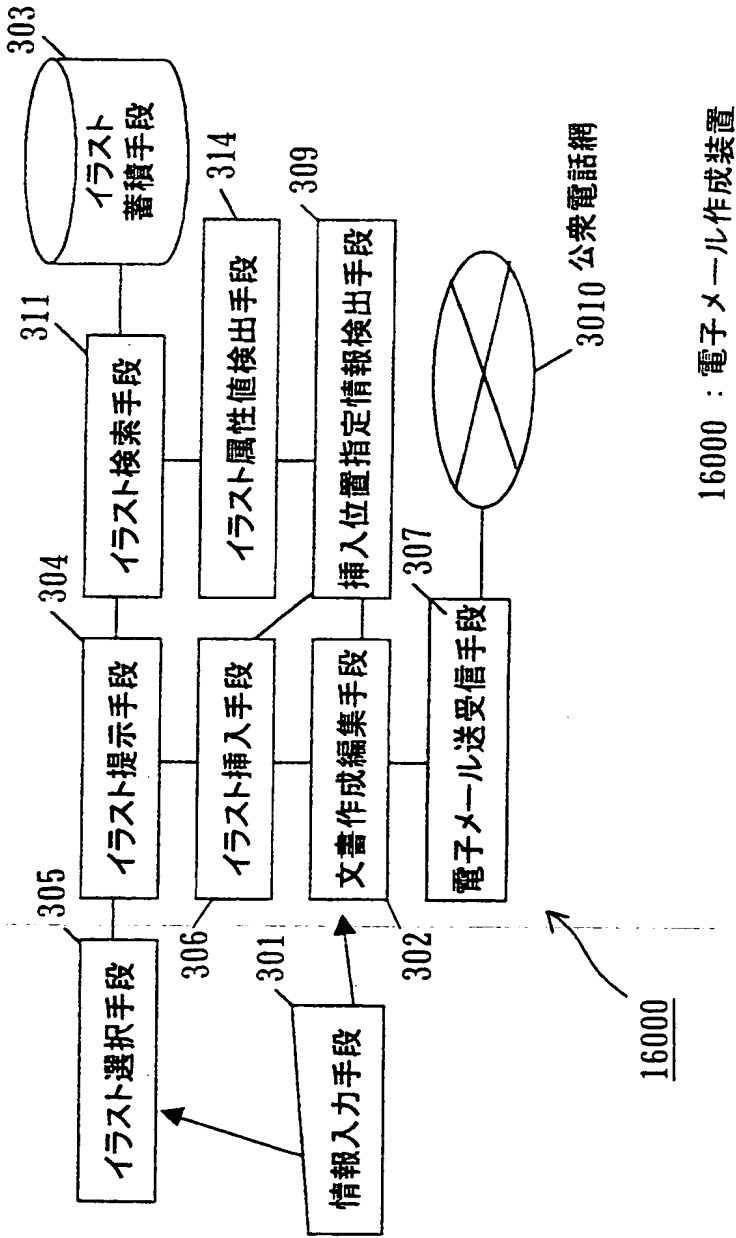
第 4 0 (b) 図



第 4 0 (c) 図

THIS PAGE BLANK (USPTO)

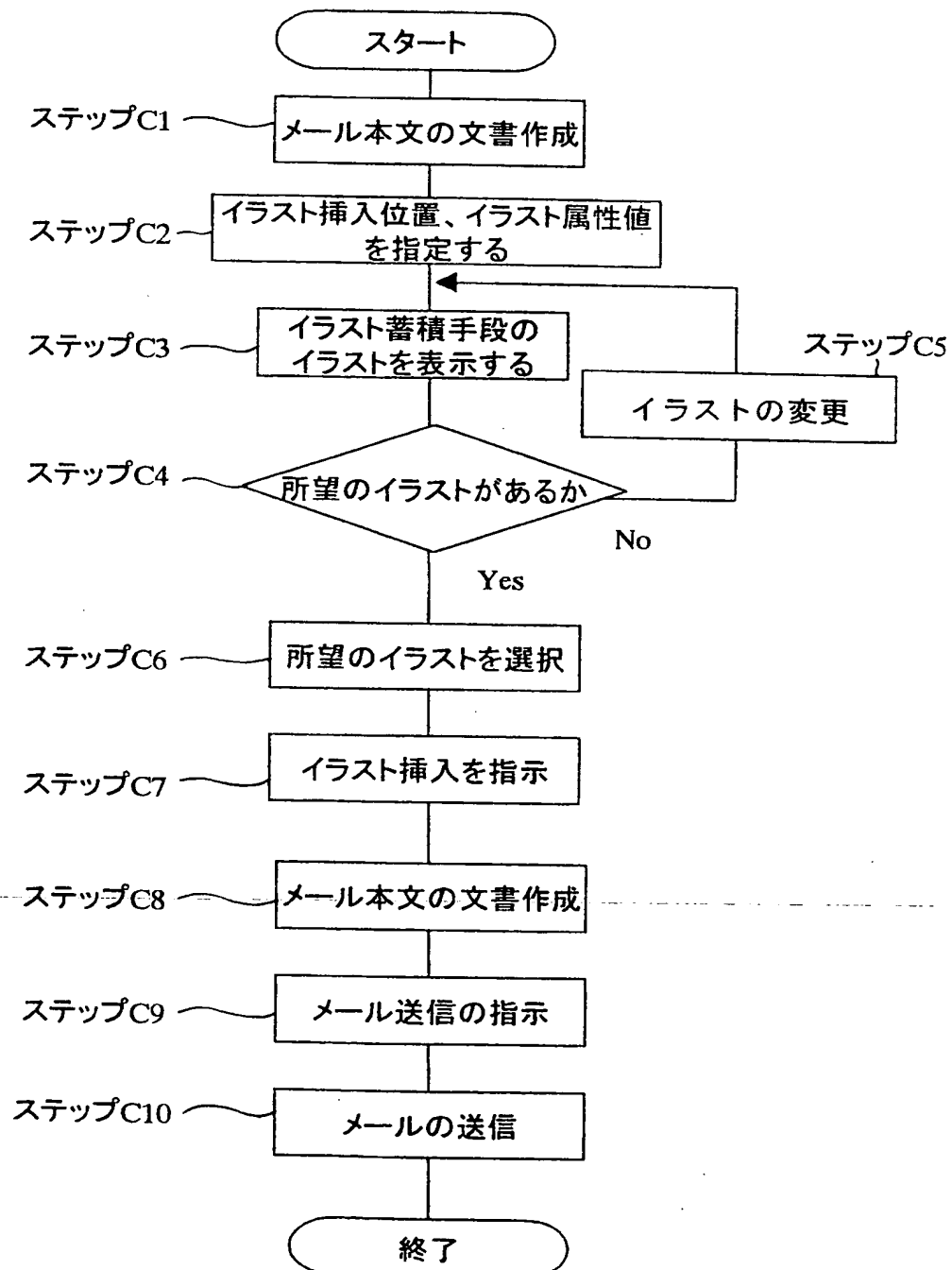
第 4 1 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

4 2 / 5 9

第 4 2 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

4 3 / 5 9

第 4 3 図

1810 挿入位置指定文字列

325 メール作成画面

こんにちは、山田です

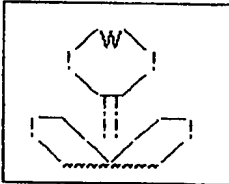
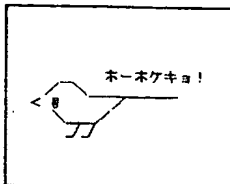
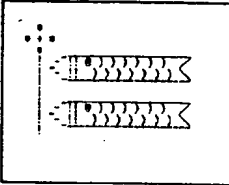
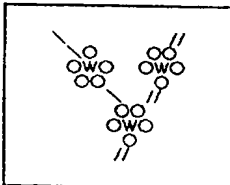
あしたは良い天気ですので
ドライブにでも行きましょう。
お弁当作って\$\$\$春\$\$\$いきます。
まちあわせはどこにしますか？
返事を待ってます。

The diagram shows a rectangular box representing an email creation screen. A line from the label '1810 挿入位置指定文字列' points to the first line of text inside the box. Another line from the label '325 メール作成画面' points to the top right corner of the box. The text inside the box is a Japanese message.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

4 4 / 5 9

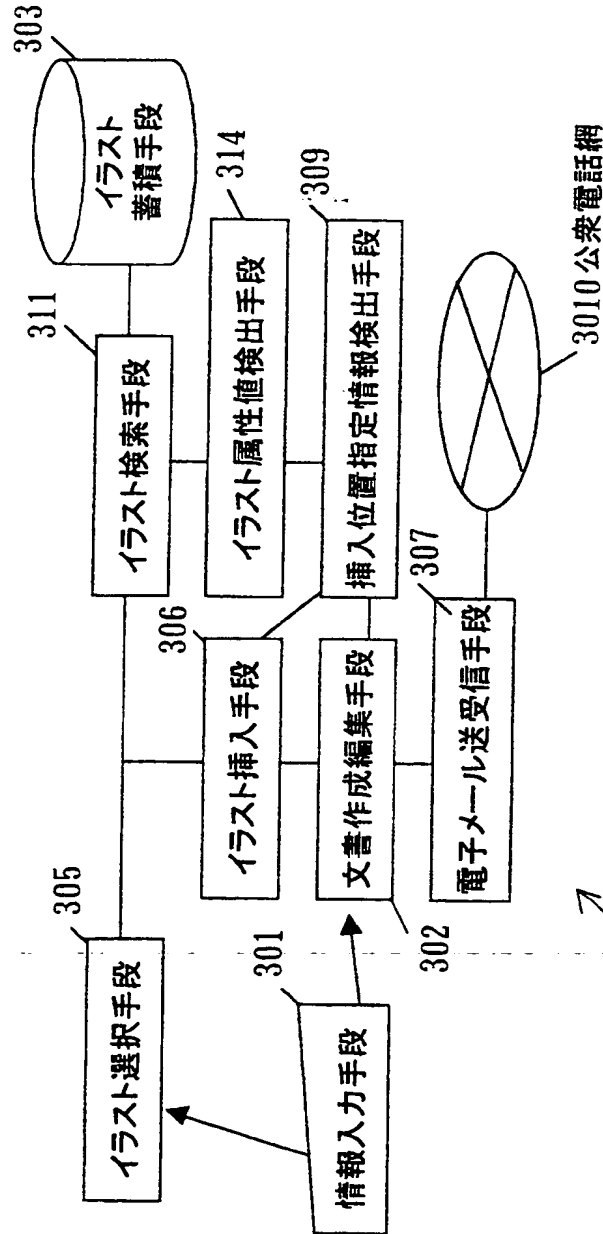
第 4 4 図

To: tanaka@abc.def.gh	
Subject: ご挨拶	
<p>こんにちは、山田です</p> <p>あしたは良い天気ですので ドライブにでも行きましょう。 お弁当作って\$\$\$\$春\$\$\$いきます。 まちあわせはどこにしますか？ 返事を待ってます。</p>	
<div>送信</div>	
<div>挿入</div>	
<div>前ページ</div> 	<div>次ページ</div> 
	

THIS PAGE BLANK (USPTO)

4 5 / 5 9

第 4 5 図



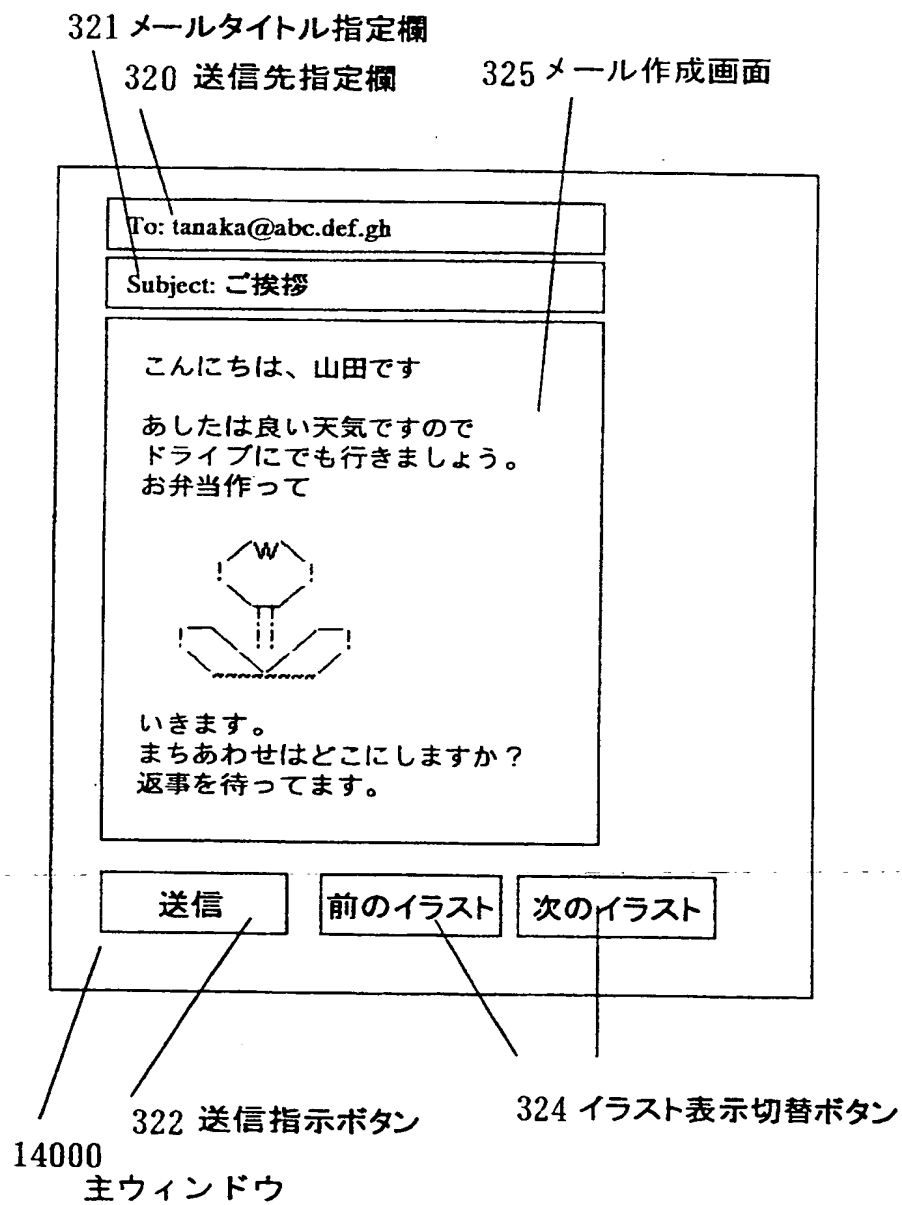
20000

20000 : 電子メール作成装置

THIS PAGE BLANK (USPTO)

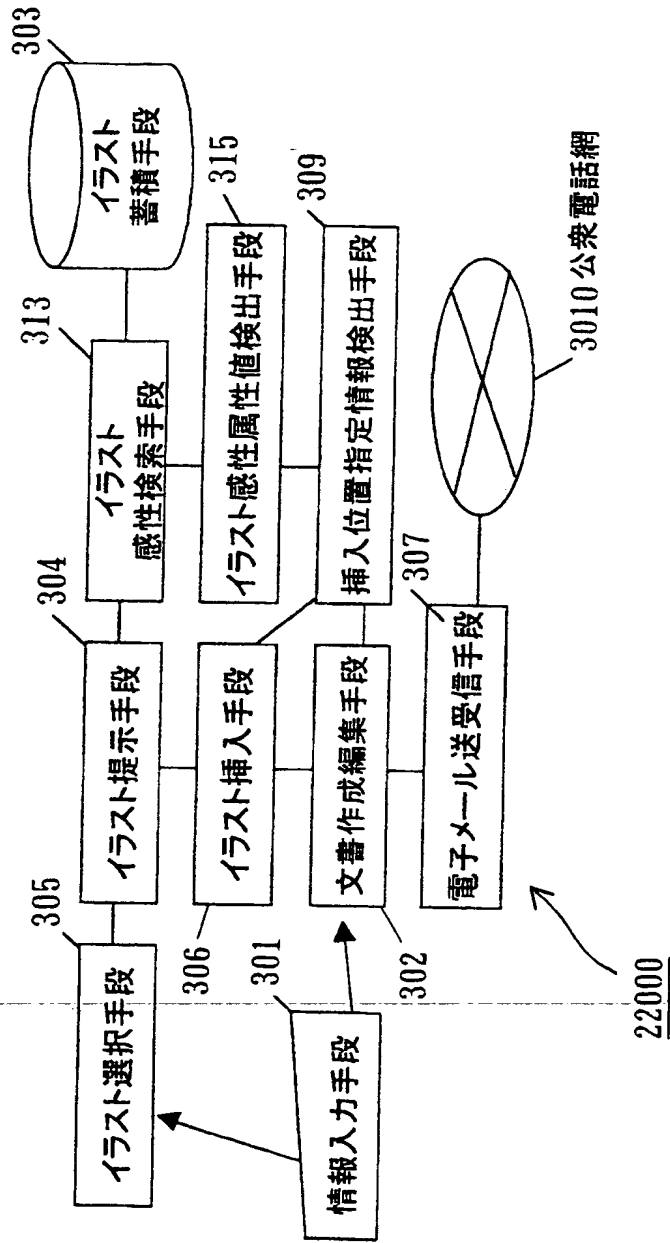
4 6 / 5 9

第 4 6 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

第 4 7 図

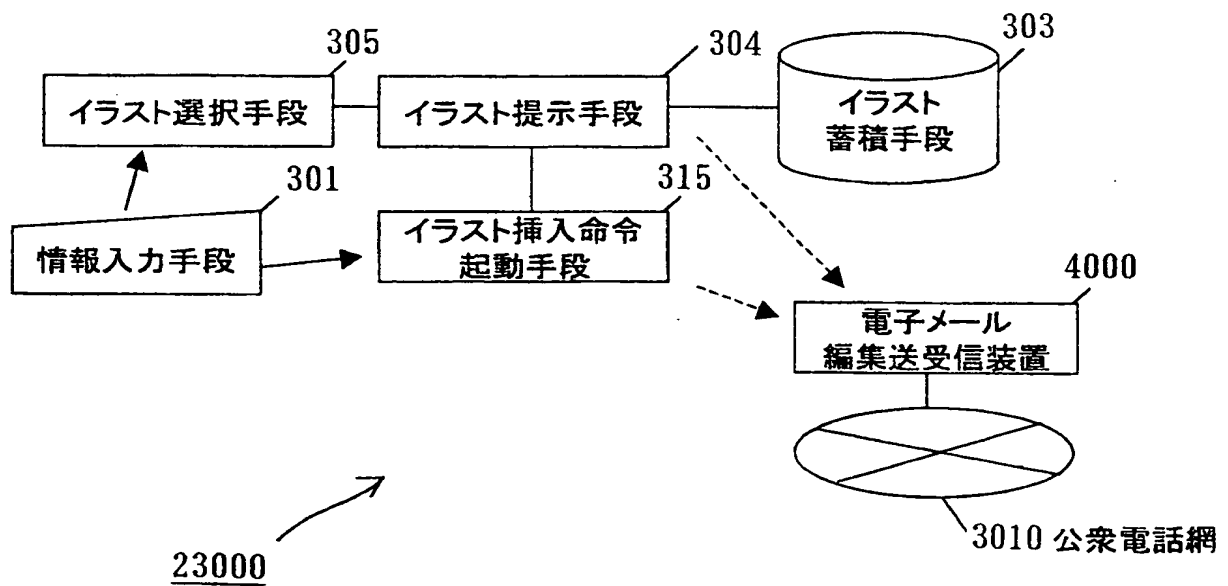


22000 : 電子メール作成装置

THIS PAGE BLANK (USPTO)

4 8 / 5 9

第 4 8 図

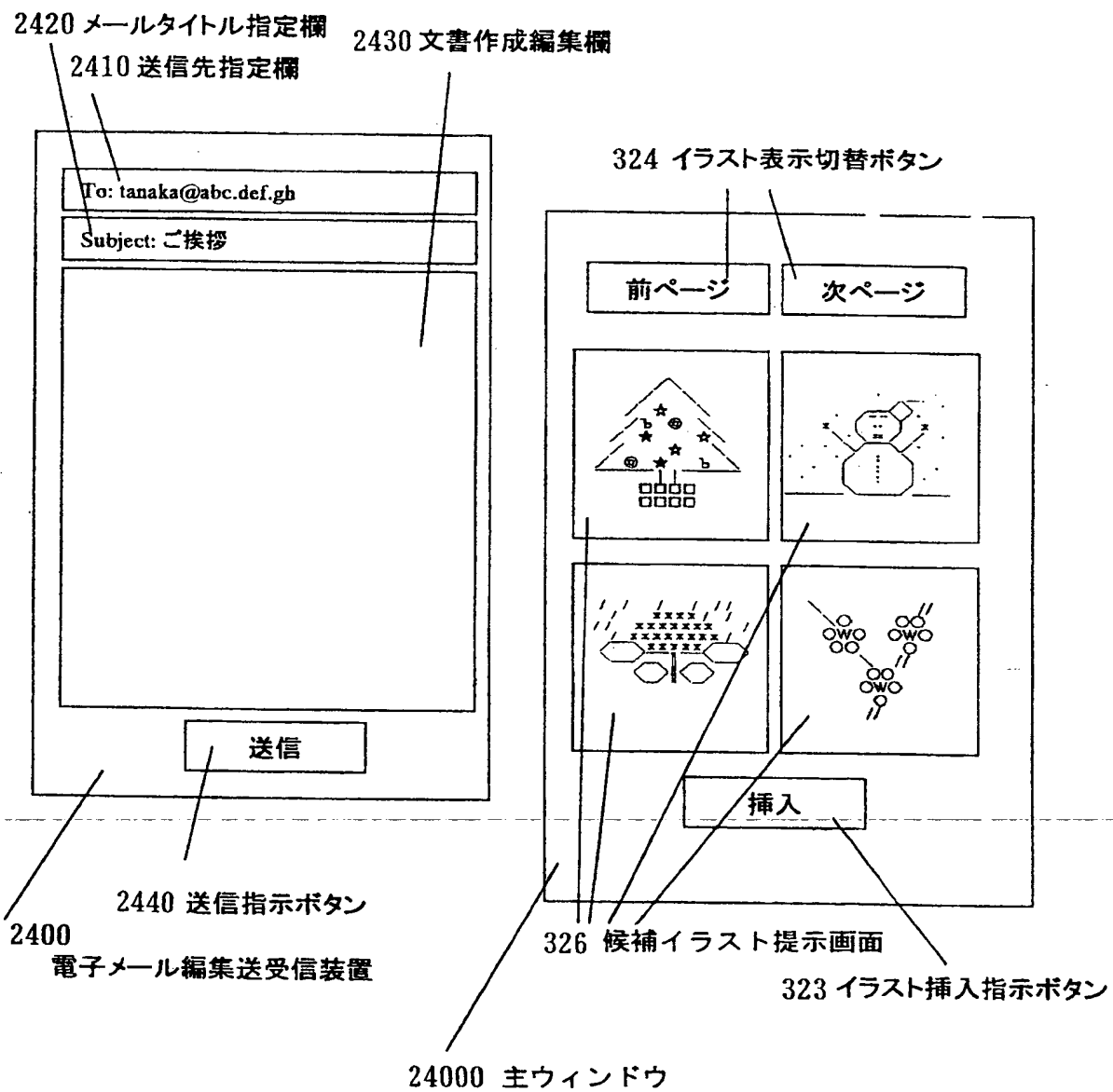


23000 : 電子メール作成装置

THIS PAGE BLANK (USPTO)

4 9 / 5 9

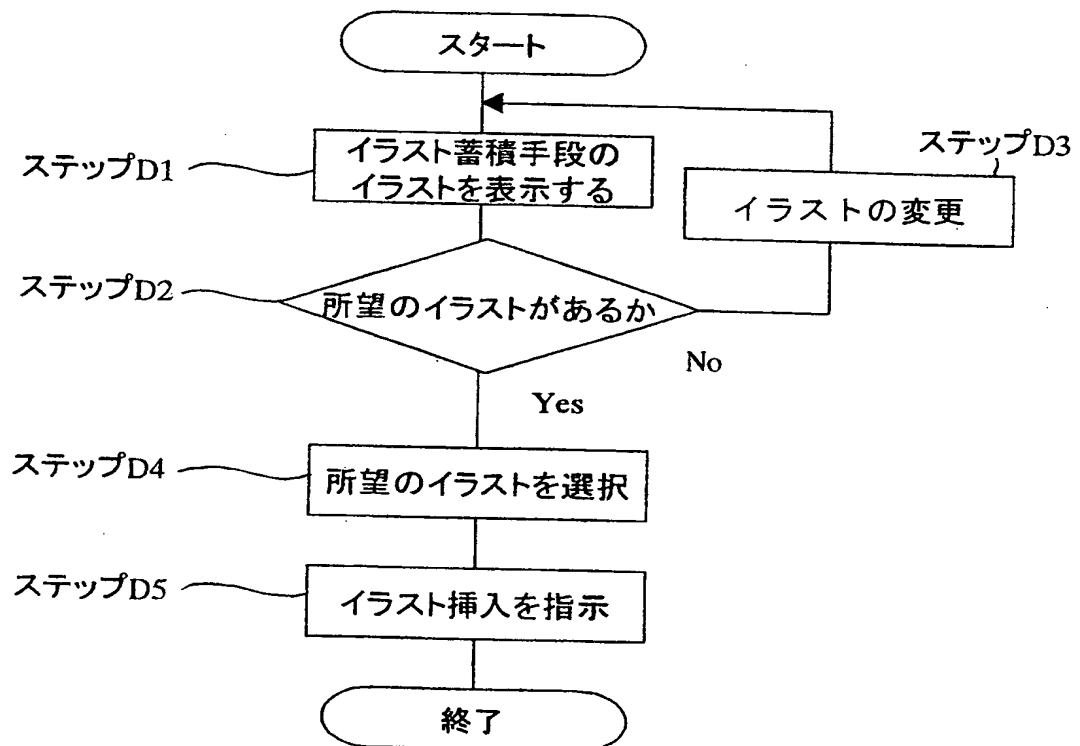
第 4 9 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

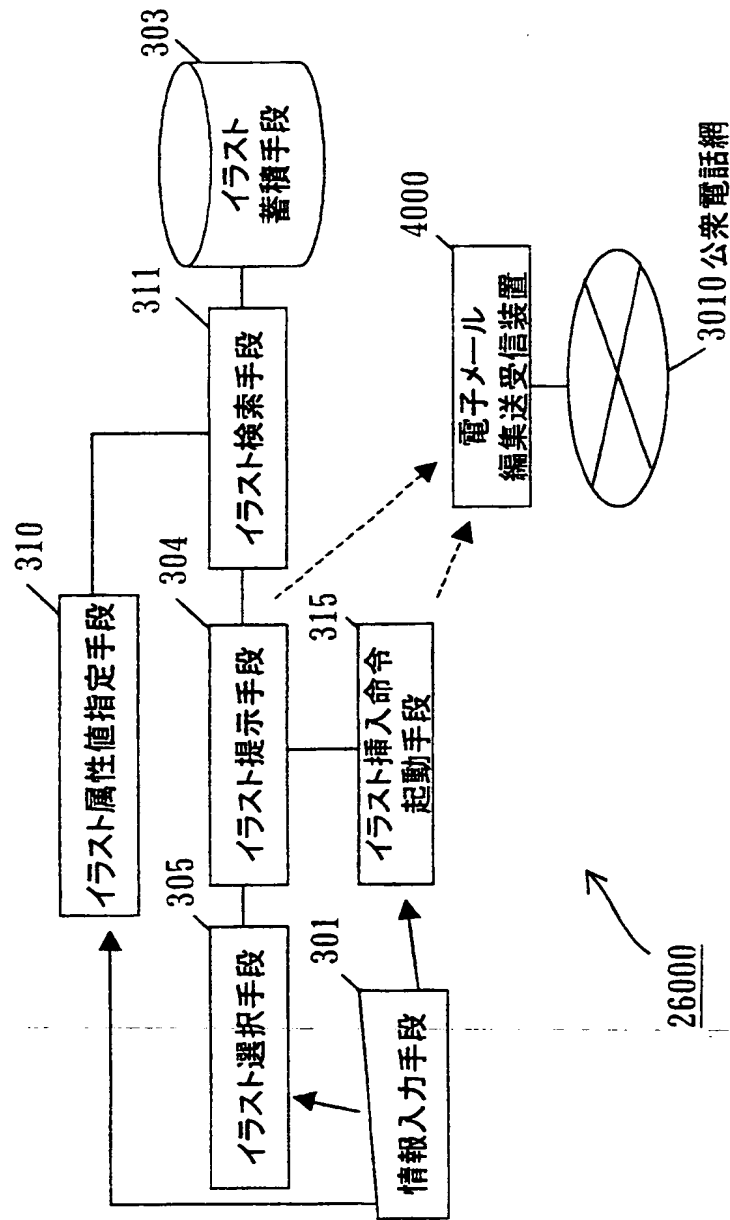
50/59

第50図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

第 5 1 図

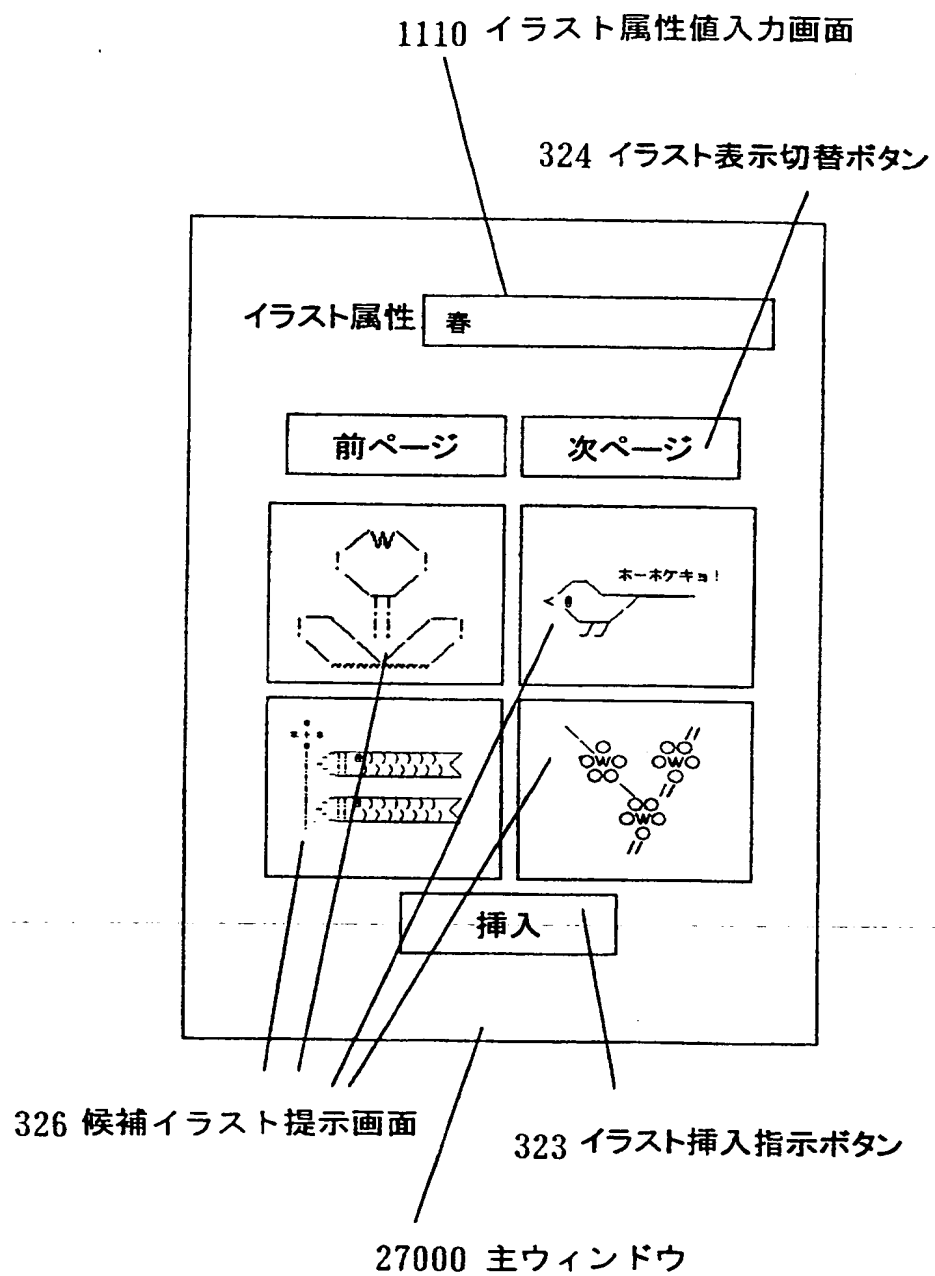


26000 : 電子メール作成装置

THIS PAGE BLANK (USPTO)

5 2 / 5 9

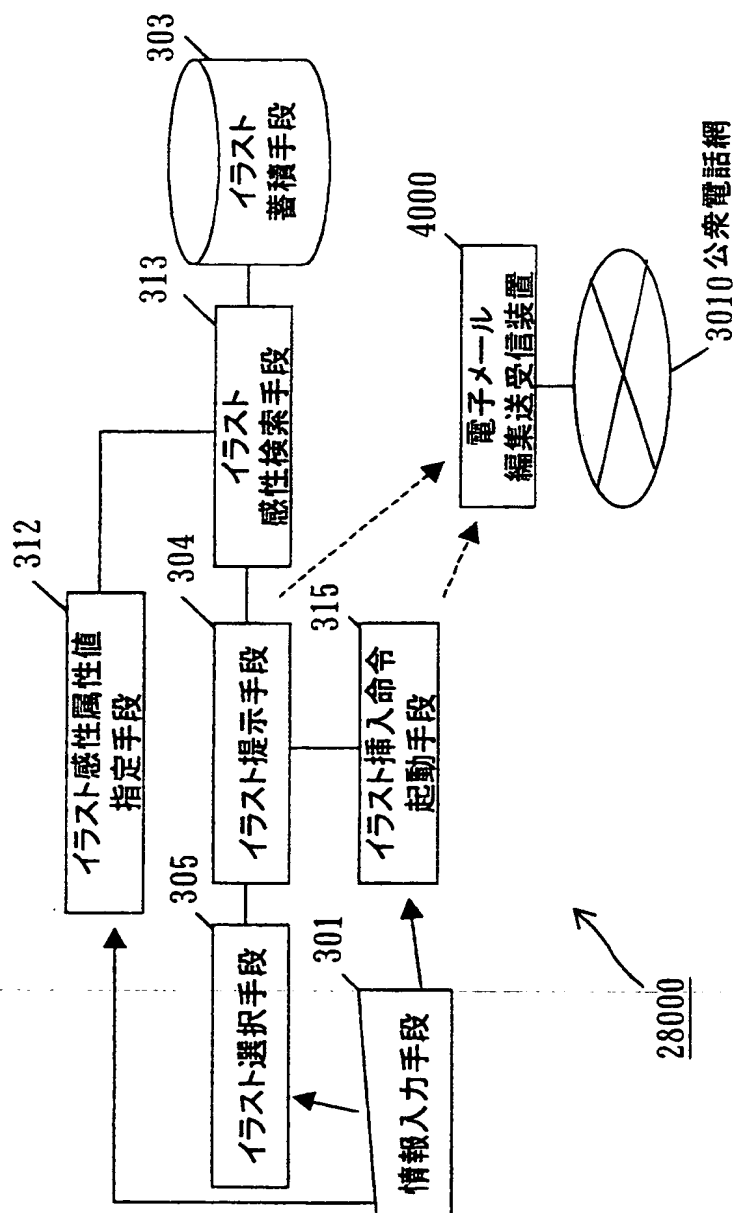
第 5 2 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

5 3 / 5 9

第 5 3 図

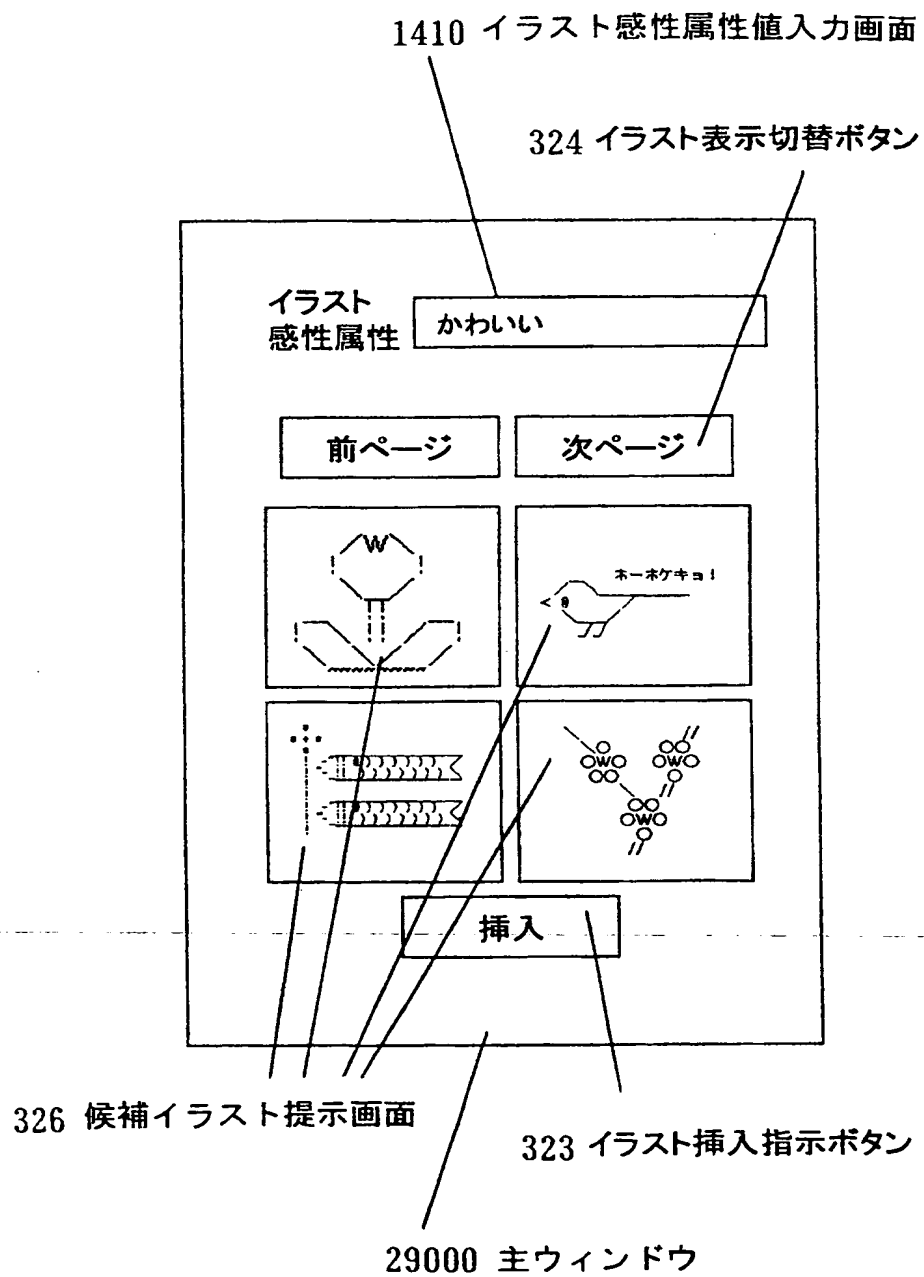


28000 : 電子メール作成装置

THIS PAGE BLANK (USPTO)

5 4 / 5 9

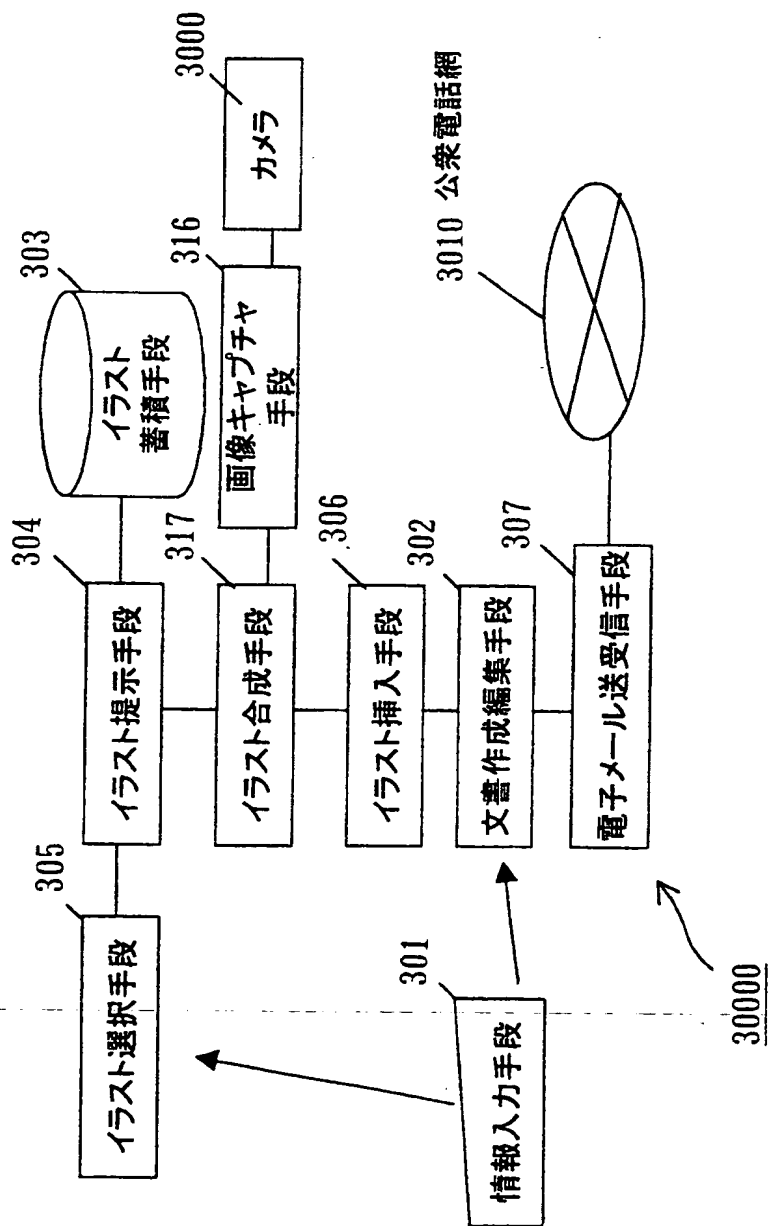
第 5 4 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

5 5 / 5 9

第 5 5 図

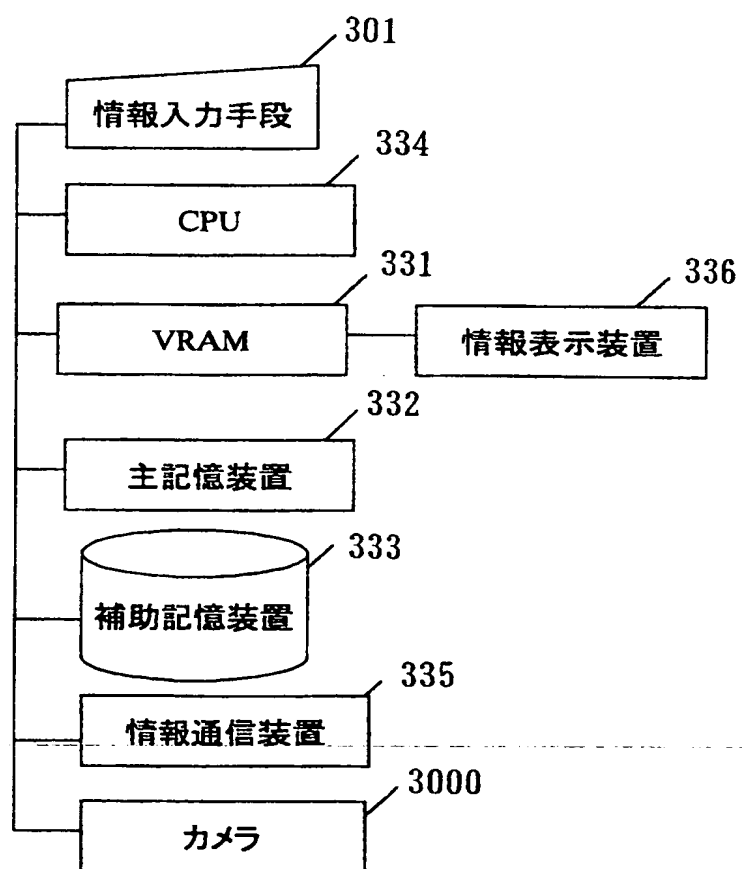


30000 : 電子メール作成装置

THIS PAGE BLANK (USPTO)

5 6 / 5 9

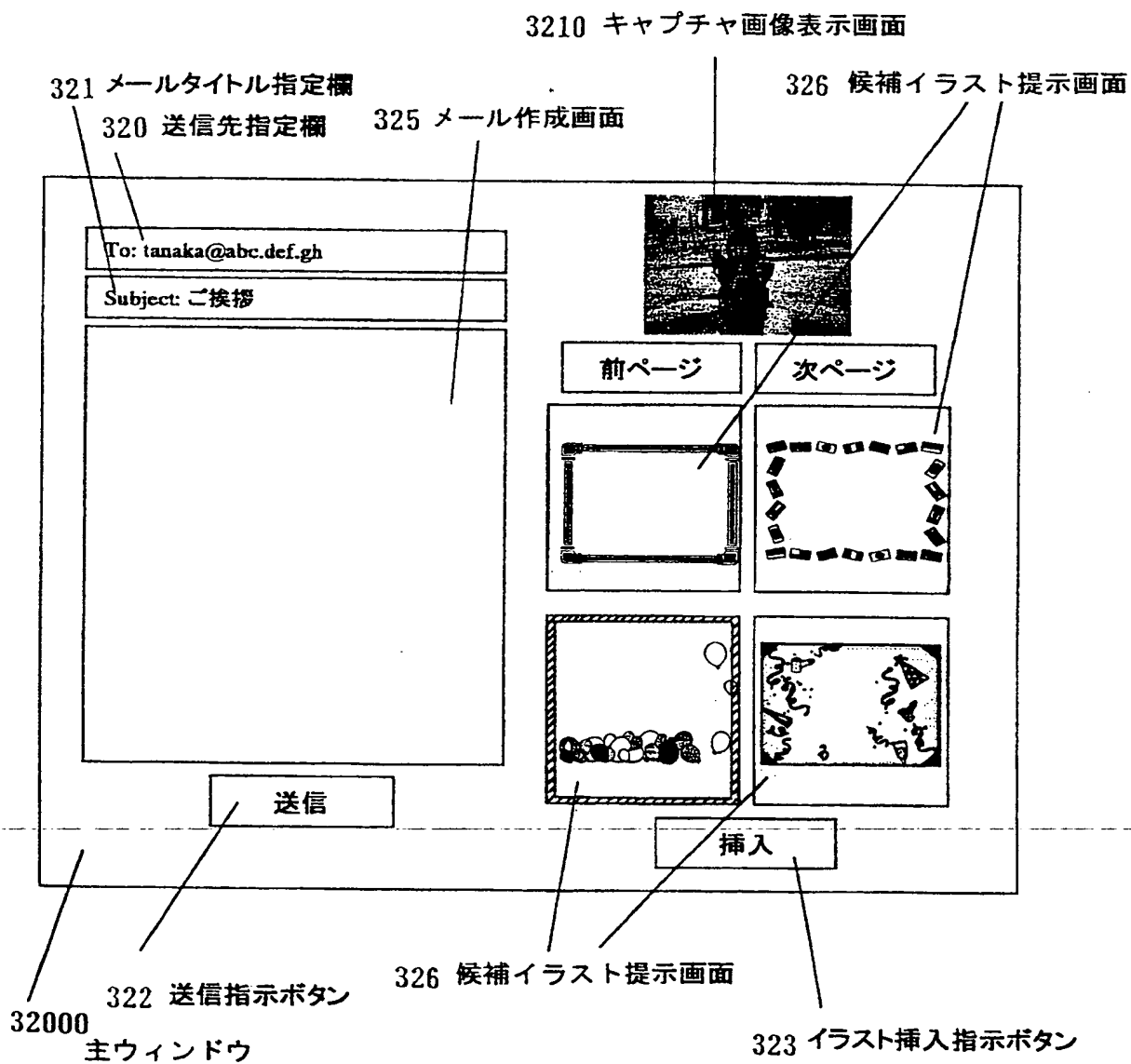
第 5 6 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

5 7 / 5 9

第 5 7 図



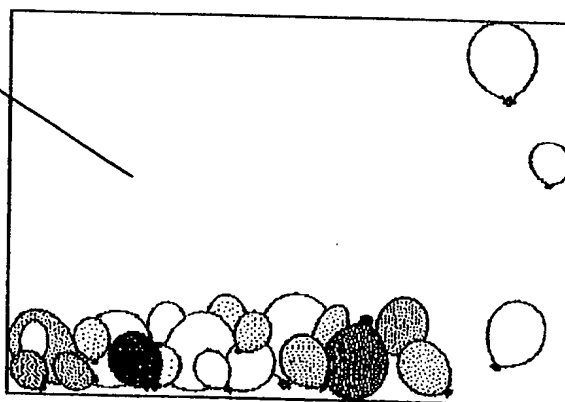
THIS PAGE BLANK (USPTO)

5 8 / 5 9

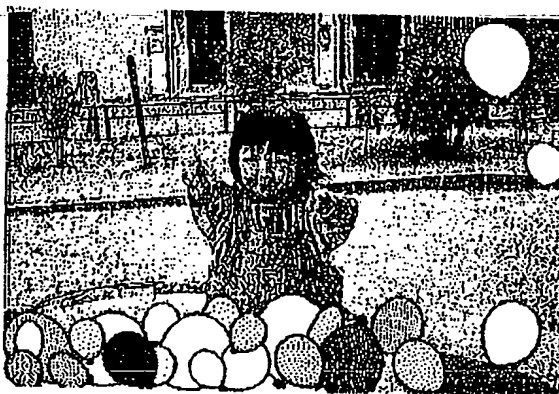


第 5 8 (a) 図

背景部分



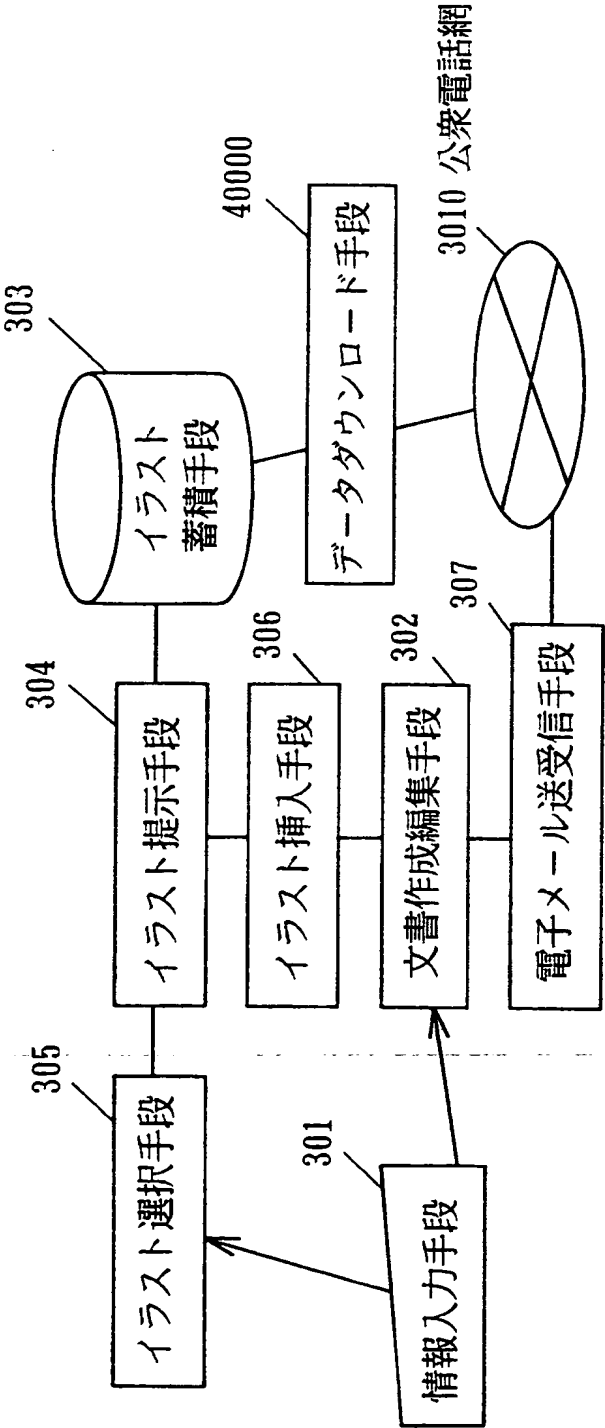
第 5 8 (b) 図



第 5 8 (c) 図

THIS PAGE BLANK (USPTO)

第 5 9 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/00782

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ G06F17/30, G06F17/24, G06F13/00, G06F3/00, H04L12/58, H04L29/12

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ G06F17/30, G06F17/24, G06F13/00, G06F3/00, H04L12/58, H04L29/12

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1926-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2000
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2000	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2000

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

JICST (JOIS)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP, 10-105184, A (Daiichi Kosho K.K.), 24 April, 1998 (24.04.98), Par. Nos. [0020], [0025], [0026] (Family: none)	1, 2, 8, 10, 11 3-7, 9
X Y	JP, 9-97005, A (Toyota Motor Corporation), 08 April, 1997 (08.04.97), Par. Nos. [0014] to [0017] (Family: none)	1, 2, 8, 10, 11 3-7, 9
X Y	JP, 9-102827, A (Sony Corporation), 15 April, 1997 (15.04.97), Par. Nos. [0027] to [0034], [0046] to [0048] (Family: none)	1, 2, 8, 10, 11 3-7, 9
Y	JP, 6-60100, A (Fujitsu Limited), 04 March, 1994 (04.03.94), Par. Nos. [0022] to [0024] (Family: none)	3, 6
Y	JP, 9-204581, A (Hitachi, Ltd.), 05 August, 1997 (05.08.97), Par. Nos. [0045] to [0057]; Figs. 1 to 10 (Family: none)	4, 6
Y	JP, 4-98380, A (Fujitsu Limited),	5, 6

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier document but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search
09 May, 2000 (09.05.00)

Date of mailing of the international search report
23 May, 2000 (23.05.00)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/00782

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
	31 March, 1992 (31.03.92), Claims; Fig. 2 (Family: none)	
Y	JP, 10-40262, A (Matsushita Electric Ind. Co., Ltd.), 13 February, 1998 (13.02.98), Par. Nos. [0026] to [0027] (Family: none)	7,9
P,X	Takashi IKEDA & Eiichiro TANAKA, "Hallow-Kity happy mail" and "Enamail", two HTML mail sofutware products for PC", NEC Giho, Vol.52, No.4, 23 April, 1999 (23.04.99), pp.79-81, Photograph No.3 and p.81	11-25

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/00782

Box I Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 1 of first sheet)

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. ☐ Claims Nos.:
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:

2. ☐ Claims Nos.:
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:

3. ☐ Claims Nos.:
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

Box II Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 2 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

Claims 1 to 11 relate to a system for searching for information, transferring the results of search to a feeding device, and specifying the operation of the supply device.

Claims 12 to 25 relate to an apparatus for preparing illustrated documents and sending and receiving them by electronic mail.

These groups of inventions are not considered to be one invention only or a group of inventions so linked as to form a single general inventive concept, and this international application is not considered as complying with the requirement of unity of invention.

1. ☒ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.

2. ☐ As all searchable claims could be searched without effort justifying an additional fee, this Authority did not invite payment of any additional fee.

3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:

4. ☐ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:

Remark on Protest

☐

The additional search fees were accompanied by the applicant's protest.

☐

No protest accompanied the payment of additional search fees.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JPO0/00782

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/30, G06F17/24, G06F13/00, G06F3/00, H04L12/58, H04L29/12

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/30, G06F17/24, G06F13/00, G06F3/00, H04L12/58, H04L29/12

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1926-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2000年
日本国実用新案登録公報	1996-2000年
日本国登録実用新案公報	1994-2000年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

JICSTファイル (JOIS)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X Y	JP, 10-105184, A(株式会社第一興商) 24. 4月. 1998 (24. 04. 98) 段落 [0020] [0025] [0026] (ファミリーなし)	1, 2, 8, 10, 11 3-7, 9
X Y	JP, 9-97005, A(トヨタ自動車株式会社) 8. 4月. 1997 (08. 04. 97) 段落 [0014] - [0017] (ファミリーなし)	1, 2, 8, 10, 11 3-7, 9
X Y	JP, 9-102827, A(ソニー株式会社) 15. 4月. 1997 (15. 04. 97) 段落 [0027] - [0034], [0046] - [0048] (ファミリーなし)	1, 2, 8, 10, 11 3-7, 9
Y	JP, 6-60100, A(富士通株式会社) 4. 3月. 1994 (04. 03. 94) 段落 [0022] - [0024] (ファミリーなし)	3, 6

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

09. 05. 00

国際調査報告の発送日

23.05.00

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)
郵便番号 100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

高 津 眞 弘 印

5 L

9069

電話番号 03-3581-1101 内線 3560

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP, 9-204581, A (株式会社日立製作所) 5. 8月. 1997 (05. 08. 97) 段落 [0045] - [0057], 図1-10 (ファミリーなし)	4, 6
Y	JP, 4-98380, A (富士通株式会社) 31. 3月. 1992 (31. 03. 92) 特許請求の範囲, 図 2 (ファミリーなし)	5, 6
Y	JP, 10-40262, A (松下電器産業株式会社) 13. 2月. 1998 (13. 02. 98) 段落 [0026] - [0027] (ファミリーなし)	7, 9
P, X	池田貴史, 田中栄市郎 「HTML形式によるメールソフト ハローキティのハッピーメールとエナメール」 NEC 技報, 第 5 2 巻, 第 4 号, 23. 4月. 1999 (23. 04. 99) pp. 79-81, 写真3及びp. 81 (Takashi IKEDA & Eiichiro TANAKA. "Hallow-Kity happy mail" and "Enamail", two HTML mail sofutware products for PC)	11-25

第 I 欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見 (第 1 ページの 2 の続き)

法第 8 条第 3 項 (PCT 17 条 (2) (a)) の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。

1. ☐ 請求の範囲 _____ は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。つまり、
2. ☐ 請求の範囲 _____ は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3. ☐ 請求の範囲 _____ は、従属請求の範囲であって PCT 規則 6.4(a) の第 2 文及び第 3 文の規定に従って記載されていない。

第 II 欄 発明の単一性が欠如しているときの意見 (第 1 ページの 3 の続き)

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。

請求の範囲 1-11 は、情報を検索し、検索結果を供給装置に転送し、供給装置の動作を指示するシステムに関するものである。

請求の範囲 12-25 は、イラスト付きの文書を作成して電子メールで送受信するための電子メール作成装置に関するものである。

そして、これら 2 つの発明群が一の発明であるとも、単一の一般的発明概念を形成するように連関している一群の発明であるとは認められないから、この国際出願は発明の単一性の要件を満たしていない。

1. ☒ 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。
2. ☐ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。

追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。
- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。

THIS PAGE BLANK (USPTO)